山梨大学（武田１（附特））校舎（小学部）改修工事

山梨大学　施設・環境部

部長	課長	課長補佐	担当

ACA 株式会社エーシー工設計
〒381-0012　長野市稲荷山2000番地4
一級建築士事務所登録（長野）第27312号

山梨大学（武田１（附特））校舎（小学部）改修工事

建築図

図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
L－01	図面リスト						
特A－01	特記仕様書(1)	A－11	天井伏図(改修前)	A－28	部分詳細図(1)		
特A－02	特記仕様書(2)	A－12	天井伏図(改修後)	A－29	部分詳細図(2)		
特A－03	特記仕様書(3)	A－13	平面詳細図(1)（改修前)	A－30	部分詳細図(3)		
特A－04	特記仕様書(4)	A－14	平面詳細図(2)（改修前)	A－31	部分詳細図(4)		
特A－05	特記仕様書(5)	A－15	平面詳細図(3)（改修前)	A－32	部分詳細図(5)		
特A－06	特記仕様書(6)	A－16	平面詳細図(1)（改修後)	A－33	部分詳細図(6)		
特A－07	特記仕様書(工事区分表)	A－17	平面詳細図(2)（改修後)	A－34	部分詳細図(7)（参考図)		
A－01	案内・配置図	A－18	平面詳細図(3)（改修後)	A－35	外構図		
A－02	仕上表(1)	A－19	展開図(改修前)				
A－03	仕上表(2)	A－20	展開図(1)（改修後)				
A－04	仕上表(3)	A－21	展開図(2)（改修後)				
A－05	平面図(改修前)	A－22	展開図(3)（改修後)				
A－06	平面図(改修後)	A－23	展開図(4)（改修後)				
A－07	屋根伏図	A－24	建具表(改修前)				
A－08	立面図(改修前)	A－25	建具表(1)（改修後)				
A－09	立面図(改修後)	A－26	建具表(2)（改修後)				
A－10	断面詳細図	A－27	共通詳細図				

山梨大学施設・環境部

担当

ALA 株式会社 エーエルエー設計
一級建築士事務所登録（長野） L第2232号
管理建築士 一級建築士登録 第286750号 髙口 雅宏
〒381-0012 長野市柳原2340番地4 TEL 026(296)6300

設計体制及び検査

原案者	設計責任者	担当者	担当者
湯本	村田	兼岩	

設計者氏名 一級建築士登録 第279740号 村田

設計名称 山梨大学（武田１（附特））校舎（小・中学部）改修設計業務

工事名 山梨大学（武田１（附特））校舎（小学部）改修工事

図面名 図面リスト

縮尺 A1：－ A3：－

図面番号 L－01

山梨大学(武田１(附特))校舎(小学部)改修工事

Ⅰ 工 事 概 要

1．工事場所　山梨県 甲府市天神町17-35　山梨大学武田１団地構内

2．完成期限　令和　５年　３月　１０日（金曜日）

3．建物概要

建物名称		特別支援学校		
工種		模様替		
構造		RC造		
階数		2		
建築基準法による	建築面積(㎡)	2,592		
	延べ面積(㎡)	3,022		
消防法施行令別表第一の区分		（６）二		
改修面積(㎡)		990		
備考				

4．工事種目（⊙ 印の付いたものが対象工事種目）

工事種目 ＼ 建物別及び屋外	工事種別			
	特別支援学校	屋外		
⊙ 2 仮設工事	一式	一式		
⊙ 3 防水改修工事	一式			
⊙ 4 外壁改修工事	一式			
⊙ 5 建具改修工事	一式			
⊙ 6 内装改修工事	一式			
⊙ 7 塗装改修工事	一式			
・ 8 耐震改修工事				
⊙ 9 環境配慮改修工事	一式			
・ プール改修工事				
⊙ 外構工事		一式		

5．指定部分　⊙無　・有　対象部分（　　）
指定部分工期　令和　年　月　日（　曜日）

(1.2.1)[1.2.1]

Ⅱ 工 事 仕 様

1．共通仕様

（1）文部科学省発注工事請負等契約規則（文部科学省訓令第二十二号）別記第１号の工事請負契約基準、現場説明書、図面 35 枚及び本特記仕様書 7 枚によるほか、○印の付いたものを適用する。
⊙ 公共建築工事標準仕様書(建築工事編)(令和４年版)(以下「標準仕様書」という。)
⊙ 公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)(令和４年版)(以下「改修標準仕様書」という。)
⊙ 建築工事標準詳細図(令和４年版)(以下「標準詳細図」という。)
⊙ 建築物解体工事共通仕様書(令和４年版)
⊙ 文部科学省建築工事標準仕様書(特記基準)(建築工事編)(令和４年版)(以下「文科仕様書」という。)
⊙ 文部科学省建築改修工事標準仕様書(特記基準)(建築工事編)(令和４年版)(以下「文科改修仕様書」という。)
⊙ 工事写真撮影要領(令和元年7月)
・

（2）電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、電気設備工事及び機械設備工事は、それぞれの工事特記仕様書を適用する。なお、電気設備工事の特記仕様書は（　　）図、機械設備工事の特記仕様書は（　　）図による。

2．特記仕様

（1）本特記仕様書の表記
1）項目は、⊙ 印の付いたものを適用する。
2）特記事項は、⊙ 印の付いたものを適用する。
⊙ 印の付かない場合は、※ 印の付いたものを適用する。
⊙ 印と ※ 印の付いた場合は、共に適用する。
3）特記事項に記載の（　）内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。
特記事項に記載の［　］内表示番号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。
特記事項に記載の（(　)）内表示番号は、文科仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。
特記事項に記載の［[　]］内表示番号は、文科改修仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。
4）G 印は、「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」（平成12年法律第100号）に基づく「環境物品等の調達の推進に関する基本方針（平成31年2月8日変更閣議決定）」に定める特定調達物品における判断の基準（特定調達品目「公共工事」においては表１中の品目ごとの判断の基準）を満たすものを示す。

章	項目	特記事項

1 各章共通事項

⊙ 適用区分

⊙ 建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。
⊙ 風圧力
風速（Vo= 30 m/s）
地表面粗度区分（ ・ Ⅰ ・ Ⅱ ⊙ Ⅲ ・ Ⅳ）
⊙ 積雪荷重
平成12年5月31日建設省告示第1455号における区域　別表（　27　）

⊙ 電気保安技術者、工事用電力設備の保安責任者

(1.3.3～4)[1.3.3～4]

この工事現場に下記いずれかの資格を有する電気保安技術者を選任する。

	項目名	電気保安技術者
1	第３種電気主任技術者以上の資格を有する者	⊙
2	１級電気工事施工管理技士の資格を有する者	⊙
3	高等学校又はこれらと同等以上の教育施設において、電気事業法の規定に基づく主任技術者の資格等に関する省令第７条第１項各号の科目を修めて卒業した者	⊙
4	旧電気工事技術者検定規則による高圧電気工事技術者の検定に合格した者	⊙
5	公益事業局長又は通商産業局長の指定を受けた高圧試験に合格した者	⊙
6	第１種電気工事士の資格を有する者	⊙
7	２級電気工事施工管理技士の資格を有する者	⊙
8	第２種電気工事士以上の資格を有する者	⊙
9	短期大学若しくは高等専門学校又はこれらと同等以上の教育施設の電気工学以外の工学に関する学科において一般電気工学（実験を含む）に関する科目を修めて卒業した者	⊙

工事用電力を構外から引き込む場合は、法令に基づく有資格者を定め、監督職員に報告する。

⊙ 施工条件

(1.3.5)[1.3.5]

この工事現場では、次の施工条件による。
⊙工事車両の出入りについては、交通誘導員を配置し、事故等の防止に努めること。
⊙工事中、授業等に影響を与える作業（騒動、振動、粉塵、臭気等）を行う場合は、予め監督職員と協議すること。
⊙学校行事により、作業中止の可能性がある。
⊙本工事は下記の通り２工区に分けて工事を行う。 また、各工区範囲については現場説明図による。
１工区：令和４年８月２日（火）～令和４年１１月３０日（水）
２工区　令和４年１２月１日（木）～令和５年３月１０日（金）
⊙大型車両の進入は、下記の時間以外で行うこと。
⑧：30～9：00（平日）、⑬14：00～15：00（平日（火，水，木，金曜日））、
⑬13：30～14：30（平日（水曜日））
⊙工事時間は8：00～17：30とし厳守すること。 但し、やむを得ない事情により工事時間外に工事を行いたい場合は、監督職員と協議し承諾を得ること。

⊙ 発生材の処理等

(1.3.11)[1.3.12]

（1）引渡しを要するもの
1）品名
2）引渡し先
3）集積場所
（2）特別管理産業廃棄物
1）品名
2）処理方法
（3）現場において再利用を図るもの
1）品名
2）使用箇所
（4）再資源化を図るもの
1）品名　コンクリートガラ、アスファルトくず
（5）その他発生材については、標準仕様書に従い、適切に処理する。

⊙ 環境への配慮

(1.4.1)[1.4.1]

（1）建築物内部に使用する材料等とは、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するとともに、次の①から⑥を満たすものとする。
① 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、ＭＤＦ、パーティクルボード、その他の木質建材、ユニット組立板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しない又は発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。
② 接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。
③ 接着剤は、可塑性（フタル酸ジｎ－ブチル及びフタル酸ジｎ－エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を除く）が添加されていない材料を使用する。
④ ①の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。
（2）設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分において、「規制対象外」とは次の①又は②に該当する材料を指し、同区分「第三種」とは次の③又は④に該当する材料を指す。
①建築基準法施行令第20条の７第１項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド発散建築材料以外の材料
②建築基準法施行令第20条の７第４項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料
③建築基準法施行令第20条の７第１項に定める第三種ホルムアルデヒド発散建築材料
④建築基準法施行令第20条の７第３項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料

⊙ 材料の品質等

(1.4.2)[1.4.2]

（1）本工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能の物、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。
（2）備考欄に商品名が記載された材料は、同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は監督職員の承諾を受ける。
（3）標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。
（4）本工事に使用する材料のうち、（5）に指定する材料の製造業者は、次の①から⑥すべての事項を満たすものとし、この証明となる資料又は外部機関が発行する品質及び性能等が評価されたことを示す書面を提出して監督職員の承諾を受ける。ただし、製造業者等名が記載されているものは、証明となる資料等の提出を省略することができる。
①品質及び性能に関する試験データを整備していること。
②生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。
③安定的な供給が可能であること。
④法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。
⑤製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。
⑥販売、保守等の営業体制を整えていること。
（5）製造業者等に関する資料の提出を求める材料

⊙ 技能士

(1.5.2)[1.6.2]

適用工事種別	技能検定の種別
仮設工事	⊙とび　・
鉄筋工事	⊙鉄筋施工　・
コンクリート工事	⊙左官　⊙型枠施工　⊙ｺﾝｸﾘｰﾄ圧送施工
鉄骨工事	・とび・鉄工　・
ブロック・ＡＬＣパネル工事 ＰＣカーテンウォール工事	・ﾌﾞﾛｯｸ建築　・ALCﾊﾟﾈﾙ施工 ・ｶｰﾃﾝｳｫｰﾙ施工　・
防水工事	⊙防水施工　・
石工事	・石材施工　・
タイル工事	⊙タイル張り　・
木工事	⊙建築大工　・
屋根、とい工事	⊙建築板金　・スレート施工　・
金属工事	⊙内装仕上げ施工（鋼製下地）　・
左官工事	⊙左官　・
建具工事	⊙ｻｯｼ施工　⊙ｶﾞﾗｽ施工　・
塗装工事	⊙塗装　・
内装工事	⊙内装仕上げ施工（床、天井仕上げ等） ・表装　・
植栽工事	・造園　・

・ 施工の検査等

(1.5.5)[1.6.5]

標準仕様書に定めがあるもの以外で、次について監督職員の検査を受ける。

⊙ 施工の立会い

(1.5.7)[1.6.7]

標準仕様書に定めがあるもの以外で、次に示す工事段階及び事項については、監督職員の立会いを受ける。

施工の立会いを行う工程	備考
外壁関連の施工	外部足場の解体前
軽量鉄骨壁下地及び天井下地の施工	軽量下地が完了した段階
防水下地のアンカー引抜き試験時	防水シート接着剤固定工法部

⊙ 化学物質の濃度測定

(1.5.9)[1.6.9]

（1）室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン等の濃度を測定し、測定結果を監督職員に報告する。

測定対象化学物質	指針値（両単位の換算は、25℃の場合による。）
ホルムアルデヒド	100μg/m³（0.08ppm）以下
トルエン	260μg/m³（0.07ppm）以下
キシレン	200μg/m³（0.05ppm）以下
エチルベンゼン	3800μg/m³（0.88ppm）以下
スチレン	220μg/m³（0.08ppm）以下

（2）測定対象室及び測定箇所数は以下表による。

棟名称	階	室名	採取本数
特別支援学校	1	職員室、教室（低学年・中学年・高学年）	４検体
		事務室	１検体
	－	屋外	１検体

（3）測定方法は、⊙吸引方式（アクティブ法）・拡散方式（パッシブ法））により行う。

（4）文部科学省の「学校環境衛生基準」に基づき、採取は室内の温度が高い時期に行い、吸引方式では30分間で２回以上、拡散方式では８時間以上行う。

（5）測定結果が指針値を超えていた場合は、発生源を特定し、換気等の措置を講じた後、再度測定し、基準値以下であることを確認してから引渡しを行う。

⊙ 完成時の提出図書

(1.7.1～3)[1.8.1～3]

次の図書を監督職員に提出する。また、それらを本工事目的物に関し使用するための権利については、発注者に委譲する。
⊙ 完成図（施工図、施工計画書を除く。）
CADデータ（電子納品）　1 部
A3版原図　　部
A1版原図　　部
A3複写図（製本）　1 部　※黒表紙（金文字）
A1複写図（製本）　1 部　※黒表紙（金文字）
⊙ 施工計画書
A4ファイル綴じ　1 部
⊙ 保全に関する資料
A4ファイル綴じ　1 部
⊙ 施工図（次に示すものを標準とし、提出部数等は監督職員と協議による。）
鉄筋配筋図（納まり図含む）　一式
コンクリート躯体図　一式
鉄骨製作図　一式
カーテンウォール製作図　一式
機器製作図　一式
制御システム図　一式
試験成績書　一式
機器・配管固定の施工図　一式
⊙ 工事写真（「工事写真撮影要領」による。）
原本（電子媒体）　1 部
アルバム（紙又は電子媒体）　1 部　※黒表紙（金文字）

⊙ 他工事又は他工種との取合い

⊙ 埋設配管・配線および鉄筋調査

⊙ 完成写真

工事完成時に次の写真を撮影し、監督職員に提出する。

撮影部位及び箇所数	形式・サイズ	提出セット数	画素数及び画質等	撮影者
外観正面 １箇所	カラー印画紙キャビネ判		4500×3000ピクセル以上で画像補正を行ったもの	建築完成写真の撮影実績がある者で、監督職員が承諾する撮影業者
	カラー印画紙キャビネ判 Ａ４アルバム綴じ ※			
	電子データ（JPEGフルカラー・圧縮率1/4程度）			
	カラー本製パネル半切（324×400mm）			
上記と異なる 外部：　箇所 内部：　箇所	カラー印画紙キャビネ判			
	カラー印画紙キャビネ判 Ａ４アルバム綴じ ※			
	電子データ（JPEGフルカラー・圧縮率1/4程度）			
外部：５箇所 内部：21箇所 程度	カラー印画紙キャビネ判 Ａ４アルバム綴じ	1	1280×960ピクセル以上かつ撮影したデジタルカメラの設定のうち最高の画質	任意
	電子データ（JPEGフルカラー）	1		

注：※ のアルバムは併せて作成する。

電子納品は次の規定に従うものとする。
1）　貸与する設計図のＣＡＤデータは以下による。
著作者名：　国立大学法人 山梨大学
ファイル形式：　JWW 又は DXF 及び PDF
貸与条件：貸与するＣＡＤデータを本工事における施工図又は完成図の作成のため以外に使用しないこと。
2）　完成写真の撮影に関する著作権の権利等については次のｉ）及びii）によることとし、受注者は撮影者等との契約に当たってもそれらの承諾を条件とする。
ｉ）提出された写真は、国が行う事務及び国が認めた用途に限して、無償で利用することができるものとする。この限、著作者名を表示しないこと及びその利用に必要な範囲で改変を行うことができるものとする。
ii）受注者及び撮影者等は、撮影時に取得した全ての写真（提出していないものを含む。）及びその改変物、複製物を公表、開覧、譲渡その他一切の方法により第三者に使用させてはならない。ただし、あらかじめ発注者の承諾を受けた場合は、この限りではない。
3）　電子納品の対象は上記によるほか、監督職員と受注者で協議を行う。
4）　電子成果品は、提出前に電子成果品作成支援・検査システムによるチェックを行い、エラーがないことを確認した後、ウイルス対策を実施したうえで監督職員に提出する。
5）　提出方法及びファイル形式は以下による。
電子媒体：ＣＤ－Ｒ又はＤＶＤ－Ｒ
ＣＡＤデータ：ＪＷＷ、ＤＸＦ及びＰＤＦ
上記の他、監督職員が認めた形式

工事区分表による。これにより難い場合は監督職員と協議する。

あと施工アンカー工事
６章および８章による

コア抜き、はつり工事等
⊙ 既存資料調査
⊙ 探査機（電磁波レーダー法又は電磁波誘導法）による探査
配管・配線等の位置の墨出を行う
範囲　※　図示　・
・ 放射線透過試験
労働安全衛生法、「電離放射線障害防止規制」（昭和47年労働省令第41号）等に定めるところによる ほか、次による。
（1）作業主任者は、エックス線作業主任者の資格を有するものとし、資格を証明するものとし、資格を証明する資料を監督職員に提出する。
（2）放射線照射量は最小限のものとし、照射中は人体に影響のない程度まで照射器より離れる。また、作業者以外の立入禁止措置を講ずる。
（3）露出時間は、コンクリートの厚さ等により、適宜調整する。
（4）付近にフィルム、磁気ディスク等放射線の影響を受けるものの有無を確認する。
（5）躯体の墨出しは、表裏でズレがないように措置を講ずる。
撮影枚数＿＿＿枚
フィルムサイズ＿＿＿＿＿＿＿＿
コンクリート厚さ＿＿＿ｃｍ
・ 既存躯体に穿孔する場合に、金属探知により電源供給が停止できる付属装置等を用いる。

山梨大学施設・環境部	担当		

一級建築士事務所登録（長野） L第2732号 管理建築士　一級建築士番録　第208750号　関口 浩見 〒381-0012　長野市穂保2360番地4　TEL 026(266)8300	設計者名称	山梨大学（武田１（附特））校舎（小・中学部）改修設計業務	工事名 図面名 山梨大学(武田１(附特))校舎(小学部)改修工事 特記仕様書(1)
設計体制及び技法 所長 湯本　設計担当責任者 村田　担当者 兼岩　担当者	設計者氏名	一級建築士登録第279740号　村田	縮尺 A1：－　A3：－　図面番号 特A－01

2 仮設工事

・騒音・粉じん等の対策 [2.1.3]

・防音パネル
・防音シート
防音パネル等を取り付ける足場等の設置範囲
・工事に必要な範囲 ・

⊙ 足場等 [2.2.1][表 2.2.1]

⊙「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙１「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。

外部足場 ⊙設置する （設置範囲 ・工事に必要な範囲 ・ ）
・設置しない
防護シート ⊙設置する （設置範囲 ・工事に必要な範囲 ・ ）
・設置しない
内部足場 ⊙設置する （※ 即立、足場板等 ・ ） ・設置しない
・材料、搬去材等の運搬方法
種別 （ ・Ａ種 ・Ｂ種 ・Ｃ種 ・Ｄ種 ・Ｅ種 ）
Ｇ種：利用可能なエレベーター （ ）
Ｈ種：利用可能な階段 （ ）

⊙ 既存部分の養生 [2.3.1]

1）養生方法等
⊙既存部分 養生方法 （・ ※ビニルシート、合板）
⊙既存家具、既存設備等 養生方法 （・ ※ビニルシート等）
・既存ブラインド、カーテン等 養生方法 （・ビニルシート等 ・ ）
保管場所 （・図示 ・ ）
・固定された備品、机、ロッカー等の移動 （・図示 ・ ）
2）既存部分に汚染又は損傷を与えるおそれのある場合は養生を行う。また、万一損傷等を与えた場合は、受注者の責任において速やかに修復等の処置を行う。

⊙ 仮設間仕切り [2.3.2][表 2.3.1]

1）仮設間仕切り及び仮設扉の設置箇所 ⊙図示 ・
2）仮設間仕切りの種別と材質等

種別	仕上げ（厚さ㎜）	塗装	充填
・Ａ種	⊙せっこうボード 種類（Ⓒ GB-R ） 厚さ（・ ㎜ ※ 9.5㎜） ・合板 材種（・ ） 厚さ（・ ㎜ ※ 9㎜） ・	⊙なし ・片面 ・	グラスウール 厚さ （㎜）
⊙Ｂ種			
※Ｃ種	防炎シート		

3）仮設間仕切りに設ける仮設扉の材質等

材質	仕上げ	塗装	設置箇所
・	・	⊙なし ・片面	・ か所 ⊙図示
※木製	※合板張り程度		

3 防水改修工事

⊙ 施工数量調査 [1.5.2、3]

調査範囲 ・図示 ・
調査方法 ・図示 ・
既存部分の破壊を行った場合の補修方法 ・図示 ・
調査報告書 提出部数：・２部 ・

⊙ 障害等に対する養生方法（とい共） [3.1.3]

・
※改修標準仕様書3.1.3(5)(ｱ)～(ｳ)による。

⊙ 改修工法の種類及び工程 [3.1.4]

防水改修工法の種類 （⊙Ｓ４Ｓ ）工法
シーリング改修工法の種類 （⊙充填 ）工法 （⊙再充填 ）工法

⊙ 既存防水の処理 [3.2.3、4、6]

既存保護層の撤去 ・行う（範囲 ・図示 ・ ）
⊙行わない
既存防水層の撤去 ・行う（範囲 ・図示 ・ ）
⊙行わない（シート防水の立上り部は撤去）
既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去
・行う（・M4AS ・M4AS1 ・M4C ・M4D1 ・L4X）
・行わない

⊙ 既存下地の処理 [3.2.6]

既存下地の補修箇所の形状、長さ、数量等 ・図示 ・
POS工法及びP0S1工法（機械的固定方法）の既存保護層を撤去し防水層を非撤去とした立上り部等の処置 ・
※改修標準仕様書3.2.6(4)(ｲ)(g)①～③による
設備機器架台、配管受部、パラペット、貫通パイプ回り、手すり・丸環の取付け部、塔屋出入口部等の欠損部及び防水層末端部の納まり部の処理
・図示
※監督職員と協議する

・アスファルト防水 [3.3.2～5]

屋根保護防水
防水層の種別

工法	種別	施工箇所	断熱材Ⓖ	絶縁用シート	立上り部の保護
・Ｐ２Ａ	・Ａ－１ ・Ａ－２ ・Ａ－３			・ ※ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾌｨﾙﾑ厚さ0.15㎜以上	・乾式保護材 ・ｺﾝｸﾘｰﾄ押え ・れんが押え ・ ※JIS R1250
・Ｐ１Ｂ	・Ｂ－１ ・Ｂ－２ ・Ｂ－３				
・Ｐ２Ａｉ	・Ａｉ－１ ・Ａｉ－２ ・Ａｉ－３		（任意）JIS A9521に基づく押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種ｂＡ（スキン層付き） （厚さ）・ ・25㎜ ・50㎜	・ ※ｸﾗｯﾄｻｰｸﾛｽ70g/㎡程度	
・Ｐ１Ｂｉ ・Ｔ１Ｂｉ	・Ｂｉ－１ ・Ｂｉ－２ ・Ｂｉ－３				

・改質アスファルトシート防水

改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
用途による区分 ・
材料構成による区分 ※R種
厚さ ・ ㎜以上
※改修標準仕様書表3.3.3から表3.3.9による
部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
用途による区分 ・
材料構成による区分 ※R種
厚さ ・ ㎜以上
※改修標準仕様書表3.3.3から表3.3.9による
平場の保護コンクリートの厚さ
こて仕上げ ※水下 80㎜以上 ・
床タイル張り ※水下 60㎜以上 ・

・乾式保護材
窯業系パネル：無石綿の繊維質原料等を主原料として、板状に押出成形しオートクレーブ養生したもの。
金属複合板：金属板と樹脂を積層一体化したもの。

屋根露出防水
防水層の種別

工法	種別	施工箇所	断熱材Ⓖ	仕上塗料 種類	仕上塗料 使用量	高日射反射率防水の適用Ⓖ	備考
・Ｍ４Ｃ	・Ｃ-1 ・Ｃ-2 ・Ｃ-3 ・Ｃ-4			・ ・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	・ ※アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	・	
・Ｍ３Ｄ ・Ｐ０Ｄ	・Ｄ-1 ・Ｄ-2 ・Ｄ-3 ・Ｄ-4			・ ・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	・ ※アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	・	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない
・ＰＯＤＩ ・Ｍ３ＤＩ ・Ｍ４ＤＩ	・ＤＩ-1 ・ＤＩ-2		改修標準仕様書3.3.2(9) （種類） ・ （厚さ） ・25㎜ ・	・ ・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	・ ※アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	・	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない

屋根露出防水絶縁工法及び屋根露出防水絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量
種類 ※アスファルトルーフィング類の製造所の指定 ・
脱気装置 ・ 個
屋根露出防水絶縁断熱工法の場合の、ルーフドレン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置 ※図示 ・

屋内防水

工法	種別	施工箇所	保護層
・Ｐ１Ｅ ・Ｐ２Ｅ	・Ｅ－１ ・Ｅ－２		・設ける ・設けない

・Ｅ－１の工程３を行う部位（・ ※貯水槽、浴室等常時水に接する部位）
押え金物の材質、形状及び寸法
・ ※アルミニウム製 L-30×15×2.0㎜程度
屋上排水溝 ・図示 ・

[3.4.2、3]

防水層の種別

工法	種別	施工箇所	断熱材Ⓖ	仕上塗料 種類	仕上塗料 使用量	高日射反射率防水の適用Ⓖ	備考
・M4AS	・AS-T1 ・AS-T2 ・AS-J3			・ ・改質アスファルトシート製造所の仕様による	・ ・改質アスファルトシート製造所の仕様による	・	
・M3AS	・AS-T3 ・AS-T4 ・AS-J2			・ ・改質アスファルトシート製造所の仕様による	・ ・改質アスファルトシート製造所の仕様による	・	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない
・P0AS	・AS-T3 ・AS-T4 ・AS-J2 ・AS-J4			・ ・改質アスファルトシート製造所の仕様による	・ ・改質アスファルトシート製造所の仕様による	・	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない
・M3AS1 ・M4AS1 ・P0AS1	・AS1-T1 ・AS1-J1		改修標準仕様書3.4.2(3)(ｳ) （種類） ・ （厚さ） ・25㎜ ・50㎜	・ ・改質アスファルトシート製造所の仕様による	・ ・改質アスファルトシート製造所の仕様による	・	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない 防湿層 ・設ける ・設けない

改質アスファルトシートの種類及び厚さ
用途による区分 ・
材料構成による区分 ※R種
厚さ ・ ㎜以上
※改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による ・
粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
用途による区分 ・
材料構成による区分 ※R種
厚さ ・ ㎜以上
※改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による ・
部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
用途による区分 ・
材料構成による区分 ※R種
厚さ ・ ㎜以上
※改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による ・
屋根露出防水絶縁工法及び屋根露出防水絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量
種類 ・ ※改質アスファルトシートの製造所の指定
設置数量 ・ 個 ※改質アスファルトシートの製造所の指定
屋根露出防水絶縁断熱工法の防湿用シート（・設置する ・設置しない ）
押え金物の材質、形状及び寸法
・ ・アルミニウム製 L－30×15×2.0(㎜)程度

⊙ 合成高分子系ルーフィングシート防水 [3.5.2～4] [表3.5.1～3]

防水層の種別

工法	種別	施工箇所	断熱材Ⓖ	仕上塗料 種類	仕上塗料 使用量	高日射反射率防水の適用Ⓖ	備考
・POS ⊙S4S	・S-F1 ・S-F2 ・S-M1 ⊙S-M2 ・S-M3			・ ⊙ルーフィングシートの製造所の仕様による	・ ※ルーフィングシートの製造所の仕様による	・ ・ ・ ・ ・	脱気装置 ⊙設ける ・設けない 改修用ドレン ⊙設ける ・設けない
・S3S	・S-F1 ・プレキャストコンクリート下地			・ ・ルーフィングシートの製造所の仕様による	・ ※ルーフィングシートの製造所の仕様による	・	脱気装置 ・設ける ・設けない
	・S-F2 ・プレキャストコンクリート下地					・	
・M4S	・S-M1 ・S-M2 ・S-M3			・ ・ルーフィングシートの製造所の仕様による	・ ※ルーフィングシートの製造所の仕様による	・ ・ ・	脱気装置 ・設ける ・設けない
・POS1 ・S3S1 ・S4S1 ・M4S1	・S1-F1 ・S1-F2 ・プレキャストコンクリート下地		改修標準仕様書3.5.2(3)(ｴ)(a) （種類） ・ （厚さ） ・ ・25㎜ ・50㎜	・ ・ルーフィングシートの製造所の仕様による	・ ※ルーフィングシートの製造所の仕様による	・ ・	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない
	・S1-M1 ・S1-M2		改修標準仕様書3.5.2(3)(ｴ)(a) （種類） ・ （厚さ） ・ ・25㎜ ・50㎜			・ ・	

⊙S-M2の場合で立上りが、接着工法の場合
立上り面のシート厚さ（・ ※1.5㎜）
・S1-M1及びS1-M2の場合の防湿用フィルム（ ・設置する ・設置しない）

屋内防水
防水層の種別

種別	施工箇所	保護層 平場のモルタル塗り 塗り厚さ	保護層 平場のモルタル塗り 工法	保護層 立上り部の保護モルタル塗厚
・S-C1		・ ㎜	・床塗り工法 ・下地モルタル塗り	・ ※7㎜以下

床並りの場合の床の目地
目地割り（・ ※2㎡程度 最大目地間隔3m程度）
目地の種類（・ ※押し目地）

ルーフィングシートの種類及び厚さ
種類・ 厚さ・ ㎜
※改修標準仕様書表3.5.1から表3.5.2による ・
絶縁用シートの材質 ・ ※発泡ポリエチレンシート
固定金具の材質及び寸法形状
・
※厚さ0.4㎜以上の防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板又はそれらの片面若しくは両面に由指を積層加工した鋼板
脱気装置の種類及び設置数量
種類 ・ ※ルーフィングシートの製造所の仕様による
設置数量 ・ 個 ※ルーフィングシートの製造所の仕様による
接着工法の目地処理
・プレキャストコンクリート下地（ ・ ）
プレキャストコンクリート部材の入隅部の増張り（種別S-F1、S1-F1の場合）
・行う（・図示 ・ ） ・行わない
機械的固定工法の場合の一段部のルーフィングシートの張付け
建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1 ・1.15 ・1.3）倍の風圧力に対応した工法

⊙ 塗膜防水 [3.6.2、3]

工法	種別	施工箇所	仕上塗料 種類	仕上塗料 使用量	高日射反射率防水の適用Ⓖ	備考
・P0X	※X-1 ・X-2 ・		・ ・製造所の仕様による	・ ※製造所の仕様による	・	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない
⊙L4X	・X-1 ※X-2 ・	庇上部	・ ⊙製造所の仕様による	・ ※製造所の仕様による	・	脱気装置 ・設ける ⊙設けない

ウレタンゴム系塗膜防水 X-1（絶縁工法）の脱気装置の種類及び設置数量
種類 ・ ※主材料の製造所の仕様による
設置数量 ・ 個 ※主材料の製造所の仕様による

工法	種別	施工箇所	工程数及び各工程の使用量	保護層
・P1Y	※Y-2 ・		・ ※主材料の製造所の仕様による	・設ける ・設けない
・P2Y	※Y-2 ・		・ ※主材料の製造所の仕様による	・設ける ・設けない

⊙ シーリング [3.1.4] [3.7.2、3、7、8]

シーリング改修工法の種類
⊙シーリング充填工法
⊙シーリング再充填工法
・拡幅シーリング再充填工法
・ブリッジ工法
ボンドブレーカー張り ・適用する ・適用しない
エッジシング材張り ・適用する ・適用しない

シーリング材の種類、施工箇所
下表以外は、改修標準仕様書表3.7.1による。

施工箇所	シーリング材の種類（記号）
図示	

シーリング材の目地寸法
・
⊙図示
※改修標準仕様書3.7.3(1)(ｱ)～(ｳ)による
シーリング材の接着性試験
※簡易接着性試験 ・引張接着性試験

⊙ とい（既存といの塗装替え） [3.8.2、3]

といその他の材種
・配管用鋼管 ・硬質ポリ塩化ビニル管 ・ルーフドレン ・
ルーフドレンの材種その他

種別	材種	張掛け幅
・ろく屋根用（・縦型 ・横型）	・	・100㎜以上 ・50㎜以上
・バルコニー用	・	・100㎜以上 ・50㎜以上
・バルコニー中継用	・	・100㎜以上 ・50㎜以上

とい受金物
材種 ・ ※溶融亜鉛めっきを行ったもの
形状 ・ ※市販品（とい径100以下）
※25×4.5以上（とい径100を超えるもの）
取付け間隔 ・
足金物
材種 ・ ※溶融亜鉛めっきを行ったもの
形状 ・ ※市販品
取付け間隔 ・
多雪地域の軒どい取付間隔 ・適用する ・適用しない
ロックウール保温筒及びビーズ法ポリエチレンフォーム保温筒のホルムアルデヒド放散量
※規制対象外 ・
既存のといその他の撤去及び降雨等に対する養生方法 ・ ・図示
鋼管製といの防露巻き ・ ※改修標準仕様書表3.8.4による
たてどい受金物の取付け ・ ※図示
ルーフドレンの取付け
・
※水はけよく、床面より下げ、周囲の隙間にモルタルを充填する

・アルミニウム製笠木 [3.9.2、3]

種類 ・オープン形式（・押出250形 ・押出300形 ・押出350形）
・板材折曲げ形（・オープン形式 ・シール形式）
本体幅（ ）㎜ 板厚（ ・ ㎜ ※2.0㎜）
表面処理 種別 ・
着色 ・標準色（ ）・特注色（ ）
既存笠木等の撤去 ・行う（範囲 ・図示 ・ ）
・行わない
下地補修の工法 ※図示 ・
板材折曲げ形の笠木の取付方法 ※図示 ・

笠木の固定金具の工法等
建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1 ・1.15 ・1.3）倍の風圧力に対応した工法

		山梨大学施設・環境部	担当

一級建築士事務所登録（復活） L第27312号
管理建築士 一級建築士登録 第208750号 関口 清男
〒381-0012 長野市柳原2360番地4 TEL 026(266)8300
設計体制及び所長

役職	所長	設計担当責任者	担当者	担当者
	湯本	村田	兼岩	

設計業務名	山梨大学（武田１（附特））校舎（小・中学部）改修設計業務	工事名 図面名	山梨大学（武田１（附特））校舎(小学部)改修工事 特記仕様書(2)
設計者氏名	一級建築士登録 第279740号 村田	縮尺	A1 ： ー A3 ： ー
		図面番号	特A － 02

4 外壁改修工事（共通事項）

⊙ 施工数量調査

[1.5.2、3]

調査範囲　・外壁改修範囲　・図示の範囲

調査内容

ひび割れの幅及び長さを壁面に表示する。また、ひび割れ部の挙動の有無、湿水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。

モルタル塗仕上げ及びタイル張り仕上げについては浮き部分を表面に表示し、また欠損部の形状寸法等を調査する。

コンクリート表面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。
塗り仕上げについては、コンクリートまたはモルタル表面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。また、既存塗膜と新規上塗材との適合性を確認する。

既存部分の破壊を行った場合の補修方法　・図示　・
調査報告書の部数　・２部　・

⊙ ポリマーセメントスラリー

[4.2.2]

広がり速度 (cm/s)	長さ変化率 (収縮)	引張接着性 (材齢２８日)	曲げ性能 (材齢２８日)	吸水性 (７２時間)	耐久性 (劣化曲げ強さ)
３ 以下	３％以下	０．５ N/mm² 以上	５．０ N/mm² 以上	１５％ 以下	５．０ N/mm² 以上

保水係数　０．３５～０．５５
粘調係数　０．５０～１．００

⊙ 既調合モルタル

[4.2.2]

モルタル下地とたしたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、混和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。

4-1 外壁改修工事　コンクリート打放し仕上げ外壁

・ひび割れ部改修工法

[4.2.2][4.3.4～5][4.3.4]

・樹脂注入工法

工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量 (ml/m)
※ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0 以下	・ ※ 200～300	・ 130 ・
・ 手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3 未満	・ 50～100 ・	・ 40 ・
・ 機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上～0.5 未満	・ 100～200 ・	・ 70 ・
	0.5以上～1.0 以下	・ 150～250 ・	・ 130 ・

エポキシ樹脂　・低粘度形　・中粘度形
注入状況の確認方法　　※コアの抜取りを行う
・
抜取り個数　※長さ500mごと及びその端数につき1個　・
抜取り部の補修方法　※図示　・

・Uカットシール材充填工法
・シーリング材
充填材料の種類　※1成分形又は2成分形ポリウレタン系　・
シーリング材のうえにポリマーセメントモルタルの充填
・行う　　・行わない
・可とう性エポキシ樹脂

・シール工法
・パテ状エポキシ樹脂　・可とう性エポキシ樹脂

・欠損部改修工法

[4.1.4][4.2.2]

・
・充填工法
・エポキシ樹脂モルタル　・ポリマーセメントモルタル

・モルタル塗替え工法
・現場調合材料
（セメントは改修特記仕様書８－２　コンクリート工事による）
・既調合材料（　　）
既製目地材　・使用する（形状　・図示　・　　）
仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の措置　※図示　・

・浮き部改修工法

[4.1.4][4.2.2][4.4.10～15]

工法の種類 (モルタルを撤去しない場合)	アンカーピンの本数 (本/㎡) 一般部	アンカーピンの本数 (本/㎡) 指定部	注入口の箇所数 (箇所/㎡) 一般部	注入口の箇所数 (箇所/㎡) 指定部	注入量 (ml/箇所)
・アンカーピニング部分エポキシ樹脂注入工法	・ ※ 16	・ ※ 25	―	―	・ ※ 25
・アンカーピニング全面エポキシ樹脂注入工法	・ ※ 13	・ ※ 20	・ ※ 12	・ ※ 20	・ ※ 25
・アンカーピニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	・ ※ 13	・ ※ 20	・ ※ 12	・ ※ 20	・ ※ 50
・注入口付アンカーピニング部分エポキシ樹脂注入工法	・ ※ 9	・ ※ 16	―	―	・ ※ 25
・注入口付アンカーピニング全面エポキシ樹脂注入工法	・ ※ 9	・ ※ 16	・ ※ 9	・ ※ 16	・ ※ 25
・注入口付アンカーピニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	・ ※ 9	・ ※ 16	・ ※ 9	・ ※ 16	・ ※ 50
・充填工法	―	―	―	―	―
・モルタル塗替え工法	―	―	―	―	―

アンカーピンの材質

※ ステンレス鋼(SUS304)呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したもの

注入口付アンカーピンの材質
・
※ ステンレス鋼(SUS304)呼び径外径6mm程度　・

充填工法
・エポキシ樹脂モルタル　・ポリマーセモルタル

モルタル塗替え工法
・現場調合材料
（セメントは改修特記仕様書８－２　コンクリート工事による）
・既調合材料（　　）
既製目地材　・使用する（形状・図示　　）
仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の措置　※図示　・

4-2 外壁改修工事　モルタル塗り仕上げ外壁

・既存モルタル塗りの撤去

・ひび割れ部改修工法

・行う（※ 全面　・図示の範囲）

[4.1.4][4.4.2][4.4.5、6]

・樹脂注入工法

工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量 (ml/m)
※ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0 以下	※ 200～300　・	・ 130 ・
・ 手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3 未満	・ 50～100　・	・ 40　・
	0.3以上～0.5 未満	・ 100～200　・	・ 70　・
・ 機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上～1.0 以下	・ 150～250　・	・ 130　・
			・

エポキシ樹脂　・低粘度形　・中粘度形
注入状況の確認方法　　※コアの抜取りを行う
抜取り個数　※長さ500mごと及びその端数につき1個　・
抜取り部の補修方法　※図示　・

・Uカットシール材充填工法
・シーリング材
充填材料の種類　・　　※1成分形又は2成分形ポリウレタン系　・
シーリング材のうえにポリマーセメントモルタルの充填
・行う　・行わない
・可とう性エポキシ樹脂

・シール工法
・パテ状エポキシ樹脂
・可とう性エポキシ樹脂

[4.1.4][4.2.2][4.4.10～15]

工法の種類 (タイルを撤去しない場合)	アンカーピンの本数 (本/㎡) 一般部	アンカーピンの本数 (本/㎡) 指定部	注入口の箇所数 (箇所/㎡) 一般部	注入口の箇所数 (箇所/㎡) 指定部	注入量 (ml/箇所)
・アンカーピニング部分エポキシ樹脂注入工法	・ ※ 16	・ ※ 25	―	―	・ ※ 25
・アンカーピニング全面エポキシ樹脂注入工法	・ ※ 13	・ ※ 20	・ ※ 12	・ ※ 20	・ ※ 25
・アンカーピニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	・ ※ 13	・ ※ 20	・ ※ 12	・ ※ 20	・ ※ 50
・注入口付アンカーピニング部分エポキシ樹脂注入工法	・ ※ 9	・ ※ 16	―	―	・ ※ 25
・注入口付アンカーピニング全面エポキシ樹脂注入工法	・ ※ 9	・ ※ 16	・ ※ 9	・ ※ 16	・ ※ 25
・注入口付アンカーピニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	・ ※ 9	・ ※ 16	・ ※ 9	・ ※ 16	・ ※ 50
・注入口付アンカーピニングエポキシ樹脂注入タイル固定工法	・	・	―	―	・ ※ 25
・タイル部分張り替え工法	―	―	―	―	―
・タイル張り替え工法	―	―	―	―	―

アンカーピンの材質
・
※ ステンレス鋼(SUS304)呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したもの

注入口付アンカーピンの材質
・
※ ステンレス鋼(SUS304)呼び径外径6mm程度　・

・タイル部分張替え工法
接着剤の種類
・ポリマーセメントモルタル
・JIS A 5557に基づく一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系

・タイル張替え工法
張替え用材料
・接着剤JIS A 5557に基づく一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系
・張付けモルタル　（・現場調合材料　・既調合モルタル）

伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地の位置
・図示
※改修標準仕様書4.5.1による　・
外装タイル張り下地等モルタル及び下地調整剤塗りの接着力試験
・行う　　・行わない
・セメントモルタルによるタイル（セラミックタイル）張り
下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理
・目荒らし工法（改修標準仕様書4.4.9(3)による）
・
タイル張りの工法
・外装タイル　（・密着張り　・改良圧着張り　・改良積上げ張り）
・ユニットタイル　（・マスク張り　・モザイクタイル張り）
シーリング　改修特記仕様書３章　防水改修工事による

・有機系接着剤によるタイル（セラミックタイル）張り
モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理
・目荒らし工法（改修標準仕様書4.4.9(3)による）
・
シーリング材の種類
打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地　・　　※ポリウレタン系
伸縮調整目地その他の目地　・　　※変成シリコーン系
シーリングのその他事項は、改修特記仕様書３章　防水改修工事による

・浮き部改修工法

[4.1.4][4.2.2][4.5.9～15]

工法の種類 (タイルを撤去しない場合)	アンカーピンの本数 (本/㎡) 一般部	アンカーピンの本数 (本/㎡) 指定部	注入口の箇所数 (箇所/㎡) 一般部	注入口の箇所数 (箇所/㎡) 指定部	注入量 (ml/箇所)
・アンカーピニング部分エポキシ樹脂注入工法	・ ※ 16	・ ※ 25	―	―	・ ※ 25
・アンカーピニング全面エポキシ樹脂注入工法	・ ※ 13	・ ※ 20	・ ※ 12	・ ※ 20	・ ※ 25
・アンカーピニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	・ ※ 13	・ ※ 20	・ ※ 12	・ ※ 20	・ ※ 50
・注入口付アンカーピニング部分エポキシ樹脂注入工法	・ ※ 9	・ ※ 16	―	―	・ ※ 25
・注入口付アンカーピニング全面エポキシ樹脂注入工法	・ ※ 9	・ ※ 16	・ ※ 9	・ ※ 16	・ ※ 25
・注入口付アンカーピニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	・ ※ 9	・ ※ 16	・ ※ 9	・ ※ 16	・ ※ 50
・注入口付アンカーピニングエポキシ樹脂注入タイル固定工法	・	・	―	―	・ ※ 25
・タイル部分張り替え工法	―	―	―	―	―
・タイル張り替え工法	―	―	―	―	―

アンカーピンの材質
・
※ ステンレス鋼(SUS304)呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したもの

注入口付アンカーピンの材質
・
※ ステンレス鋼(SUS304)呼び径外径6mm程度　・

・タイル部分張替え工法
接着剤の種類
・ポリマーセメントモルタル
・JIS A 5557に基づく一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系

・タイル張替え工法
張替え用材料
・接着剤JIS A 5557に基づく一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系
・張付けモルタル　（・現場調合材料　・既調合モルタル）

4-3 外壁改修工事　タイル張り仕上げ外壁

・既存タイル張りの撤去

・外壁タイル張り全面　・図示の範囲
撤去範囲　※ 下地モルタルまで　・張付けモルタルまで　・タイルのみ

・ひび割れ部改修工法

[4.1.4][4.2.2][4.5.5、6]

改修箇所　※ 既存タイル張り面
・既存タイル撤去面（・コンクリート面　・モルタル面）

・樹脂注入工法

工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量 (ml/m)
※ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0 以下	・ ※ 200～300	・ 130　・
・ 手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3 未満	・ ・ 50～100	・ 40　・
・ 機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上～0.5 未満	・ ・ 100～200	・ 70　・
	0.5以上～1.0 以下	・ ・ 150～250	・ 130　・

エポキシ樹脂　・低粘度形　・中粘度形
注入状況の確認方法　　※コア抜取り検査を行う　・
抜取り個数　※長さ500mごと及びその端数につき1個　・
抜取り部の補修方法　・図示　・

・Uカットシール材充てんエ法（既存タイル張り撤去面）
・シーリング材
充填材料の種類　※1成分形又は2成分形ポリウレタン系　・
シーリング材の上にポリマーセメントモルタルの充填　・行う　・行わない
・可とう性エポキシ樹脂

・欠損部改修工法

[4.1.4][4.2.2][4.5.6]

・タイル部分張替え工法
接着剤の種類
・ポリマーセメントモルタル
・JIS A 5557に基づく一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系

・タイル張替え工法
張替え用材料
・接着剤JIS A 5557に基づく一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系
・張付けモルタル　（・現場調合材料　・既調合モルタル）

・目地改修工法

[4.1.4][4.5.16]

・目地ひび割れ部改修工法
・伸縮調整目地改修工法
伸縮調整目地の位置及び寸法　・図示　・
シーリングは、改修特記仕様書第３章　防水改修工事による

・タイルの形状、寸法等

[4.2.2]

施工箇所	形状寸法 (mm)	吸水率による区分 I類	II類	III類	うわぐすり 施釉	予備施釉	役物 有	無	色 標準	特注	再生材の適用	副資材 G	有	無	備考
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・		・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・		・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・		・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・		・	・	

標準的な曲がりの役物は一体成形とする
試験張り　・行う　・行わない
見本焼き　・行う　・行わない

4-4 外壁改修工事　塗り仕上げ外壁

⊙ 既存塗膜等の除去
下地処理及び下地調整

[4.6.3]

工　法	処理範囲	下地面の補修
・ サンダー工法	・ 図示 ※既存仕上げ面全体	⊙ひび割部改修工法
・ 高圧水洗工法 加圧力 ※30～50MPa程度 ・	・ 図示 ※既存仕上げ面全体	⊙浮き部改修工法 ⊙欠損部改修工法
・ 塗膜はく離剤工法	・ 図示 ※既存仕上げ面全体	
⊙ 水洗い工法	・ 図示 ※サンダー工法、高圧水洗工法、塗膜はく離剤工法の処理範囲以外の既存仕上面全面	

⊙ 下地調整塗材

[4.6.3]

※ 下地調整塗材
・ ポリマーセメントモルタル

⊙ 仕上塗材仕上げ

[4.1.5][4.2.2][4.6.5][表4.2.4]

建物内部に使用する塗料のホルムアルデヒド放散量
※規制対象外　・
新規仕上塗材の種類
⊙薄付け仕上塗材

種類（呼び名）	仕上げの形状・工法	吸放湿材	防水材料
・外装薄塗材Ｓｉ	⊙砂壁状	・適用する	・
・可とう形外装薄塗材Ｓｉ	・ゆず肌状 （・吹付け　・ローラー塗り）	⊙適用しない	・
⊙外装薄塗材Ｅ	・さざ波状		・
・可とう形外装薄塗材Ｅ	・平たん状		・
・防水形外装薄塗材Ｅ	・凹凸状 （・吹付け　・こて塗り）		・
・外装薄塗材Ｓ	・着色骨材砂壁状 （・吹付け　・こて塗り）		・

・厚付け仕上塗材

種類（呼び名）	仕上げの形状・工法	吸放湿材	上塗材	防水材料
・外装厚塗材Ｃ	・吹放し	・適用する	・適用する	・
・外装厚塗材Ｓｉ	・凸部処理	・適用しない	・適用しない	・
・外装厚塗材Ｅ	・平たん状 （・こて塗り　・ローラー塗り）			・
	・凹凸状 （・こて塗り　・ローラー塗り）			・
	・ひき起こし （・こて塗り　・ローラー塗り）			・
	・かき落とし			・

・複層仕上塗材

種類（呼び名）	仕上げの形状・工法	上塗材の種類	耐候性	防水材料
・複層塗材ＣＥ	・ゆず肌状	溶媒	・	・
・可とう形複層塗材ＣＥ	・凸部処理	※水系 ・	※耐候形３種	・
・複層塗材Ｓｉ	・凹凸状	樹脂		・
・複層塗材Ｅ		※アクリル系 ・		・
・複層塗材ＲＥ		外観		・
・防水形複層塗材ＣＥ		※つやあり		・
・防水形複層塗材Ｅ		・メタリック		・
・防水形複層塗材ＲＥ		・		・

⊙可とう形改修用仕上塗材

種類（呼び名）	仕上げの形状・工法	上塗材の種類	耐候性	防水材料
・可とう形改修塗材Ｅ	・平たん状	溶媒	・	・
⊙可とう形改修塗材ＲＥ	・さざ波状	※水系 ・	※耐候形３種	・
・可とう形改修塗材ＣＥ	⊙ゆず肌状	樹脂		・
		・アクリル系		
		⊙シリコン系		
		外観		
		※つやあり		
		・メタリック		
		・		

・ マスチック塗材塗り

[4.1.5][4.7.2][表4.7.1]

種別　・Ａ種　・Ｂ種

・ 外壁用塗膜防水材塗り

[4.1.5][4.2.2][4.8.2][表4.2.6]

外壁用塗膜防水塗り
仕上げの形状・　　工法・
外壁用仕上塗材の耐候性　・
※JIS A 6909の耐候形1種相当
下地挙動緩衝材の適用　・適用する　・適用しない
吹付け工法の模様材の種類　・　　・所要量　(kg/㎡)
外壁用仕上塗料の種類　・　　・所要量　(kg/㎡)

コンクリート面のひび割れ部及び欠損部の処理は、改修特記仕様書4章　外壁改修工事（コンクリート打ち放し仕上げ外壁）による

モルタル面のひび割れ部、欠損部及び浮き部の処理は、改修特記仕様書4章　外壁改修工事（モルタル塗り仕上げ外壁）による

既存塗膜等の除去、下地処理及び下地調整は、改修特記仕様書4章　外壁改修工事（塗仕上げ外壁等）による

山梨大学施設・環境部	担当	一級建築士事務所登録（長野）L第27312号 管理建築士　一級建築士登録　第20875号　関口 浪男 〒381-0012　長野市緑原2360番地4　TEL 026(296)8300	設計業務名	山梨大学（武田１（附特））校舎（小・中学部）改修設計業務	工事名 山梨大学(武田１(附特))校舎(小学部)改修工事 図面名 特記仕様書(3)
		設計体制及び検査 検査員 湯本　設計担当責任者 村田　担当者 兼岩　担当者	設計者氏名	一級建築士登録 第27974号　村田	縮尺 A1：－　A3：－　図面番号 特A－03

5 建具改修工事

⊙ 改修工法 [5.1.3]

建具の種類	かぶせ工法	撤去工法	適用箇所
⊙ アルミニウム製建具	⊙	⊙	⊙ 建具表による ・
・樹脂製建具	—	・	・ 建具表による ・
・ 鋼製建具 ・ 外部	・	・	・ 建具表による ・
・ 内部	・	・	・ 建具表による ・
・ 鋼製軽量建具	・	・	・ 建具表による ・
・ ステンレス製建具	・	・	・ 建具表による ・

新規に建具を設ける場合
壁部分の開口の開け方 ※図示 ・
新規建具周囲の補修工法及び範囲 ※図示 ・
建具周囲のシーリングは、改修特記仕様書3章 防水改修工事による

・ 防火戸 [5.1.4]
・指定する 適用箇所（・建具表による ・ ）
・指定しない
ヒューズ装置、熱感知器又は煙感知器との連動
・連動させる（・建具表による ・ ）
・連動させない

・ 見本の製作等 [5.1.5]
建具見本の製作 ・行う（建具符号： ） ・行わない
建具見本の程度 ・工事に使用するものとして、あらかじめ製作する
・納まり等がわかる程度のもの
特殊な建具の仮組 ・行う（建具符号： ） ・行わない

・ 防犯建物部品 [5.1.7]
・適用する（ ） 適用箇所（・建具表による ・ ）
・適用しない

⊙ アルミニウム製建具 [5.2.2～5][表 5.2.2]
性能値等
耐風圧性の等級 （ S－5 ）
気密性の等級 （ A－4 ）
水密性の等級 （ W－4 ）

外部に面する建具の種別
⊙A種（建具符号：・建具表による ・ ）
⊙B種（建具符号：⊙建具表による ・ ）
・C種（建具符号：・建具表による ・ ）
枠の見込み寸法 ⊙建具表による ・

防音ドア,防音サッシ 遮音性の等級（・ ）
断熱ドア,断熱サッシG 断熱性の等級（・ ）
耐震ドア 面内変形追随性の等級（・ ）

表面処理
外部に面する建具 ⊙BB-1 ・BB-2
着色 ⊙標準色（ ）・特注色（ ）

屋内の建具 ・BC-1 ・BC-2
着色 ・標準色（ ）・特注色（ ）

ステンレス鋼板 ・ ※ SUS304、SUS430JIL、又はSUS443J1
結露水の処理方法 ・図示 ・
水切り板、ぜん板 ⊙図示 ・

⊙ 網戸等 [5.2.3、5.3.3]

種類	材種	線径	網目
⊙防虫網	・合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ⊙ステンレス(SUS316)製	※0.25mm以上 ・	※16～18メッシュ ・
・防鳥網	ステンレス(SUS304)線材	1.5mm	網目寸法15mm

・ 樹脂製建具 [5.2.2][5.3.2～5]
性能値等
耐風圧性の等級 （ ）
気密性の等級 （ ）
水密性の等級 （ ）
外部に面する建具の種別
・A種（建具符号：・建具表による ・ ）
・B種（建具符号：・建具表による ・ ）
・C種（建具符号：・建具表による ・ ）
枠の見込み寸法 ・建具表による ・
防音ドア ・ 防音サッシ 遮音性の等級（・T－1 ・T－2）
断熱ドア ・ 断熱サッシG 断熱性の等級（・H－4 ・H－5 ・H－6・ ）

表面色 ・標準色 ・特注色
水切り板、ぜん板 ※図示 ・
ガラス ※複層ガラス ・

・ 鋼製建具 [5.2.2][5.4.2～4][表 5.4.2]
性能等級
簡易気密型ドアセット ・適用する
（建具符号：・建具表による ・ ）
・適用しない
外部に面する建具の耐風圧性 ・S-4（建具符号：・建具表による ・ ）
・S-5（建具符号：・建具表による ・ ）
・S-6（建具符号：・建具表による ・ ）

防音ドア ・ 防音サッシ 遮音性の等級（ ）
断熱ドア ・ 断熱サッシG 断熱性の等級（ ）
耐震ドア 面内変形追随性の等級（・ ）

鋼板の厚さ ・ mm
※改修標準仕様書表5.4.2による

ステンレス鋼板 ・ ※ SUS304、SUS430JIL、又はSUS443J1

⊙ 鋼製軽量建具 [5.2.2][5.5.2～4]
性能等級
簡易気密型ドアセット ・適用する
⊙適用しない
防音ドア ・ 防音サッシ 遮音性の等級（ ）
断熱ドア ・ 断熱サッシG 断熱性の等級（ ）
耐震ドア 面内変形追随性の等級（ ）

鋼板の種類 ・亜鉛めっき鋼板 ・ビニル被膜鋼板 ・カラー鋼板 ・ステンレス鋼板
鋼板の厚さ ・ mm
⊙改修標準仕様書表5.5.1による
ステンレス鋼板・ ※SUS304、SUS430JIL、又はSUS443J1
召合せ、縦小口包み板の材質
※鋼板 ・ステンレス鋼板 ・アルミニウム合金の押出形材

・ ステンレス製建具 [5.2.2][5.4.2][5.6.2～5]
性能等級
簡易気密型ドアセット ・適用する
・適用しない
外部に面する建具の耐風圧性 ・S-4
・S-5
・S-6
・

防音ドア ・ 防音サッシ 遮音性の等級（ ）
断熱ドア ・ 断熱サッシG 断熱性の等級（ ）
耐震ドア
ステンレス鋼板・ ※SUS304、SUS430JIL、又はSUS443J1
表面仕上げ ※HL ・鏡面仕上げ ・
ステンレス鋼板の曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ

⊙ 建具用金物 [5.7.1～3]
金物の種類及び見え掛り部の材質等
※改修標準仕様書表5.7.1により適用は建具表による。
・
金属製建具用丁番の枚数及び大きさ ・建具表による
※改修標準仕様書表5.7.2による

樹脂製建具用丁番の枚数及び大きさ ・建具表による
※改修標準仕様書表5.7.3による

握り玉、レバーハンドル、押板類、クレセントの取付け位置 ⊙建具表による ・

⊙錠前類 （シリンダ箱錠及びシリンダ本締まり錠）

⊙錠前類 （レバーハンドル）

⊙クローザ類

⊙ 鍵 [5.7.4]
マスターキー ・ 製作する ⊙ 製作しない
⊙ 既存のマスターキーに合わせる
その他の鍵の製作本数 ※ 各室3本1組 ・
鍵箱 ・ 無 ⊙ 有

・ 自動ドア開閉装置 [5.8.2、3]
・引き戸用駆動装置
性能値 ※改修標準仕様書表5.8.5による
・種類・開閉方式 （ ）
・耐電圧 （ ）
・温度上昇 （ ）
・耐久性（サイクル） （ ）
・防錆 （ ）
・電源 （ ）

・多機能トイレ出入り口引き戸用駆動装置
性能値 ※改修標準仕様書表5.8.6による
・耐電圧 （ ）
・温度上昇 （ ）
・耐久性（サイクル） （ ）
・防錆 （ ）
・電源 （ ）

・引き戸用検出装置
性能値 ※改修標準仕様書表5.8.3による
・耐電圧 （ ）
・防錆 （ ）
・防滴 （ ）
・電源 （ ）

戸の開閉方式
・建具表による ・
引き戸用検出装置の種類 改修標準仕様書表5.8.4による
・建具表による ・
凍結防止措置
・適用する ・適用しない

⊙ 自閉式上吊り引戸装置
⊙建具表による [5.9.3]
性能値等 ※ 改修標準仕様書表 5.9.1 による

・手動開き力 （ ）
・手動閉じ力 （ ）
・閉じ速度の調整 （ ）
・制動区間 （ ）
・開閉繰返し （ ）
・耐衝撃性 （ ）

・ 重量シャッター [5.10.2.3]

シャッターの種類	耐風圧強度
・ 管理用シャッター	耐風圧強度（ ）N/m²
・ 外壁用防火シャッター	耐風圧強度（ ）N/m²
・ 屋内用防火シャッター	
・ 防煙シャッター	

開閉方式の種類 ※ 上部電動式（手動併用） ・ 上部手動式
二重チェーン、急降下制動装置、急降下停止装置を設けた電動シャッターの設置箇所
・図示 ・
障害物感知装置を設けた電動シャッターの設置箇所 ・図示 ・
屋内用防火シャッター若しくは防煙シャッターの危害防止機構
・設ける （設置箇所 ・図示 ・ ）
「防火区画に用いる防火設備等の構造方法を定める件」（昭和48年12月28日
建設省告示第2563号）に定める基準に適合するもの
※障害物感知装置（自動閉鎖型） ・可動座板式
・設けない
管理用一般重量シャッターのシャッターケース ・ 設ける ・ 設けない
スラット及びシャッターケース用鋼板
鋼板の種類 ・JIS G 3302（溶融亜鉛めっき鋼板）
・JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板）
めっきの付着量 ※Z12又はF12 ・
ガイドレール、まぐさ、雨掛りに用いる床板及び床板のカバー、雨掛りに用いる
スイッチボックス類のふたの材質
ステンレス鋼板 ・ ※SUS304、SUS430JIL、又はSUS443J1

・ 軽量シャッター [5.11.2～4]
開閉方式の種類 ※手動式 ・上部電動式（手動併用）
耐風圧強度（ ）N/m²
障害物感知装置を設けた電動シャッターの設置箇所 ・図示 ・
スラットの材質
・JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板）
めっき付着量（※Z06又はF06 ・ ）
・JIS G 3322（塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板）
めっき付着量（※AZ90 ・ ）
スラットの形状 ・インターロッキング形 ・オーバーラッピング形

・ オーバーヘッドドア [5.12.2、3]

セクション材料による区分	耐風圧性能の区分(Pa)	開閉方式による区分	収納形式による区分	ガイドレールの材質
※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ	・125 ・100 ・75 ・50	※バランス式 ・チェーン式 ・電動式	・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・バーチカル形	※溶融亜鉛めっき鋼板 ・ステンレス鋼板（・ ） (※SUS304、SUS430JIL、又は、SUS443J1)

障害物感知装置を設けた電動タイプの設置箇所 ・図示 ・

⊙ ガラス [3.7][5.13.2～4]
⊙フロート板ガラスの品種及び厚さの呼びによる種類
⊙建具表による

⊙型板ガラスの厚さによる種類
⊙建具表による

⊙網入り板ガラス及び線入り板ガラスの網又は線の形状、板の表面の状態及び厚さの
呼びによる種類
⊙建具表による

・合わせガラス
材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びにガラスの合計厚さによる種類
・建具表による
形状による種類
・平面合わせガラス ・曲面合わせガラス
落球衝撃は く離特性並びにショットバック衝撃特性による種類
・Ⅰ類 ・Ⅱ-1類 ・Ⅱ-2類 ・Ⅲ類

⊙強化ガラス
形状による種類及び材料板ガラスの種類による名称
⊙建具表による
破片の状態及びショットバック衝撃特性による種類
⊙Ⅰ類 ・Ⅱ類

・熱線吸収板ガラス
板ガラスによる種類及び厚さによる種類
・建具表による
性能による種類
・1種 ・2種

⊙複層ガラス
材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに複層ガラスの厚さ
⊙建具表による
断熱性による区分
・T1 ・T2 ・T3 ・T4 ・T5 ・T6
日射取得性、日射遮蔽性による区分
・G ・S
乾燥気体の種類
⊙空気 ・アルゴン

・熱線反射ガラス
材料板ガラスの種類及び厚さによる種類
・建具表による
日射熱遮へい性による区分
・1種 ・2種 ・3種
耐久性による区分（日射熱遮蔽性による区分が２種の場合）
・A種 ・B種
映像誤整 ・行わない ・行う

・倍強度ガラス
材料板ガラスの種類及び厚さによる種類
・建具表による

ガラスの留め材及び溝の大きさ

建具の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ(mm)
アルミニウム製	⊙シーリング材 ・ガスケット ・グレイジングチャンネル形 ・	・図示 ※建具製造所の仕様による
鋼製及び鋼製軽量	⊙シーリング材 ・	・図示 ※建具製造所の仕様による
ステンレス製	・シーリング材 ・	・図示 ※建具製造所の仕様による

・ ガラスブロック [5.13.5]

表面形状	呼び寸法(mm)	厚さ(mm)	目地幅(mm) 平積み	目地幅(mm) 曲面積み	伸縮調整目地(mm)
・正方形	・125×125	80	※8～15 ・15～25 ・	外側 ※15以下 ・ 内側 ※6以上 ・	※6m以下ごとに幅10～25 ・図示 ・
	・160×160	・95 ・125			
	・200×200	・95 ・125			
	・320×320	95			
・長方形	・250×125	80			
	・320×160	95			

壁用金属枠及び補強材・形状
・図示
力骨 材質 ※ステンレス鋼(SUS304) ・
寸法 ※径5.5mm ・
形状 ※はしご形状複筋及び単筋 ・
化粧目地モルタルの色（ ）
金属製化粧カバー 材質 ・ステンレス製 ・アルミニウム製
寸法 ・図示 ・
形状 ・図示 ・

工法
建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1 ・1.15 ・1.3）倍の風圧力に対応した工法

目地部の横力骨の納まり
※ガラスブロック製造所の仕様による ・図示 ・

・ ガラス用フィルム

種類	記号 内貼り用	記号 外貼り用	その他性能等
・日射調整フィルムG	・SC－1	・SC－2	
・低放射フィルム	・LE		
・衝撃破壊対応ガラス飛散防止フィルム	・GI－1	・GI－2	
・相関変位破壊対応ガラス飛散防止フィルム	・GD－1	・GD－1	
・ガラス貫通防止フィルム	・SF		

品質 JIS A 5759による

6 内装改修工事

⊙ 改修範囲 [6.1.3]
既存間仕切壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲
※ 壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・図示
天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲
※ 壁面より両側 600mm 程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・図示
既存天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修
※ 既存のまま ・図示

⊙ 既存床の撤去及び下地補修 [6.2.2]
ビニル床シート等の除去 ※ 仕上材のみ（接着剤とも）
・下地モルタルとも（・図示の範囲 ・除去範囲全て）
合成樹脂塗床材の除去工法 ・機械的除去工法 ・目荒し工法
既存のコンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、4章外壁改修工事による。
改修後の床の清掃範囲 ※ 図示 ・改修箇所の室内 ・

⊙ 既存壁の撤去及び下地補修 [6.3.2]
間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修
・
※改修標準仕様書4.4.9によるモルタル塗り
（塗り厚25mmを超える場合の処置 ※図示）

	山梨大学施設・環境部	担当	

株式会社 ハヤシ設計
一級建築士事務所（本部） 1級27212号
管理建築士 一級建築士登録 第208750号 開口 浪男
〒381-0012 長野市柳原2360番地4 TEL. 026(295)8300

設計状態及び検査

検査員	設計責任者	担当者	担当者
湯本	村田	兼岩	

設計業務名	山梨大学（武田１（附特））校舎（小・中学部）改修設計業務	工事名 図面名	山梨大学（武田１（附特））校舎（小学部）改修工事 特記仕様書(4)
設計者 氏名	一級建築士登録 第278740号 村田	縮尺	A1 ： － A3 ： －
		図面番号	特A － 04

⊙ 木下地等の表面仕上げ

[6.5.1]

表面仕上げの種別		適用箇所
機械加工	・A種 ⊙B種 ・C種	壁仕上げ 下地材
手加工	・H－A種 ・H－B種 ・H－C種	

・製材 G

[6.5.2]

・「製材の日本農林規格」による下地用針葉樹製材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級	形状	含水率	保存処理	間伐材等の適用
			・ ※2級		※A種・B種・		・
			・ ※2級		※A種・B種・		・
			・ ※2級		※A種・B種・		・

・「製材の日本農林規格」による造作用針葉樹製材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級	形状	含水率	保存処理	間伐材等の適用
見え掛り面			・ ※上小節		※A種・B種・		・
見え掛り面以外			・ ※小節以上		※A種・B種・		・
					※A種・B種・		・

・「製材の日本農林規格」による広葉樹製材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級	形状	含水率	保存処理	間伐材等の適用
			※1級 ・		※10%以下 ・A種・B種・		・
			※1級 ・		※10%以下 ・A種・B種・		・
			※1級 ・		※10%以下 ・A種・B種・		・

・「製材の日本農林規格」以外の製材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	材面の品質	防虫処理	含水率	間伐材等の適用
			(　　) 造作材の場合 (※A種　・B種)	・適用する ・適用しない	※A種・B種 ・	・
			(　　) 造作材の場合 (※A種　・B種)	・適用する ・適用しない	※A種・B種 ・	・
			(　　) 造作材の場合 (※A種　・B種)	・適用する ・適用しない	※A種・B種 ・	・

⊙ 造作用集成材 G

[6.5.2]

ホルムアルデヒド放散量　※規制対象外　・

・「集成材の日本農林規格」による造作用集成材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	見付け材面数	見付け材面の品質	間伐材等の適用
飾り棚 枠共	タモ	厚35	2	※1等　・2等	・
一方枠	タモ	厚35	3	※1等　・2等	・
コーナーガード	タモ	―	見え掛かり	※1等　・2等	・

・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面数	見付け材面の品質	間伐材等の適用
	化粧薄板： 芯材：				※1等　・2等	・
	化粧薄板： 芯材：				※1等　・2等	・
	化粧薄板： 芯材：				※1等　・2等	・

・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり構造用集成柱

施工箇所	樹種	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面の品質	間伐材等の適用
	化粧薄板： 芯材：				・
	化粧薄板： 芯材：				・
	化粧薄板： 芯材：				・

・「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用
				・ ※15%以下	・
				・ ※15%以下	・
				・ ※15%以下	・

・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用
	化粧薄板： 芯材：				・ ※15%以下	・
	化粧薄板： 芯材：				・ ※15%以下	・
	化粧薄板： 芯材：				・ ※15%以下	・

・造作用単板積層材 G

[6.5.2]

ホルムアルデヒド放散量　※規制対象外　・

造作用単板積層材

・「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材

施工箇所	厚さ(mm)	表面の化粧加工	防虫処理	間伐材等の適用
		・有り（加工　・天然木化粧加工・塗装加工） ・無し（等級：　　）	・適用する ・適用しない	・
		・有り（加工　・天然木化粧加工・塗装加工） ・無し（等級：　　）	・適用する ・適用しない	・

・「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材

施工箇所	厚さ(mm)	表面の品質	防虫処理	含水率	間伐材等の適用
		・有り (加工　・天然木化粧加工 ・塗装加工) ・無し（　　）	・適用する ・適用しない	※14%以下	・
		・有り (加工　・天然木化粧加工 ・塗装加工) ・無し（　　）	・適用する ・適用しない	※14%以下	・

・ＣＬＴ（直交集成板）G

施工箇所	品名	曲げ性能(強度等級)	種別	接着性能(使用環境)	樹種	寸法(mm)	間伐材等の適用
							・
							・
							・

・床張り用合板等

[6.5.2]

ホルムアルデヒド放散量　※規制対象外

・普通合板 G

施工箇所	厚さ(mm)	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理	間伐材等の適用
	・ ※5.5		※1類 ・2類	広葉樹 ・1等 ※2等以上 針葉樹 ・ ※C-D以上	・適用する ・適用しない	・
	・					・
	・					・

・構造用合板 G

施工箇所	厚さ(mm)	等級	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理	強度等級	間伐材等の適用
	・ ※12	・1級 ※2級以上		※1類 ・特類	・ ※C-D以上	・適用する ・適用しない	・適用する (　　) ・適用しない	・
	・	・		※1類 ・特類	・	・適用する ・適用しない	・適用する (　　) ・適用しない	・

・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板 G

施工箇所	厚さ(mm)	単板の樹種名	接着の程度	防虫処理	間伐材等の適用
			※1類　・特類		・
					・
					・

・「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板 G

施工箇所	化粧板に使用する単板の樹種名	厚さ(mm)	接着の程度	防虫処理	間伐材等の適用
			※1類　・2類	・適用する (　　)	・
					・
					・

・「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板 G

施工箇所	厚さ(mm)	接着の程度	表面性能	化粧加工の方法	防虫処理	間伐材等の適用
		※1類　・特類			・適用する (　　)	・
						・
						・

・パーティクルボード G

施工箇所	厚さ(mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	難燃性による区分
	・ ※15		・ ※13タイプ	・ ※PF又はM	

⊙ 内装材 羽目板　　材種：檜　　厚さ：図示による

・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり構造用集成材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用
	化粧薄板： 芯材：				・ ※15%以下	・
	化粧薄板： 芯材：				・ ※15%以下	・
	化粧薄板： 芯材：				・ ※15%以下	・

・構造用パネル

施工箇所	厚さ(mm)	等級
		・1級　・2級　・3級　・4級
		・1級　・2級　・3級　・4級

・ＭＤＦ G

施工箇所	厚さ(mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分	間伐材等の適用
						・

⊙ 接着剤

[6.5.3、4] [6.8.2] [6.9.2] [6.11.4、5]

接着剤は可塑剤（錆発性の可塑剤を除く）が添付されていないものとする。

ホルムアルデヒドの放散量　※ 規制対象外　・

施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地以外の場合の接着剤の種別

・図示　・

・ 防腐・防蟻処理

[6.5.5]

・防腐、防蟻処理を省略できる樹種による製材

適用部位：（　　）

・薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理

適用部材	保存処理性能区分
	・K2　・K3　・K4
	・K2　・K3　・K4
	・K2　・K3　・K4

・薬剤の塗布等による防腐・防蟻処理

適用部材	処理の方法	薬剤の方法
	・ ※改修標準仕様書6.5.5(1)(b)②ｱ～ｳによる ・ ・	※JIS K 1571に適合 又は同等品

・薬剤の接着剤への混入による防腐、防蟻処理

適用部位（　　）

⊙ 軽量鉄骨天井下地

[6.6.2～4]

野縁等の種類

屋外（※ 25形　・ 19形）　屋内（※ 19形　・ 25形）

・屋外の軒天井、ピロティ天井等

工法

建築基準法に基づき定める風圧力の（・1　・1.15　・1.3）倍の風圧力に対応した工法

野縁受、吊りボルト及びインサートの間隔　・図示　・

周辺部の端からの間隔　・図示　・

野縁の間隔　・図示　・

既存の埋込みインサート　⊙使用する　・使用しない

あと施工アンカーの確認試験

⊙行う（試験箇所数　・　　箇所

※屋内の場合、当該階において3箇所　　）

（確認強度　・　N

※吊りボルト受け等の間隔が900mm程度以下かつ天井面積構成部材等の単位面積あたりの質量が20kg/㎡以内の天井の場合は400N程度）

・行わない

・吊りボルトの間隔が900mmを超える場合の補強方法　※図示　・

・天井のふところが1.5m以上3.0m以下の場合の補強方法

・

※改修標準仕様書6.6.4(5)による

・天井のふところが3.0mを超える場合

補強方法　※図示

・天井の下地材における耐震性を考慮した補強

補強箇所　※図示　・

補強方法　※図示　・

⊙ 軽量鉄骨壁下地

[6.7.3、4] [表6.7.1]

スタッド、ランナーの種類

・

※改修標準仕様書表6.7.1によるスタッドの高さによる区分に応じた種類

スタッドの高さが5mを超える場合　※図示　・

出入口及びこれに準じる開口部の補強

・

※標準仕様書6.7.4(5)による

⊙ ビニル床シート G

[6.8.2、3]

種類の記号	色柄	厚さ(mm)	備考
⊙FS(複層ビニル床シート) ・	・無地 ⊙ﾓｰﾌﾞﾙ柄 ⊙柄物（木目調）	※ 2.0 ・	FS(B) FS(A)
⊙FS(防滑型)	⊙柄物（木目調）	⊙ 2.0	

目地処理する場合の工法　・　　※熱溶接工法

・ ビニル床タイル G

[6.8.2]

種類の記号	色柄	寸法(mm)	厚さ(mm)	備考
・ＴＴ (単層ビニル床タイル)	・無地 ・柄物	・300×300 ・450×450 ・	・2.0 ・	
・ＦＴ (複層ビニル床タイル)	・無地 ・柄物	・300×300 ・450×450 ・	・2.0 ・2.5 ・3.0	
※ＫＴ (ｺﾝﾎﾟｼｼｮﾝビニル床ﾀｲﾙ)	・無地 ・柄物	・300×300 ・450×450 ・	・2.0 ・3.0	
・ＦＯＡ (置敷きビニル床ﾀｲﾙ)	・無地 ・柄物	・500×500 ・	・4.0 ・	
・ＦＯＢ (薄型置敷きビニル床ﾀｲﾙ)	・無地 ・柄物	・	・	

・ 特殊機能床材

[6.8.2]

・帯電防止床シート

種類　（　　）

性能　（　　）

厚さ　（　　mm）

・帯電防止床タイル

種類　（　　）

性能　（　　）

寸法　厚さ　（　　×　　mm）

・視覚障害者用の床タイル

種類　（　　）

形状　（　　）

突起の形状、寸法及びその配列はJIS T9521による

・耐動荷重性床シート

種類　（　　）

厚さ　（　　mm）

・防滑性床シート

種類　（　　）

厚さ　（　　mm）

・防滑性床タイル

種類　（　　）

寸法　厚さ　（　　×　　mm）

⊙ ビニル幅木

[6.8.2]

材質の種類　⊙軟質　・硬質

高さ(mm)　※60　・75　・100

厚さ(mm)　※1.5以上　・

・ ゴム床タイル

[6.8.2]

種類　・単層品　　・積層品

色柄　（　　）

厚さ(mm)　・3.0　・4.5　・6.0　・9.0

寸法(mm)（　　）

⊙ カーペット敷き G

[6.9.2、3] [表6.9.1]

・ 織じゅうたん

織り方	パイルの形状
・ウィルトンカーペット	・カットパイル
・ダブルフェースカーペット	・ループパイル
・アキスミンスターカーペット	・カット/ループパイル

色柄（・　　※模様のない無地）

パイル糸の種類等

※無地の織りじゅうたんの種別（・A種　　・B種　　・C種）

・

帯電性　・適用する　　・適用しない

織じゅうたんの接合方法　※ヒートボンド工法　・

下敷き材　※反毛フェルト（JIS L 3204）の第2種2号　呼び厚さ 8mm　・

・ タフテッドカーペット

パイルの形状	パイル長さ(mm)	工法	帯電性	備考
・ｶｯﾄﾊﾟｲﾙ	・5～7　・	・全面接着工法	・適用する	
・ﾙｰﾌﾟﾊﾟｲﾙ	・4～6　・	・ｸﾞﾘｯﾊﾟｰ 工法	・適用しない	
・カット、ループ併用	・			

下敷き材(グリッパー工法の場合)

※反毛フェルト（JIS L 3204）の第2種2号　呼び厚さ 8mm　・

・ ニードルパンチカーペット

厚さ (mm)（　　）

帯電性　・適用する

・適用しない

備考（　　）

⊙タイルカーペット

パイルの形状	種別	施工箇所	寸法 (mm)	総厚さ (mm)	備　考
※ ループパイル	※ 第一種 ・ 第二種	図示	※ 500×500 ・	※ 6.5 ・	
・ カットパイル	・ 第一種 ・ 第二種		※ 500×500 ・	※ 6.5 ・	
・ カット・ループ併用	・ 第一種 ・ 第二種		※ 500×500 ・	※ 6.5 ・	

タイルカーペットの敷き方　平　場　※市松敷き　・模様流し　・

階段部分　※模様流し　・市松敷き　・

見切り、押え金物

材質（　　）

種類（　　）

形状等　※図示　・

・ 合成樹脂塗床

[6.10.2、3]

種別	施工箇所	工法	仕上げの種類
・厚膜型塗床材 弾性ｳﾚﾀﾝ樹脂系塗床			※平滑仕上げ ・防滑仕上げ　・つや消し仕上げ
・厚膜型塗床材 ｴﾎﾟｷｼ樹脂系塗床		・薄膜流しのべ工法 ・厚膜流しのべ工法 ・樹脂ﾓﾙﾀﾙ工法	・平滑仕上げ ・防滑仕上げ
・薄膜型塗床材			※平滑仕上げ

塗料のホルムアルデヒド放散量　※規制対象外　・

	山梨大学施設・環境部	担当	

AFA株式会社 山梨事務所
一級建築士事務所登録（長官）1第27317号
管理建築士　一級建築士登録　第206750号　關口 浪男
〒381-0012　長野市緑原2360番地4　TEL 026(296)8300

設計業務名	山梨大学（武田Ⅰ（附特））校舎（小・中学部）改修設計業務
設計者氏名	一級建築士登録 第279740号　村田

工事名	山梨大学(武田Ⅰ(附特))校舎(小学部)改修工事
図面名	特記仕様書(5)
縮尺	A1 ： ― A3 ： ―
図面番号	特A － 05

設計監理	検査員	設計担当責任者	担当者	担当者
	湯本	村田 兼岩		

・フローリング張り G

[6.11.2～6]

・単層フローリング（フローリングボード１等）
工法　・釘留め工法　（・根太張り　・直張り）
・接着工法
樹種　※なら
間伐材等の適用　・適用する　・適用しない

・単層フローリング（フローリングブロック1等）
樹種　・
厚さ　・
大きさ　・
間伐材等の適用　・適用する　・適用しない

・複合フローリング
工法　・釘止め工法　（・根太張り　・直張り）
・接着工法
樹種　・　※なら
種別　・A種　・B種　・C種
間伐材等の適用　・適用する　・適用しない

フローリング及び接着剤のホルムアルデヒドの放散量　※ 規制対象外　・
接着工法の場合の裏面緩衝材　※合成樹脂発泡シート　・
・現場塗装仕上げ
※ウレタン樹脂ワニス塗り
・オイルステインの上、ワックス塗り
・生地のままワックス塗り

・畳敷き

[6.12.2]

種別　・A種　・B種　・C種　・D種（畳床：・KT-Ⅰ　・KT-Ⅱ　・KT-Ⅲ　・KT-K　・KT-N ）
下地の種類　・標準仕様書　表12.6.1による床組
・ポリスチレンフォーム床下地（ノンフロン G）
・
畳表及び畳床はホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しないか、
発散が極めて少ない材料を使用したものとする。

⊙ せっこうボード、その他のボード及び合板張り

[6.13.2、3]

合板類、MDF及びパーティクルボード、接着剤のホルムアルデヒド放散量
※規制対象外　・

種類等	厚さ(mm)、規格等
・木質系セイント板 G	
・木毛セメント板 ・硬質　・中質　・普通	・15　・20　・25　・
・木片セメント板 ・硬質　・普通	・12　・15　・18　・21　・30　・
・繊維板 G	
・MDF（普通）	・3　・7　・9　・12　・
・ハードボード（素地）	・未研磨板（・ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ　・ﾃﾝﾊﾟｰﾄﾞ）RN ・研磨板　（・ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ　・ﾃﾝﾊﾟｰﾄﾞ）RS
・ハードボード（化粧）	・内装用D　・外装用DE ・2.5　・3.5　・5　・7
・インシュレーションボード	A級（天井仕上げ　・内装仕上げ　・　） ・9　・12　・15　・18
・	・
・パーティクルボード G	
・単板張りパーティクルボード	・無研磨板VN　・研磨板VS ・10　・12　・15　・18　・
・化粧パーティクルボード	・単板ｵｰﾊﾞｰﾚｲDV　・ﾌﾟﾗｽﾁｯｸｵｰﾊﾞｰﾚｲDO ・塗装DC ・10（難燃）・12（難燃）・
・	・
・吸音材料	
⊙ ロックウール化粧吸音板	⊙ フラットタイプ（⊙ 9(不燃)・12(不燃) ・　・　） ・凹凸タイプ（・12(不燃)　・15(不燃) ・　・　）
・ロックウール吸音ボード（1号）	・25　・
・グラスウール吸音ボード（32K）	・25（ｶﾞﾗｽｸﾛｽ包）　・
・	・
⊙ せっこうボード	
⊙ せっこうボード	※ 12.5（不燃）　・15（不燃）
・不燃積層せっこうボード	9.5（不燃）　・化粧無（下地張り用） ・化粧有（トラバーチン模様）
・シージングせっこうボード	12.5（・不燃　・準不燃）
⊙ 強化せっこうボード	⊙ 12.5（不燃）　・15（不燃）
・せっこうラスボード	9.5
⊙ 化粧せっこうボード	⊙ ﾄﾗﾊﾞｰﾁﾝ模様　9.5（準不燃） ・スクエア柄ドット模様　9.5（普通及び吸音）
・	・
⊙ 普通合板 G	表板の樹種名　⊙ シナ、カバ 板面の品質（ A-4 ） 厚さ　※図示　・ 接着の程度　・1類　⊙2類 防虫処理　・行う　⊙行わない
・天然木化粧合板 G	化粧板の樹種名　・ 厚さ　※図示　・ 接着の程度　・1類　・2類 防虫処理　・行う　・行わない
・特殊加工化粧合板 G	化粧加工の方法（・ｵｰﾊﾞｰﾚｲ・ﾌﾟﾘﾝﾄ・塗装　・　） 表面性能　・ 厚さ　※図示　・ 接着の程度　・1類　・2類 防虫処理　・行う　・行わない
⊙ けい酸カルシウム板（タイプ 2）	⊙ 6　・8　・
・メラミン樹脂化粧板	JIS K 6903 による　（※ 1.2　・　）
・ポリエステル樹脂化粧板	・
・	・

せっこうボード帯の下地は図示による。

⊙ 壁紙張り

[6.14.2、3]

ホルムアルデヒド放散量　※規制対象外　・

施工箇所	壁紙の種類					防火性能	備考
	紙	繊維	ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ	無機質	その他		
校長室	・	・	⊙	・	・	※ 不燃・準不燃・難燃	
掲示壁	・	・	・	・	⊙	※ 不燃・準不燃・難燃	
	・	・	・	・	・	※ 不燃・準不燃・難燃	
	・	・	・	・	・	※ 不燃・準不燃・難燃	

モルタル・プラスター面の下地調整の種別　※RB種　・
コンクリート面の下地調整の種別　※RB種　・
せっこうボード面の下地調整の種別　※RB種　・

⊙ モルタル塗り

[6.15.3、5、6]

モルタル　・現場調合材料
（セメントは改修特記仕様書８－２　コンクリート工事による）
・既調合材料（　　）
既製目地材　・設ける　施工箇所（　　）　形状（※図示　・　　）
・設けない
床目地　・設ける（工法※押し目地　・　　）
（目地割り　※２m程度　・　　）
（最大目地間隔　※３m程度　・　　）
・設けない

・防水剤

壁面の仕上げ厚又は全塗り厚が25mmを超える場合の下地処理
・

⊙ タイル張り

[6.16.2～4]

伸縮調整目地の位置　床タイル　（※縦、横とも4m以内ごと　・図示　・　）
床タイル仕上げ　（・図示　・　）
伸縮調整目地のシーリング材、目地寸法は改修特記仕様書第3章による
・セメントモルタルによるタイル（セラミックタイル）張り
タイルの形状、寸法等

施工箇所	形状/寸法(mm)	吸水率による区分			うわぐすり		役物		色			再生材料の適用	耐凍害性		耐滑り性	備考
		Ⅰ類	Ⅱ類	Ⅲ類	施ゆう	無ゆう	有	無	標準	特注		G	有	無		
玄関ポーチ	150角	⊙	・	・	⊙	・	⊙	・	⊙	・	・	⊙	⊙	・	⊙	段鼻あり
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	

標準的な曲がりの役物は一体成形とする
試験張り　・行う　⊙行わない
見本焼き　・行う　⊙行わない

⊙既調合モルタル
モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、
混和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。

⊙既調合目地材

・有機系接着剤によるタイル（セラミックタイル）張り
タイルの形状、寸法等

施工箇所	形状/寸法(mm)	吸水率による区分			うわぐすり		役物		色			再生材料の適用	耐凍害性		耐滑り性	備考
		Ⅰ類	Ⅱ類	Ⅲ類	施ゆう	無ゆう	有	無	標準	特注		G	有	無		
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	

標準的な曲がりの役物は一体成形とする
試験張り　・行う　・行わない
見本焼き　・行う　・行わない

内装タイル接着　敷りに使用する有機質接着剤のホルムアルデヒド放散量
※規制対象外　・

・セルフレベリング材塗り

[6.17.2、3]

種類及び品質　・せっこう系　・セメント系
標準塗厚(mm)　・

遮音シール材　・適用する（・シーリング材　・ジョイントコンパウンド）
・適用しない
合板類の張付け　※B種　・A種
せっこうボードの目地工法　⊙仕上表による　・

7 塗装改修工事

⊙ 材料

⊙ 下地調整

[7.1.3]

屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量
※規制対象外　・
防火材料　※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。
・次の箇所を除き防火材料とする。（箇所：　　）

[7.2.1～7]

塗替えRB種の場合の既存塗膜の除去範囲
※塗替え面積の30%　・図示　・
既存鉛止め塗料の鉛含有量調査　・行う（　　箇所）
・行わない

下地調整

下地面の種類	下地調整の種別		ひび割れ部の補修
	塗替え	新規	
木部	※RB種　・	⊙RA種・RB種	—
鉄鋼面	※RB種　・	RA種	—
亜鉛めっき鋼面	※RB種　・	RA種	—
亜鉛めっき鋼面（鋼製建具等）	※RB種　・	RC種	—
モルタル、プラスター面	※RB種　・	・RA種・RB種	⊙行う ・行わない
コンクリート面（DP以外）、ALパネル面	※RB種　・	RA種	・行う ・行わない
押出成形セメント板面	・RA種・RB種 ・RC種・	・RA種・RB種	・行う ・行わない
コンクリート面（DP）	・RB種・RC種	・RA種	・行う ・行わない
せっこうボード面及びその他ボード面	※RB種　・	⊙RA種・RB種	—

・鋼止め塗料塗り

[7.3.2、3]

鋼止め塗料塗りの種別

塗装面			塗料の種別	工程の種別
鉄鋼面	EP-G以外	塗替え	A種	※C種　・
		新規見え掛り	A種	※A種　・
		新規見え隠れ	A種	※B種　・
	EP-G	塗替え	※B種　・A種	※C種　・
		新規見え掛り	※B種　・A種	※A種　・
		新規見え隠れ	※B種　・A種	※B種　・
亜鉛めっき鋼面	EP-G以外	塗替え	※A種　・B種	※C種　・
		新規鋼製建具等	※A種　・B種	※A種　・
	EP-G	塗替え	C種	※C種　・
		新規鋼製建具等	C種	※A種　・

⊙ 塗装

[7.4.2～7.14.2]

塗装の種類	塗装面	工程	
		塗替え	新規
⊙合成樹脂調合ペイント塗り（SOP） 塗料の種類 ※1種　・2種	木部屋外	※B種　・	※A種　・
	木部屋内	※B種　・	※B種　・
	鉄鋼面	※B種　・	※B種　・A種
	亜鉛めっき鋼面（鋼製建具）	※A種　・	※B種　・
	亜鉛めっき鋼面（鋼製建具以外）	※B種　・	※B種　・
⊙クリヤラッカー塗り（CL）		※B種　・A種	※B種　・A種
・フタル酸樹脂エナメル塗り（FE）		—	—
⊙アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り（NAD）		※B種　・A種	※B種　・A種
・耐候性塗料塗り（DP）	鉄鋼面 上塗り等級（　）級	・	A種
	亜鉛めっき鋼面 上塗り等級（　）級	・	A種
	ｺﾝｸﾘｰﾄ面及び押出成形ｾﾒﾝﾄ板面	・	・A-1種 ・B-1種 ・C-1種
⊙つや有合成樹脂エマルションペイント塗り（EP-G）	ｺﾝｸﾘｰﾄ面等	※B種　・	・A種　・B種
	屋内の木部	※B種　・	※A種　・
	屋内の鉄鋼面	※B種　・	・A種　・B種
	屋内の亜鉛めっき鋼面	※B種　・	・A種　・B種
⊙合成樹脂エマルションペイント塗り（EP）		※B種　・	・A種　・B種
・合成樹脂エマルション模様塗料塗り（EP-T）		※B種　・	・A種　・B種
・ウレタン樹脂ワニス塗り（UC）		※B種　・A種	※B種　・A種
・オイルステイン塗り（OS）　塗料（　・油性　・水性）		—	—
⊙木材保護塗料塗り（WP）		※B種　・A種	※B種　・A種
⊙2液形アクリルシリコン樹脂エナメル塗り　（2-ASE）		※B種　・A種	※B種　・A種

つや有合成樹脂エマルションペイント塗り（ｺﾝｸﾘｰﾄ面、ﾓﾙﾀﾙ面、ﾌﾟﾗｽﾀｰ面、せっこうﾎﾞｰﾄﾞ面、その他ﾎﾞｰﾄﾞ面）の塗替えの場合のしみ止め
・
※改修標準仕様書表7.9.1の工程１の下塗りをしみ止めシーラーとする
合成樹脂エマルションペイント塗りの塗替えの場合のしみ止め
・
※改修標準仕様書表7.10.1の工程１の下塗りをしみ止めシーラーとする

・高日射反射率塗料塗り G
下地調整（改修標準仕様書表7.2.2）　・RA種　※RB種　・RC種

工程	塗料その他				塗付け量(kg/㎡)
	規格番号	規格名称	種類	等級	
塗料塗り	JIS K 5675	屋根用高日射反射率塗料	2種	・1級 ・2級 ・3級	塗料製造所の仕様による

8 耐震改修工事

改修特記仕様書（その○）（その○）による

9 環境配慮改修工事

⊙ 石綿含有建材の除去工事

[9.1.1、3～5]

施工調査
※石綿含有建材の事前調査
工事着手に先立ち、目視及び資与する設計図書等により石綿を含有している吹き付け
材、成形板、建築材料等の使用の有無について調査する。

調査範囲　⊙本工事範囲　・図示　　）
資与資料（　下記以外の調査結果　　）

⊙分析による石綿含有建材の調査
分析対象
アクチノライト、アモサイト、アンソフィライト、クリソタイル、クロシドライト、
トレモライト
分析方法

材　料　名	定性分析方法	定量分析方法
	(JIS A 1481-1) または (JIS A 1481-2)	(JIS A 1481-3) または (JIS A 1481-4)
⊙壁モルタル 塗り	⊙　1 箇所	・　箇所
・	・　箇所	・　箇所
・	・　箇所	・　箇所

サンプル数　１箇所あたり３サンプル
採取箇所　・　図示　⊙ 該当部の壁より採取する

石綿粉じん濃度測定
測定時期、場所及び測定点

適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定箇所数（各施工箇所ごと）
・	測定 1	処理作業前	処理作業室内	・計　点
・	測定 2		調査対象室外部の付近	・計　点
・	測定 3	処理作業中	処理作業室内	・計　点
・	測定 4		セキュリティーゾーン入口	・計　点
・	測定 5		集じん・排気装置の排出口（処理作業室外の場合）	出口吹出し風速 1m/s以下の位置 ・計　点
・	測定 6		処理作業室外 ・施工区画周辺 ・敷地境界	・計　点
・	測定 7	処理作業後（シート撤生中）	処理作業室内	・計　点
・	測定 8	処理作業後ｼｰﾄ	処理作業室内	・計　点
・	測定 9	撤去後1週間以降	調査対象室外部の付近	・計　点

測定方法
・自動測定器による測定

測定名称	測定方法
・測定 4 ・測定 5	粉じん相対濃度計（デジタル粉じん計）、パーティクルカウンター、 繊維状粒子自動測定器（リアルタイムファイバーモニター）等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定

・JIS K 3850-1に基づいた測定

測定名称	メンブレンフィルタ直径(mm)	試料の吸引流量(L/min)	試料の吸引時間(min)
・測定 4 ・測定 5	25	5	30
・測定 ・	47	10	120
・測定 ・	47	10	240
・測定 ・			

石綿含有建材の処理
・石綿含有吹付け材の除去
除去対象範囲　・図示　・
除去工法　・　※9.1.3（2）(7)による
除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止措置
※湿潤化　・固形化
除去した石綿含有吹付け材等の処分
・埋立処分（管理型最終処分場）
・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）

・石綿含有保温材等の除去
除去対象範囲　・図示　・
除去工法　・破砕して除去　・手ばらし
除去した石綿含有保温材等の飛散防止
※湿潤化　・固形化
除去した石綿含有保温材等の処分
・埋立処分（管理型最終処分場）
・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）

⊙石綿含有成形板の除去
除去対象範囲　⊙図示　・
除去した石綿含有成形板の処分
・石綿含有せっこうボード
※埋立処分（管理型最終処分場）
⊙石綿含有せっこうボードを除く石綿含有成形板
⊙埋立処分（安定型最終処分場）
・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）

石綿含有建材除去後の仕上げ工事　⊙図示　・

・断熱アスファルト防水改修工事

[9.2.2～3]

改修特記仕様書３章による

山梨大学施設・環境部	担当	所長	株式会社 エム・ティ・ティ設計 一級建築士事務所 登録（長官）L第27312号 管理建築士　一級建築士登録　第208750号　関口 浩美 〒381-0012　長野市稲荷山2360番地4　TEL. 026(296)8300	設計業務名：山梨大学（武田１（附特））校舎（小・中学部）改修設計業務	工事名：山梨大学(武田１(附特))校舎(小学部)改修工事 図面名：特記仕様書(6)
			設計体制及び組織 検図者：湯本　設計担当者 出任者：村田　担当者：兼岩	設計者氏名：一級建築士登録 第279740号　村田	縮尺：A1：—　A3：— 図面番号：特A－06

工事区分表

1．○印の付いたものを適用する。
2．○が重複する項目は、それぞれの区分が必要とする工事を自ら行う。

項目 名称	区分 摘要	建築	電気	機械	土木	備考
コンクリート穴あけ	梁、壁木製型枠入					
〃	壁スリーブ入れ		○	○		
〃	床スラブ木製型枠入					
〃	床スラブスリーブ入れ		○	○		
同上開口部補強	鉄筋切断及び補強筋入れ					
配管ダクト類の防水貫通部補修			○	○		
ＡＬＣパネルの穴あけ、補修	ダクト等の貫通部					
ＰＣ版の穴あけ	スリーブ入れ					
同上補修						
インサート	ＰＣ版					
インサート	コンクリート床	○				
天井点検口	点検口取付及び、開口部補強	○				
軽量鉄骨下地開口部墨出し	電気設備関係開口部		○			
〃	機械設備関係開口部			○		
軽量鉄骨下地開口部補強	天井及び壁、ボード切開	○				
開口補強を必要としないボード等の切開			○	○		
特殊仕上材の天井、壁、床に取付ける器具等の穴あけ加工			○	○		
盤等重量物の下地補強	露出形器具取付用		○	○		
床点検口	点検口取付及び、開口部補強	○				
防火区画貫通部補修			○	○		
機器・配管取付後の壁、床等の補修			○	○		
流し台、ミニキッチン本体、水切	ステンレス製（含む排水金具）			○		
同上用配管接続	給排水用			○		
流し台	陶器製			○		
洗面器等取付化粧板				○		
ルーフドレン		○				
竪樋	防露工事共	○				
雨水排水管	第１桝から排水幹線までの配管			○		
〃	幹線の配管			○		
生活排水、実験排水管	建物及び第１桝までの配管			○		
〃	第１桝から排水幹線までの配管			○		
〃	幹線の配管			○		
大型機械基礎						
同上基礎上鉄骨架台						
機器用アンカーボルト	ボイラ等機械設備関係機器					
〃	自家発電機等電気設備関係機器					
一般機器類の基礎	仕上げ共			○		
屋外自立盤の基礎	仕上げ共					
屋外貯油槽	地下式					
共同溝	歩床コンクリート					
建物、共同溝接続トレンチ						
同上接続部止水板						
各種槽類	コンクリート製					
〃	ＳＵＳ、ＦＲＰ、鋼製					
〃	屋外大型のものの基礎					
〃	屋上設置のものの基礎					
換気扇取付	ダクトのあるもの			○		
〃	壁、サッシ等への取付（材共）			○		
同上用スイッチ			○			
同上用電源配線			○			
同上用枠、取付板等	木製、アルミ製、鉄製			○		
全熱交換器				○		
同上用スイッチ			○	○		
外壁取付ガラリ	給排気用					
内壁取付ガラリ						
ガラリへの給排気ダクト接続				○		
煙感知器連動防火戸		○				既存
同上用レリーズ	配管配線、ボックス共		○			
同上用煙感知器	リレー及びリレーまでの配管配線共		○			
排煙防火ダンパ	リレー取付まで①					
煙感知器連動シャッター	リレー取付まで②					
煙感知器連動防煙垂れ壁	リレー取付まで③					
上記①～③用煙感知器	リレーまでの配管配線共					

項目 名称	区分 摘要	建築	電気	機械	土木	備考
道路側溝用排水	Ｌ型・Ｕ型と管敷設	○				
制御盤	制御盤以降の配管、配線共		○			
同上用電源配線	１次側接続まで		○			
屋内消火栓	消火ポンプ、制御盤			○		既存
屋内消火栓起動リレー			○			既存
同上表示灯及び起動装置			○			既存
自動火災報知器			○			
連結送水口	座板共					
独立煙突						
同上煙道	鋼板製					
同上雷保護設備						
配管配線用ピット						
盤、配管、ダクト、配線用の二重床開口	フリーアクセスフロア等	○				
コンクリートシャフト						
点検口						
天井フック						
機械室、電気室の防音遮音処理						
特殊サイズ鏡		○				
化粧用洗面器、鏡	化粧カウンターは除く			○		
雷保護設備						
保守管理用タラップ、はしご						
室内テレビ用吊金物						
テレビアンテナ	取付共					
同上用基礎						
グリストラップ及び	コンクリート製					
ガソリントラップ	ステンレス鋼板製					
電動シャッターの配管配線	三次側。操作盤、押釦取付共					
同上用電源配線	一次側接続まで					
自動扉の配管配線	三次側					
同上用電源配線	一次側接続まで					
電気錠操作盤	読取装置共					
同上配管配線						
電気錠	配管配線、接続ボックスまで					
同上配管配線	操作盤～接続ボックスまで					
中央監視装置本体	関係機器、関係機器間配線を含む					
同上用電源配線	一次側接続まで					
同上用信号線	各メーターから装置まで					
ユニットバス本体	据付共	○				
同上用電源配線	一次側接続まで。ＳＷの取付配線共		○			
同上用配管	接続まで			○		
冷蔵、冷凍、恒温恒湿、シールド、防音、無響室等の内装	現場製作					
同上用電源配線	一次側接続まで					
同上用照明＋コンセント	電源配管配線、接続ボックス共					
同上用配管	接続まで					
冷蔵、冷凍、恒温恒湿、シールド、防音、無響室等の内装	プレハブ型					
同上用電源配線	一次側接続まで					
同上用照明＋コンセント	電源配管配線、接続ボックス共					
同上用配管	接続まで					
芝生、種子吹付け						
法枠、モルタル吹付け						
コンクリート擁壁						
植栽						

項目	名称	摘要	建築	電気	機械	エレベータ	備考
昇降機関連	昇降機設備本体	三方枠、同取付後の壁補修まで（トロ詰め）					
	同上用機械室	天井フック、床シンダーコンクリート、防塵塗料、搬入用等開口、換気ガラリ共					
	同上用監視盤						
	同上換気扇取付						
	機械室換気扇取付	サーモ、スイッチ共					
	各種信号用制御線	停電用、火災用等					
	三方枠周囲の壁仕上						
	各階出入口用開口	敷居取付持出し共					
	昇降路内中間ビーム設置						
	ピット内防水						
	動力、照明要電源、接地引き込み						
	コンセント設置	ピット内、機械室内					
	インターホン配線	シャフト外、監視盤～制御盤					
		シャフト内、制御盤内接続共					
	非常放送用スピーカー						
	同上用配線	シャフト外、ＡＭＰ～制御盤					
		シャフト内、制御盤内接続共					
	監視カメラ						
	同上用配線	シャフト外、監視制御装置～制御盤					
		シャフト内、制御盤内接続共					
	点検用タラップ	ピット内					

項目	区分	建築	電気	機械	エスカレータ	備考
エスカレーター設備	搬入口、据え付け用穴明け、同復旧					
	フレーム受け用枠					
	吊込穴、フック、復旧工事					
	転落防止柵、網、仕切り板					
	三角ガード					
	天井目地、床、回り仕上げ					
	スプリンクラー等					
	防火シャッター					
	床部照明工事					
	下部機械室耐火構造及び防水工事					
	機械室受電盤までの動力線、電灯線、接地線の配管配線					
	点検用電源の機械室までの引き込み配管配線					
	シャッター及びエスカレーター電気インターロック用接点の供給及び配管配線工事（必要な場合）					
	監視盤との信号用配管配線工事					

項目	区分	建築	電気	機械	クレーン	備考
クレーン設備	走行レール、ストッパー					
	クレーン点検台及びはしご					
	走行用給電装置					
	電気工事（電源盤以降２次側）					

山梨大学施設・環境部

担当

ACA 株式会社 エーシーエー設計
一級建築士事務所登録（長野） L第27312号
管理建築士 一級建築士登録 第208750号 開口 浪男
〒381-0012 長野市柳原2350番地4 TEL 026(296)8300

設計・検図および検査

検査者	設計担当 責任者	担当者	担当者
湯本	村田	兼岩	

設計業務名：山梨大学（武田１（附特））校舎（小・中学部）改修設計業務

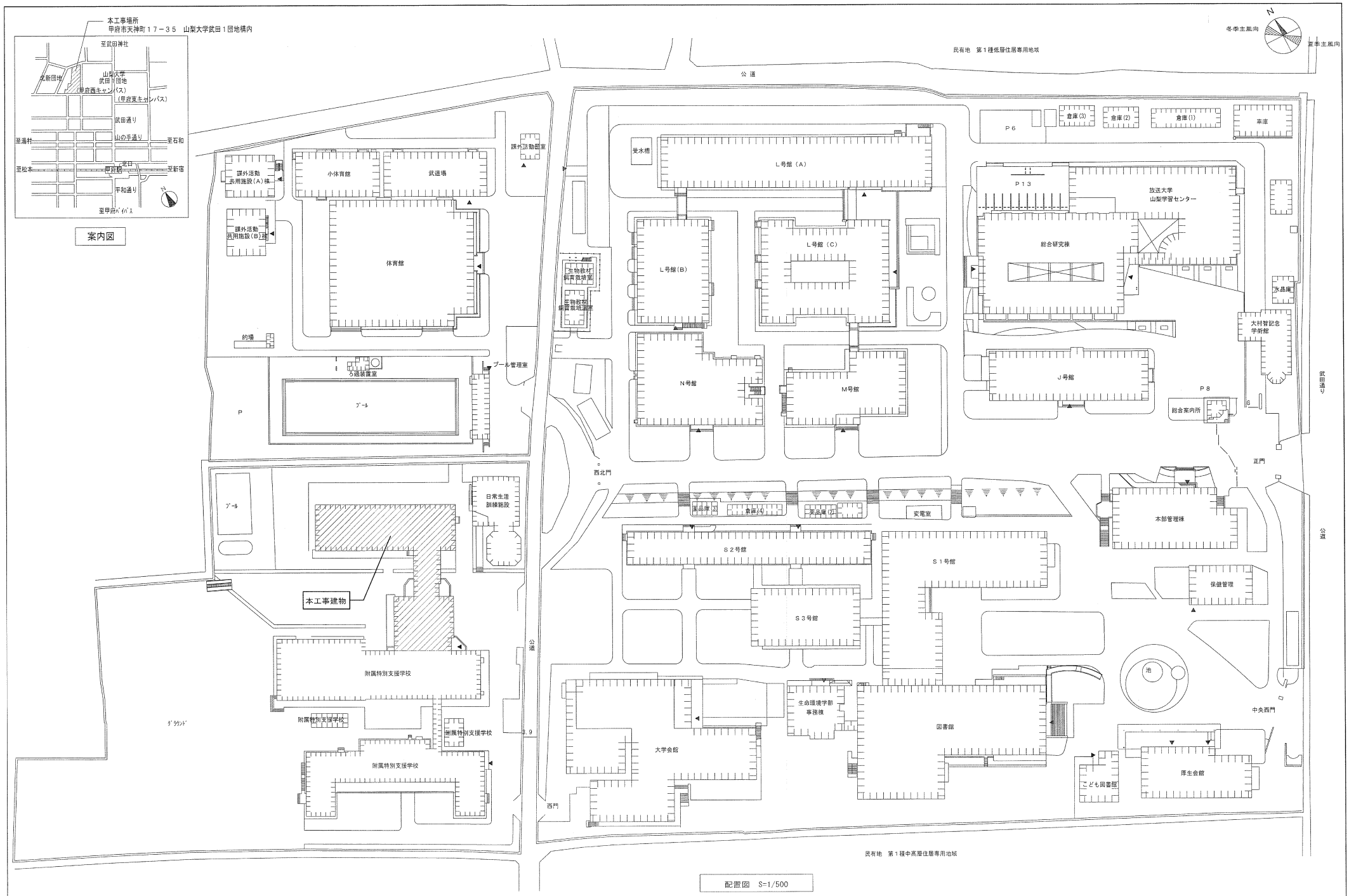
設計者氏名：一級建築士登録 第279740号 村田

工事名：山梨大学（武田１（附特））校舎（小学部）改修工事

図面名：特記仕様書（工事区分表）

縮尺：A1：－ A3：－

図面番号：特A－07



配置図　S=1/500

山梨大学施設・環境部	一級建築士事務所登録（長野）L第37212号 管理建築士　一級建築士登録　第206750号　舘口 浪男 〒381-0012　長野市稲葉2360番地4　TEL 026(296)8300 設計体制及び検査 検査者：湯本　設計担当責任者：村田　担当者：兼岩　担当者：	設計業務名：山梨大学（武田１（附特））校舎（小・中学部）改修設計業務 設計者氏名：一級建築士登録 第279740号　村田	工事名：山梨大学(武田１(附特))校舎(小学部)改修工事 図面名：案内・配置図 縮尺：A1：1/500　A3：1/1000 図面番号：A－01
担当			

共通事項

1　特記以外の木部、鉄面、亜鉛めっき面の各見えがかりは、内外ともＳＯＰ塗りとする。
2　略号は下表による。

略　号	仕上げ材等	略　号	仕上げ材等
ＲＣ（　）	床：共仕表6.2.4による 壁、天井：コンクリート打放し（積別） （　）の記載がない場合はコンクリート打ちの反歪とする	ＳＯＰ	合成樹脂調合ペイント塗り
		ＣＬ	クリヤーラッカー塗り
		ＦＥ	フタル酸樹脂エナメル塗り
ＬＣ	軽量コンクリート	ＮＡＤ	アクリル樹脂系非水分散型塗料塗り
ＰＣ	プレキャストコンクリート	ＡＥ	アクリル樹脂エナメル塗り
ＣＢ	コンクリートブロック積み	2-ＵＥ	２液型ポリウレタンエナメル塗り
FS	ビニル床シート	2-ＡＳＥ	2液形アクリルシリコン樹脂エナメル塗り
FS (A)	ビニル床シート　　種類は特記仕様書による	2-ＦＵＥ	常温乾燥形ふっ素樹脂エナメル塗り
FS (B)	ビニル床シート　　種類は特記仕様書による	ＥＰ-Ｇ	つや有合成樹脂エマルションペイント塗り
KS (A)	クッションフロアシート	ＥＰ	合成樹脂エマルションペイント塗り
ＣＴ	ビニル床タイル（半硬質）	ＥＰ-Ｍ	多彩模様塗料塗り
ＨＴ	ホモジニアスビニル床タイル	ＥＰ-Ｔ	合成樹脂エマルションペイント模様塗料塗り
ＶＢ	ビニル幅木	ＵＣ	ウレタン樹脂ワニス塗り
WB	木製幅木	ＯＳ	オイルステイン塗り
ＧＢ－Ｒ	せっこうボード	EP-G	つや有合成樹脂エマルションペイント塗り(屋内水系)塗料塗り
ＧＢ－NC	不燃積層せっこうボード（化粧無し：下地張り用）	ＡＬＰ	アルミニウムペイント塗り
ＧＢ－NC (T)	不燃積層せっこうボード（化粧有り：トラバーチン模様）	VE	塩化ビニル樹脂エナメル塗り
ＧＢ－D	化粧せっこうボード	ＡＣ	アクリル樹脂ワニス塗り
ＧＢ－D (S)	化粧せっこうボード(スクエア柄ドット(一部吸音))	PLT-1	エポキシ樹脂系塗材
ＧＢ－S	シージングせっこうボード	ＡＧＥ	アクリルゴムエマルション（防水型外装薄塗材Ｅ
ＧＢ－F	強化せっこうボード	ＥＳＰ	エマルション系樹脂プラスター風仕上げ
ケイカル板	けい酸カルシウム板（タイプ２）	A－ＢＥ	焼付アクリルエナメル塗り
ＤＲ	ロックウール化粧吸音板（フラットタイプ）	X－ＢＥ	エポキシ系焼付塗料塗
ＤＲ（凹凸）	ロックウール化粧吸音板（凹凸タイプ）	ＷＰ	木材保護塗料塗り（着色）
ＤＲ（軒天）	ロックウール化粧吸音板（軒天井用：フラットタイプ）	WP－Ｃ	木材保護塗料塗り（クリヤー）
ＤＲ(軒天凹凸)	ロックウール化粧吸音板（軒天井用：凹凸タイプ）	ＤＰ	耐候性塗料塗り（3級）
ＰＦ板	押出法ポリスチレンフォーム保温板		
RW	ロックウールガラスクロス張り	V	天井廻縁　ビニール製
GW	グラスウールガラスクロス張り	W	天井廻縁　木製
ﾌｯ素ﾏﾙﾃﾝﾚﾝ外装鋼板	フッ素塗装溶融55%アルミニウム亜鉛合金めっき鋼鈑		
ＳＵＳ	ステンレススチール		
ＳＴ	スチール		
ＡＬ	アルミ		
ＭＰ	メラミン化粧板		
ＦＰ	発泡ポリスチレン板		

下地の区分欄の略号
Ｃ：コンクリート下地、コンクリートブロック下地、ALC下地、押出成型セメント板下地
Ｓ：軽量鉄骨下地　鋼製床組み下地
Ｗ：木造下地　　ＰＦ：ポリスチレンフォーム床下地（床下地のみ）
ＳＦ：鋼製根太組下地　Ｍ：モルタル金ゴテ

改修内容凡例

既存	Ａ：仕上げ撤去 Ｂ：図示の仕上げ撤去 Ｃ：下地共撤去 Ｄ：図示の下地共撤去 Ｅ：下地の調整 Ｆ：既存のまま	改修	ａ：仕上げ新設 ｂ：図示の仕上げ新設 ｃ：下地共新設 ｄ：図示の下地共新設 ｅ：塗装の塗り替え ｆ：既存のまま

1．間仕切りの撤去・新設等の位置は、平面図、平面詳細図による。
2．改修内容ｅでコンクリート面、石膏ボード面の場合は下地調整RB種程度とする。
3．特記なき限り新設壁は、ボード片面張りLGS50下地（天井まで）、ボード両面張りLGS65下地(天井まで)とする。

内装材料について

※法28条の２ 居室における化学物質の発散に対する衛生上の措置、仕上材、接着材、塗材、家具、カウンター他全て　規制対象外又はF☆☆☆☆の物を使用する。

内装材については、下表の国土交通大臣認定材料を使用する。

区分	材料名	認定番号	区分	材料名	認定番号
不燃材料	せっこうボード（GB-R）　t=12.5	NM-8619	準不燃材料	せっこうボード（GB-R）　t=9.5	QM-9828
	化粧せっこうボード（GB-D）　t=9.5	NM-1864		化粧せっこうボード（GB-D）　t=9.5	QM-0524
	化粧せっこうボード（GB-D）(吸音) t=9.5	NM-4244		塗料塗装：EP・VE・SOP・NAD（下地準不燃）	QM-9816
	ロックウール吸音板　t=9.0	NM-8599		ビニル壁紙(不燃)　（下地準不燃）	QM-0384
	繊維混入ケイ酸カルシウム板　t=5以上	NM-8578		内装薄塗材E	QM-9812
	塗料塗装：EP・VE・SOP・NAD(下地不燃)	NM-8585	難燃材料		
	ビニル壁紙(不燃)　（下地不燃）	NM-0079			
	内装薄塗材E	NM-8572			
	不燃積層せっこうボード(GB-NC) t=9.5	NM-1864			

※壁紙使用で内装制限にて不燃要求ある場合は、不燃下地（金属を除く）の上、不燃認定品とすること。

耐火・準耐火認定について

耐火性能の規制
・規制無し
・防火構造
・準耐火構造
・耐火構造

耐火構造に該当する場合
・階数　4　以下
・階数　14　以下
・階数　15　以上

部位	耐火時間	材料名　（単位　mm）	認定番号
屋根(下屋)	30分	カラーガルバリウム鋼板 t=0.6	FP030RF-9325

その他

※下記事項は共通とし、特に表示がなくとも適用する。ただし、これと異なる表示のある場合を除く。

・モルタルとあるのは金ゴテ押えとする。
・化粧打放しコンクリートの増打しは、特記なき限り内外共 t=20 とする。
・増打の指示は意匠図による。
・床仕上が異なる部分には、床仕上見切材　ステンレス目地枠　4×10 を施す。
・コンクリートブロック積みモルタル及びタイル張り部分は下地平ラス１号0.4m/m(28番) を使用する。
・使用するステンレスはSUS304とする。
・天井見切縁は特記なき限り塩ビ製とする。
・ビニル床シートは全て溶接工法とし、接着剤は水廻りについてはエポキシ系とする。
・床、壁、下地等に使用する合板類のホルムアルデヒド放出量の規定は以下による。
・構造用合板は放出量規定の Ｆ☆☆☆☆ 相当品を使用する。
・普通合板、特殊合板、複合フローリングは、JASホルムアルデヒド放出量規定の Ｆ☆☆☆☆ を標準とする。
・造作家具に使用する合板は Ｆ☆☆☆☆ を使用する。
・接着剤はホルムアルデヒドを含まないものを使用する。
・酢酸ビニル樹脂系接着剤はエマルジョンタイプを使用する。
・ラワン材合板類、複合フローリング等は防虫処理をしているものを使用する。
・現場塗装では有機溶剤を使用しないエマルジョンタイプを選択する。
・壁紙に使用するでん粉系接着剤はホルムアルデヒドを含まないものとする。
・壁紙は壁装材料協会のISM規格相当品を使用する。

既存外部仕上げ

屋根	改修内容	外壁	改修内容	軒天（庇裏）	改修内容	建具	改修内容	根廻り	改修内容	竪樋	改修内容	その他	改修内容
シート防水　平場 (改修工法:S4S)　立上り	F A	コンクリート打放し 防水系複層塗材E	E	コンクリート打放し 複層塗材E	E	アルミサッシ	B	コンクリート打放し 防水系複層塗材E	E	VP管 100A VE	E	飾り桝:VE	E
庇：防水モルタル ウレタン塗膜防水 (改修工法L4X)	E											タラップ(SUS製) EXP.J. 金物(撤去)	F
下屋 屋根葺材： 樹脂小波板 鉄部SOP	A E											犬走り：モルタル 金ごて押え	D

改修後外部仕上げ

屋根	改修内容	外壁	改修内容	軒天（庇裏）	改修内容	建具	改修内容	根廻り	改修内容	竪樋	改修内容	その他	改修内容
シート防水(S-M2)	a	下地処理(高圧洗浄) 可とう形改修塗材RE	e	下地処理(高圧洗浄) 外装薄塗材E	e	アルミサッシ (カバー工法改修) (一部 撤去・新設)	b	下地処理(高圧洗浄) シリコン仕上	a	塗装塗替え 2-ASE	e	飾り桝:塗装塗替え 2-ASE	e
庇：ウレタン塗膜防水 (X-2)	a											EXP.J. 金物(新設)	
下屋 屋根： カラー鋼板折板葺き t=0.6山高88(30分耐火) 柱ほか 鉄部 DP	b e											犬走り：モルタル 金ごて押え	d

既存内部仕上げ

階	室名	下地	床	改修内容	下地	幅木	H	改修内容	下地	壁	改修内容	下地	天井	廻縁	改修内容	天井高	備考
1階	[外部] ポーチ (来客・職員玄関)	C	モルタル下地 人研	B D	－	－	－	－		(外壁による)			(軒天) 外装薄塗材E		E		靴拭きマット(撤去)
	来客・職員玄関	C	モルタル下地 人研	B D	C	人研ブロック	110	A	C	モルタルEP	E	S	GB-S t=9.5 +DR t=12	V	C	2,885	
	来客・職員玄関 ホール	C	モルタル下地 FS	A	C W	VB WB CL	75 75	B D	C C	モルタルEP 一部木胴縁 普通合板t=9 縁甲板t=12	E D	S	GB-S t=9.5 +DR t=12	V	C	2,620	スロープ(撤去) 床点検口(枠共 撤去)
	職員室	C	フリーアクセスフロア (H=50)(スチールパネル製) の上タイルカーペット	A	－	－	－	－	C	化粧合板張り モルタルEP	A D F	S	GB-R t=9.5 +DR t=9	V	C	2,750	スロープ(撤去) 流し台(撤去)

改修後内部仕上げ

室名	下地	床	改修内容	下地	幅木	H	改修内容	下地	壁	改修内容	下地	天井	廻縁	改修内容	天井高	備考
[外部] ポーチ (来客・職員玄関)	C	モルタル下地 磁器質タイル150角	b d	－	－	－	－		(外壁による)			(軒天) 外装薄塗材E		e		靴拭きマット(新設)
来客・職員玄関	C	モルタル下地 磁器質タイル150角	a	C	磁器質タイル 100角	100	a	C C	EP-G 一部 木胴縁 合板t=9下地 羽目板張りt=12 WP-C	e b	S	GB-R t=9.5 +DR t=9 (折上げ部 共)	V	c	2,870	
来客・職員玄関ホール	C	モルタル下地 FS(A) t=2	a	C C W	WB WP-C VB WB WP-C	60 60 60	b b d	C W	EP-G 合板t=9下地 羽目板張りt=12 WP-C	e d	S	GB-R t=9.5 +DR t=9	V	c	2,620	飾り棚(新設) 床点検口(新設)
職員室	C	置き敷き式 OAフロア (H=40)の上 タイルカーペットt=6.5 (一部スロープ付)	a d	S C	VB VB	60 60	d a	S S C	GB-R t=12.5 EP-G GB-S t=12.5 化粧ケイカル板t=6 GB-R t=12.5(GL工法) EP-G	d d b	S	GB-R t=9.5 +DR t=9	V	c	2,755	ホワイトボード(新設) 流し台(新設 機械設備工事)

下地の区分欄の略号
Ｃ：コンクリート下地、コンクリートブロック下地、ALC下地、押出成型セメント板下地
Ｓ：軽量鉄骨下地　鋼製床組み下地
Ｗ：木造下地
ＰＦ：ポリスチレンフォーム床下地（床下地のみ）
ＳＦ：鋼製根太組下地　Ｍ：モルタル金ゴテ

改修内容凡例(改修前)

既存	Ａ：仕上げ撤去 Ｂ：図示の仕上げ撤去 Ｃ：下地共撤去	Ｄ：図示の下地共撤去 Ｅ：下地の調整 Ｆ：既存のまま

改修内容凡例(改修後)

改修	ａ：仕上げ新設 ｂ：図示の仕上げ新設 ｃ：下地共新設	ｄ：図示の下地共新設 ｅ：塗装の塗り替え ｆ：既存のまま

壁符号
W1　LGS65、GB-F t=12.5+12.5(両面)　耐火構造FP060NP-0174（屋根下/梁下/RC振れ壁下まで）

山梨大学施設・環境部

担当

AEA株式会社 山梨事務所
一級建築士事務所登録（長野）1第27312号
管理建築士　一級建築士登録　第206750号　関口 浪男
〒381-0012　長野市稲荷2360番地4　TEL 026(295)8300
設計協働及び検査

検査員	設計担当責任者	担当者	担当者
湯本	村田	兼岩	

設計者氏名　一級建築士登録 第279740号　村田

設計事務所名：山梨大学（武田１（附特））校舎（小・中学部）改修設計業務

工事名：山梨大学(武田１(附特))校舎(小学部)改修工事
図面名：仕上表(1)

縮尺：A1：1/100　A3：1/200
図面番号：A－02

既存内部仕上げ

階	室名	下地	床	改修内容	下地	幅木	H	改修内容	下地	壁	改修内容	下地	天井	廻縁	改修内容	天井高	備考
1階	保健室	C	モルタル下地 タイルカーペット	A D	C	VB	60	A D	C	モルタルEP	E D	S	ケイカル板 t=6 EP	V	C	2,835	黒板(撤去) 流し台(撤去) 手洗器(撤去)
	調整室	W	床木組 合板t=12 フェルト下地の上 カーペット敷	C	C	WB	100	A D	C	木胴縁、グラスウール t=25下地 有孔合板t=5.5 OS	A D	S	DR t=12	V	C	2,500	
	サーバー室 前室	C	モルタル下地 ビニル床タイル	A	C	VB	60	A D	C	モルタルEP	E D	S	ケイカル板 t=6 EP	V	C	2,835	
	サーバー室	C	カーペット敷	A	C	WB	100	A D	C	木胴縁、グラスウール t=25下地 有孔合板t=5.5 OS	A D	S	DR t=12	V	C	2,835	
	[外部] ポーチ (小学部玄関) (中庭側)	C	モルタル下地 (小学部) 人研 (中庭側)	A D	-	-	-	-		(外壁による)			(軒天) 外装薄塗材E		E		靴拭きマット(撤去)
	小学部玄関	C	モルタル下地 人研	A D	C	人研ブロック	110	A D	C	モルタルEP	E D	S	ケイカル板 t=6 EP	V	C	2,885	
	小学部玄関ホール	C	モルタル下地 FS	A D	C	VB	60	A	C	モルタルEP	E	S	ケイカル板 t=6 EP	V	C	2,835	
	校長室	C	モルタル下地 タイルカーペット	A	C S	WB	60	A D	S C	GB-R t=9+12 壁紙貼り モルタル 壁紙貼り	D A	S	GB-R t=9 壁紙貼り	V	C	2,835	
	用務員室 前室	C	モルタル下地 ビニル床タイル (一部は階段)	A D	S C	VB	60	A D	S C	GB-R t=9+12の上EP モルタル EP	C E	S	GB-R t=9 EP	V	C	2,835	
	用務員室	C	モルタル下地 ビニル床タイル の上タイルカーペット	A	C	VB	60	A D	C	モルタルEP	E D	S	ケイカル板 t=6 EP	V	C	2,500	タラップ(撤去) 流し台(撤去) 床点検口(枠共 撤去) EXP.J.(取外し 一部撤去)
	プレイルーム	C	フローリング (床断熱)	F	C W	VB	60	F D	C W	木胴縁 羽目板OS 合板t=5.5 壁紙貼り	F D	S	GB-R t=9 壁紙貼り (梁型共)	V	D	2,885	黒板(撤去) モニター天吊り金物(撤去)
	倉庫	C	モルタル下地 ビニル床タイル	A	C	VB	60	A	C	モルタルEP	E	S	ケイカル板 t=6 EP	V	C	2,635	床点検口(枠共 撤去)
	相談支援室	C	モルタル下地 タイルカーペット	A	C	VB	60	A D	C	モルタルEP	E D	S	ケイカル板 t=6 EP	V	C	3,000	黒板(撤去) 流し台(撤去) 鏡(撤去)
	教室(低学年)	C	モルタル下地 FS	A	C	VB	60	A D	C	モルタルEP	F D	S	ケイカル板 t=6 EP	V	C	3,000	黒板(撤去) 流し台(撤去) 鏡(撤去)
	ステージ(低学年) (中学年)	W	床 木組 フローリング	C	-	-	-	-	C	モルタルEP	F	S	ケイカル板 t=6 EP	V	C	2,250	鏡(撤去)
	教室(中学年)	C	モルタル下地 FS	A	C	VB	60	A D	C	モルタルEP	F D	S	ケイカル板 t=6 EP	V	C	3,000	黒板(撤去) 流し台(撤去) 鏡(撤去)

改修後内部仕上げ

室名	下地	床	改修内容	下地	幅木	H	改修内容	下地	壁	改修内容	下地	天井	廻縁	改修内容	天井高	備考
保健室	C	モルタル下地 FS(A) t=2	a d	S C	VB VB	60 60	d b	C S S	EP-G W1 EP-G GB-S t=12.5 EP-G	e d d	S	GB-D t=9.5	V	c	2,835	手洗器(新設 機械設備工事) 流し台(新設 機械設備工事) 吊りカーテンレール(新設)
メディアルーム	C	モルタル下地 FS(B) t=2	a	S C	VB VB	60 60	d b	S S C	W1 EP-G GB-R t=12.5 EP-G GB-R t=12.5(GL工法) EP-G	d d b	S	GB-D t=9.5	V	c	2,700	
校長室	C	置き敷き式 OAフロア (H=40)の上 タイルカーペットt=6.5 (一部スロープ付)	a	S C	WB WP-C WB WP-C	60 60	d b	S S C C	W1 壁紙貼り(A) GB-R t=12.5 壁紙貼り(A) GB-R t=12.5(GL工法) 壁紙貼り(A) 一部 木胴縁 合板t=9.0下地 羽目板張りt=12 WP-C	d d b b	S	GB-R t=9.5 +DR t=9	V	c	2,700	ホワイトボード(新設)
[外部] ポーチ (小学部玄関) (中庭側)	C	モルタル下地 磁器質タイル150角 (小学部玄関のみ)	a d	-	-	-	-		(外壁による)			(軒天) 外装薄塗材E		e		スロープ(新設) 手すり(新設) 靴拭きマット(新設)
小学部玄関	C	モルタル下地 磁器質タイル150角 (一部スロープ付)	a d	C	磁器質タイル 100角	100	b	C C	EP-G 一部 木胴縁 合板t=9下地 羽目板張りt=12 WP-C	e b	S	GB-R t=9.5 +DR t=9	V	c	2,870	
小学部玄関ホール	C	モルタル下地 FS(A) t=2	a d	C C	WB WP-C VB	60 60	b b	C C	EP-G 一部 木胴縁 合板t=9下地 羽目板張りt=12 WP-C	e b	S	GB-R t=9.5 +DR t=9	V	c	2,835	
事務室	C	置き敷き式 OAフロア (H=40)の上 タイルカーペットt=6.5 (一部スロープ付)	a d	S C	VB VB	60 60	d b	S S C	W1 EP-G GB-R t=12.5 EP-G EP-G	d d b	S	GB-R t=9.5 +DR t=9	V	c	2,795	流し台(新設 機械設備工事) 受付カウンター・窓(新設)
用務員室	C	モルタル下地 FS(B) t=2	a	C S	VB VB	60 60	b d	C S S	EP-G W1 EP-G GB-S t=12.5 EP-G	e d d	S	GB-D t=9.5	V	c	2,500	流し台(新設 機械設備工事) 床点検口(新設) EXP.J.(清掃・再取付、 一部 新設)
プレイルーム		(既存のまま) 清掃・ワックス掛け		S C	VB VB	60 60	d f	S C C	GB-R t=12.5 EP-G 木胴縁 羽目板OS 一部 木胴縁 合板t=9.0下地 羽目板張りt=12 WP-C	d f d	S	GB-R t=9.5 +DR t=9 梁型 下地調整の上EP	V a	c	2,885	ホワイトボード(新設)
倉庫	C	モルタル下地 FS(B) t=2	a	C	VB	60	a	C	EP-G	e	S	GB-D t=9.5	V	c	2,625	床点検口(新設)
相談支援室	C	モルタル下地 FS(A) t=2	a	C	VB	60	a	C	EP-G	e	S	GB-D t=9.5	V	c	2,700	ライニング(新設) 手洗器(新設 機械設備工事) ホワイトボード(新設)
教室(低学年)	C	モルタル下地 FS(A) t=2	a	C	WB WP-C	60	a	C C	木胴縁 GB-R t=12.5 EP-G 一部 掲示壁 GB-S t=12.5(GL工法) 化粧ケイカル板 t=6 腰壁:木胴縁 合板t=9 羽目板張りt=12 WP-C	b b b	S	GB-R t=9.5 +DR t=9	V	c	2,700	流し台(新設 機械設備工事) 吊りカーテンレール(新設) 鏡(新設) ホワイトボード(新設)
教室(中学年)	C	モルタル下地 FS(A) t=2	a	C	WB WP-C	60	a	C C	木胴縁 GB-R t=12.5 EP-G 一部 掲示壁 GB-S t=12.5(GL工法) 化粧ケイカル板 t=6 腰壁:木胴縁 合板t=9 羽目板張りt=12 WP-C	b b b	S	GB-R t=9.5 +DR t=9	V	c	2,700	流し台(新設 機械設備工事) 吊りカーテンレール(新設) 鏡(新設) ホワイトボード(新設)

下地の区分欄の略号
- C：コンクリート下地、コンクリートブロック下地、ALC下地、押出成型セメント板下地
- S：軽量鉄骨下地　鋼製床組み下地
- W：木造下地
- PF：ポリスチレンフォーム床下地（床下地のみ）
- SF：鋼製根太組下地　M：モルタル金ゴテ

改修内容凡例(改修前)

既存
- A：仕上げ撤去
- B：図示の仕上げ撤去
- C：下地共撤去
- D：図示の下地共撤去
- E：下地の調整
- F：既存のまま

改修内容凡例(改修後)

改修
- a：仕上げ新設
- b：図示の仕上げ新設
- c：下地共新設
- d：図示の下地共新設
- e：塗装の塗り替え
- f：既存のまま

壁符号

W1　LGS65、GB-F t=12.5+12.5(両面)　耐火構造FP060NP-0174（壁根下/梁下/RO垂れ壁下まで）

山梨大学施設・環境部

担当

ALA 株式会社 エム・アール設計
一級建築士事務所金沢（ろ）第2312号
管理建築士　一級建築士金沢　第208750号　関口 浩男
〒381-0012　長野市柳原2360番地4　TEL 026(296)8300

検査員	設計責任者	担当者	審査者
湯本	村田	兼岩	

設計体制及び検査

設計者氏名：一級建築士金沢 第279740号　村田

設計業務名：山梨大学（武田１（附特））校舎（小・中学部）改修設計業務

工事名：山梨大学（武田１（附特））校舎（小学部）改修工事
図面名：仕上表(2)

縮尺：A1：1/100　A3：1/200

図面番号：A- 03

既存内部仕上げ

階	室名	下地	床	改修内容	下地	幅木	H	改修内容	下地	壁	改修内容	下地	天井	廻縁	改修内容	天井高	備考
1階	教室(高学年)	C	モルタル下地 FS	A	C	VB	60	A D	C	モルタルEP	F D	S	ケイカル板 t=6 EP	V	C	3,000	黒板(撤去) 流し台(撤去) 鏡(撤去) 床点検口(枠共 撤去)
	浴室	C	モルタル下地 タイル張り 一部 浴槽躯体撤去	D	-	-	-	-	C	モルタル下地 100角タイル	A D	S	ケイカル板 t=6 EP	V	C	2,685	手摺(撤去) 浴槽(撤去) ライニング(撤去) 木柵(撤去)
	小学部準備室	C	モルタル下地 ビニル床タイル	A	C	VB	60	A D	C	モルタルEP	E D	S	ケイカル板 t=6 EP	V	C	2,635	鏡(撤去) 流し台(撤去)
	洗濯室	C	モルタル下地 FS	A	C	VB	60	A D	C	モルタルEP	E D	S	ケイカル板 t=6 EP	V	C	2,635	汚物流し(撤去) 洗濯機パン(撤去) 鏡(撤去) 床点検口(枠共 撤去)
	図書室 前室	C W	モルタル下地 FS フローリング (上り床)	A C	C W	VB	60	A D	C W	モルタルEP EP 一部壁紙貼り	F D	S	ケイカル板 t=6 EP	V	C	2,635	
	図書室	W	床 木組 畳	C	-	-	-	-	C W	モルタルEP ラスボードの上EP	F D	S	GB-D t=9	V	C	2,235	
	ステージ(高学年)	W	床 木組 フローリング	C	-	-	-	-	C W	モルタルEP ラスボードの上EP	F D	S	ケイカル板 t=6 EP	V	C	2,250	鏡(撤去)
	物入	C	モルタル金ごて仕上げ	F	-	-	-	-	C W	合板張り	C	S	合板	W	C	1,900	
	廊下	C C	モルタル下地 FS [スロープ] モルタル下地 FS(防滑型)	A C A	C C	VB 一部WB CL	60 75	B D D	C C	モルタルEP 一部木胴縁 普通合板t=9 縁甲板t=12	E D D	S S	ケイカル板 t=6 EP GB-St=9.5+DRt=12	V	C	2,835 2,635 2,620	床点検口(枠共 撤去) EXP.J.(取外し 一部撤去)

改修後内部仕上げ

室名	下地	床	改修内容	下地	幅木	H	改修内容	下地	壁	改修内容	下地	天井	廻縁	改修内容	天井高	備考
教室(高学年)	C	モルタル下地 FS(A) t=2	a	C	WB WP-C	60	a	C C	木胴縁 GB-R t=12.5 EP-G 一部 掲示壁 GB-S t=12.5(3L工法) 化粧ケイカル板 t=6 腰壁：木胴縁 合板t=9 羽目板張りt=12 WP-C	b b b	S	GB-R t=9.5 +DR t=9	V	c	2,700	流し台(新設 機械設備工事) 床点検口(新設) 吊りカーテンレール(新設) 鏡(新設) ホワイトボード(新設)
活動室3	C	コンクリート土間打設 FS(A) t=2	c	S C	WB WP-C WB WP-C	60 60	d b	S S C	W1 EP-G GB-R t=12.5 EP-G 木胴縁 GB-R t=12.5 EP-G 腰壁：木胴縁 合板t=9 羽目板張りt=12 WP-C	d d b b	S	GB-D t=9.5	V	c	2,625	
準備室	C	モルタル下地 FS(A) t=2	a	S C	VB VB	60 60	d b	S S S C	W1 EP-G GB-R t=12.5 EP-G 一部GB-S t=12.5 EP-G EP-G	d d d e	S	GB-D t=9.5	V	c	2,625	流し台(新設 機械設備工事)
洗濯室	C C	モルタル下地 FS(A) t=2 ポリスチレンフォーム 床下地材t=33、耐水合板 t=12、KS(A) t=2.3	b d	S C	VB VB	60 60	d b	S C C	GB-S t=12.5 EP-G EP-G W1+GB-S t=12.5 EP-G	d e d	S	ケイカル板 t=6 目透し張り EP	V	c	2,625 2,565	ライニング、上り框(新設) シャワーユニット(新設) 吊りカーテンレール(新設) 床点検口(新設) 手洗器(新設 機械設備工事) 洗濯機パン(新設 機械設備工事)
活動室1,2	C	モルタル下地 FS(A) t=2	a	S C	WB WP-C WB WP-C	60 60	d b	S S C	W1 EP-G GB-R t=12.5 EP-G 木胴縁 GB-R t=12.5 EP-G 腰壁：木胴縁 合板t=9 羽目板張りt=12 WP-C	d d b b	S	GB-D t=9.5	V	c	2,625	
掃除用具入	C	モルタル下地 FS(A) t=2	a	S	VB	60	c	S S	W1 EP-G GB-R t=12.5 EP-G	d d	S	GB-D t=9.5	V	c	2,300	棚(新設)
廊下	C C	モルタル下地 FS(A) t=2 [スロープ] モルタル下地 FS(防滑型) t=2	a a	S C C	VB WB WP-C VB	60 60 60	d b a	S S C	W1 EP-G 一部 掲示壁 GB-R t=12.5+12.5 EP-G EP-G 一部 掲示壁 腰壁：木胴縁 合板t=9 羽目板張りt=12 WP-C	d d e	S S	GB-D t=9.5 GB-R t=9.5 +DR t=9	V V	c c	2,835 2,625 2,620	床点検口(新設) EXP.J.(清掃・再取付、 一部 新設)

下地の区分欄の略号
- C：コンクリート下地、コンクリートブロック下地、ALC下地、押出成型セメント板下地
- S：軽量鉄骨下地　鋼製床組み下地
- W：木造下地
- PF：ポリスチレンフォーム床下地（床下地のみ）
- SF：鋼製根太組下地　M：モルタル金ゴテ

改修内容凡例(改修前)
- 既存
  - A：仕上げ撤去
  - B：図示の仕上げ撤去
  - C：下地共撤去
  - D：図示の下地共撤去
  - E：下地の調整
  - F：既存のまま

改修内容凡例(改修後)
- 改修
  - a：仕上げ新設
  - b：図示の仕上げ新設
  - c：下地共新設
  - d：図示の下地共新設
  - e：塗装の塗り替え
  - f：既存のまま

壁符号
- W1　LGS65、GB-F t=12.5+12.5(両面)　耐火構造FP060NP-0174（壁根下/梁下/RC垂れ壁下まで）

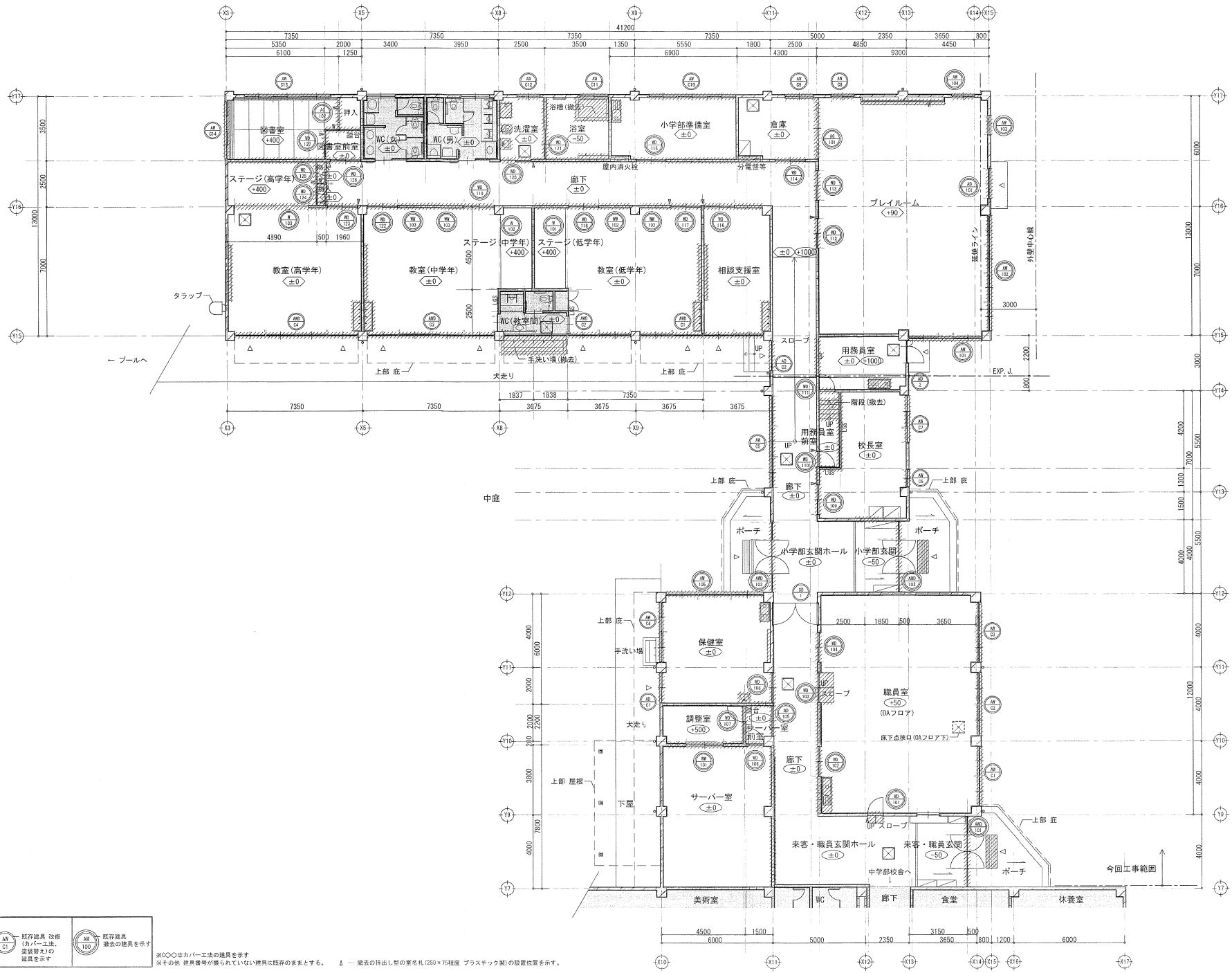
担当	山梨大学施設・環境部

AFA architect + design unit
一級建築士事務所登録（長野）し第2732号
管理建築士　一級建築士登録　第206750号　関口 浩昇
〒381-0012　長野市柳原2360番地4　TEL 026(296)6300

検査員	設計担当責任者	構造者	担当者
湯本	村田	兼岩	

設計体制及び検査

設計者氏名	一級建築士登録 第276740号 村田
設計業務名	山梨大学（武田１（附特））校舎（小・中学部）改修設計業務
工事名 図面名	山梨大学（武田１(附特)）校舎(小学部)改修工事 仕上表(3)
縮尺	A1：1/100 A3：1/200
図面番号	A－04



建具凡例	
整理番号 / 新設の建具を示す / 建具記号	AW 1
既存建具 改修(カバー工法、塗装替え)の建具を示す	AW C1
既存建具 撤去の建具を示す	AW 100

※○○○はカバー工法の建具を示す
※その他 建具番号が振られていない建具に既存のままとする。　A … 撤去の持出し型の室名札(250×75程度 プラスチック製)の設置位置を示す。

凡例					
	コンクリート壁を示す	＊＊＊	下段FLから仕上面までのレベル差を示す		撤去部分を示す(その他は詳細図による)
	コンクリートブロック壁を示す	＊＊＊	上段FLから仕上面までのレベル差を示す(下段FL～上段FL レベル差1m)		床下点検口の位置を示す
LGS	軽量鋼製下地壁を示す	△	外部への出入口を示す		
W	木下地壁を示す		改修範囲外を示す		

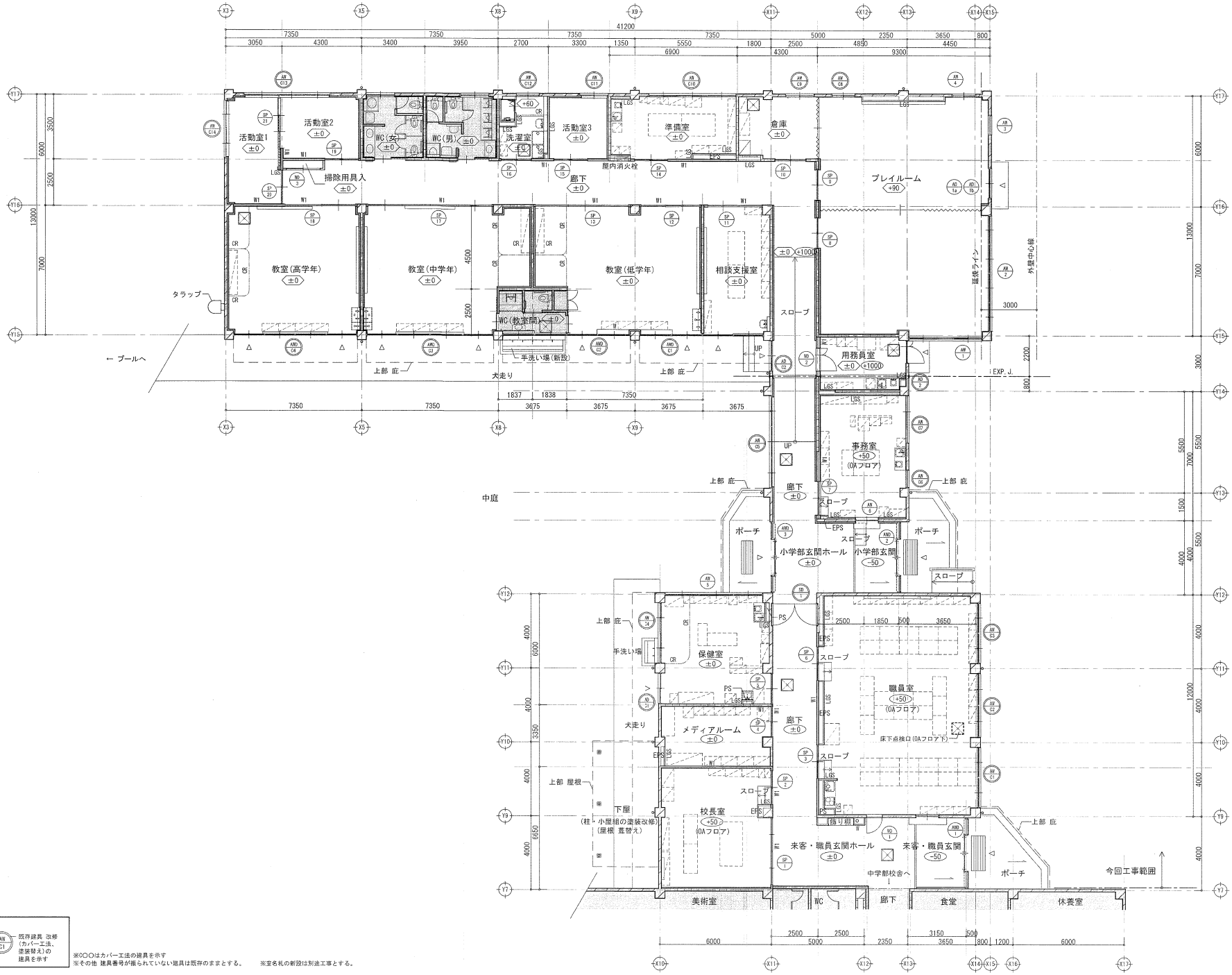
山梨大学施設・環境部

担当

ALA 株式会社 エー・エル・エー設計
一級建築士事務所登録(長野) 1級27312号
管理建築士　一級建築士登録　第208750号　関口 浩男
〒381-0012　長野市穂刈2380番地4　TEL 026(206)8300
設計伊那第5事務所
検査員 湯本　設計担当 村田　担当者 兼岩　担当者

設計業務名: 山梨大学(武田1(附特))校舎(小・中学部)改修設計業務
設計者氏名: 一級建築士登録 第279740号 村田

工事名: 山梨大学(武田1(附特))校舎(小学部)改修工事
図面名: 平面図(改修前)
縮尺: A1 : 1/100　A3 : 1/200
図面番号: A- 05



建具凡例	
AW 1	整理番号 / 新設の建具を示す / 建具記号
AW C1	既存建具 改修(カバー工法、塗装替え)の建具を示す

※○○○はカバー工法の建具を示す
※その他 建具番号が振られていない建具は既存のままとする。　※室名札の新設は別途工事とする。

凡例					
	コンクリート壁を示す(躯体は既存のままとし、表面の仕上げを改修)	W1	新設の防火上主要な間仕切壁を示す		改修範囲外を示す
	コンクリートブロック壁を示す(躯体は既存のままとし、表面の仕上げを改修)	***	下段FLから仕上面までのレベル差を示す	CR	カーテンレール新設位置を示す(カーテン 備品)
LGS	新設の軽量鋼製下地壁を示す	***	上段FLから仕上面までのレベル差を示す(下段FL～上段FL レベル差1m)	×	床下点検口の位置を示す
W	新設の木下地壁を示す	△	外部への出入口を示す		什器・備品等を示す ※図示の室内什器は計画予定位置を示す

山梨大学施設・環境部

担当

AEA Architect I-ﾃｰｴｰｴｰ設計
一級建築士事務所登録(長野) 1第27312号
審査建築士 一級建築士登録 第206750号 関口 忠男
〒381-0012 長野市柳原2360番地4 TEL. 026(296)8300
設計体制及び検査

検査者	設計担当 責任者	担当者	照査者
湯本	村田	兼岩	

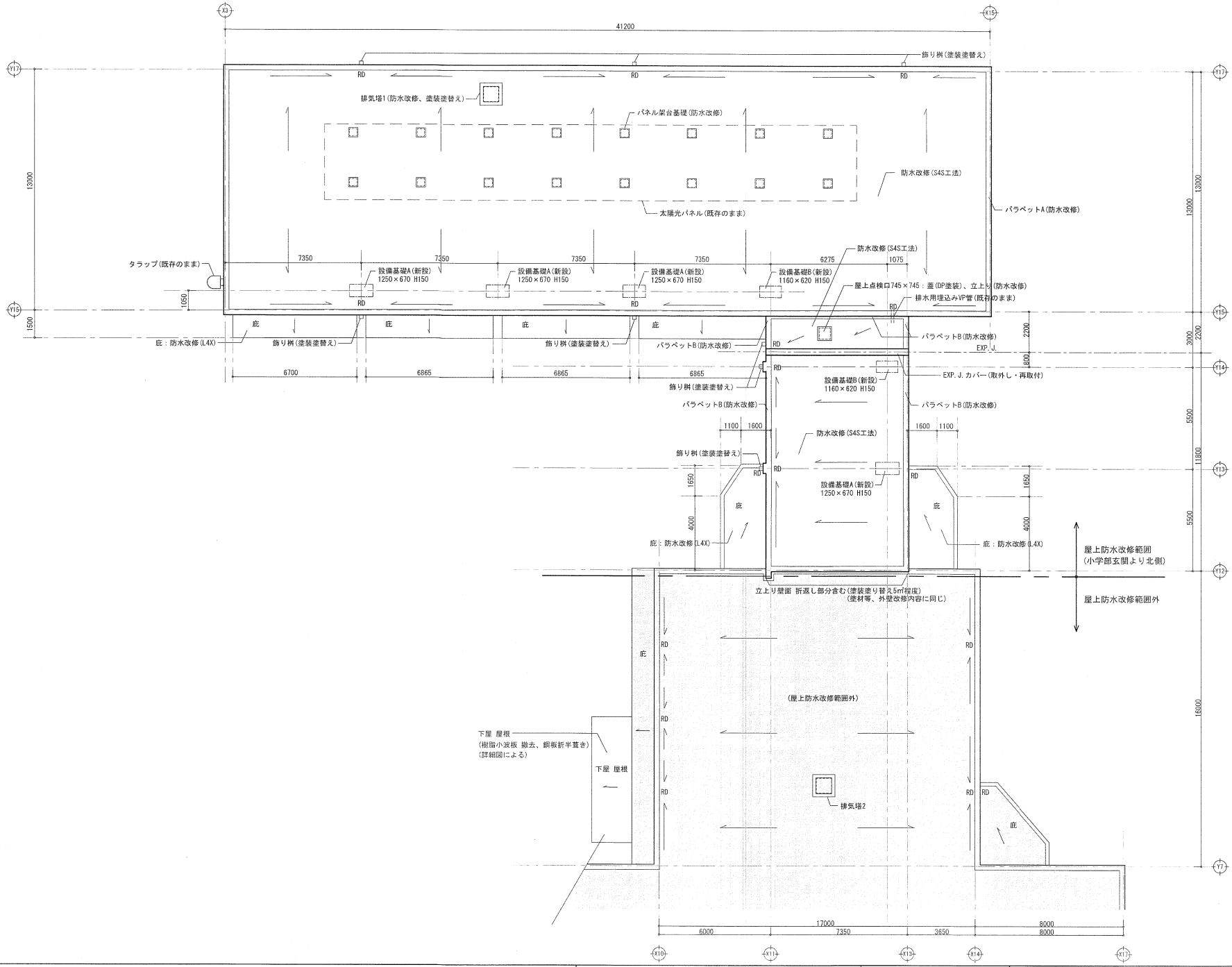
設計者氏名 一級建築士登録 第279740号 村田

設計業務名: 山梨大学(武田1(附特))校舎(小・中学部)改修設計業務

工事名: 山梨大学(武田1(附特))校舎(小学部)改修工事
図面名: 平面図(改修後)

縮尺: A1 : 1/100　A3 : 1/200

図面番号: A- 06



凡例	防水改修範囲外を示す

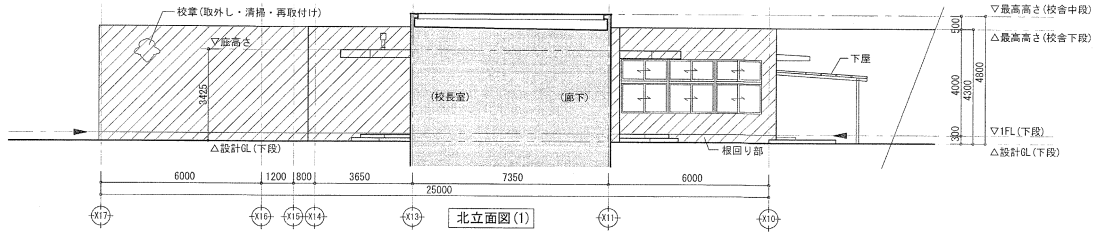
山梨大学施設・環境部

担当

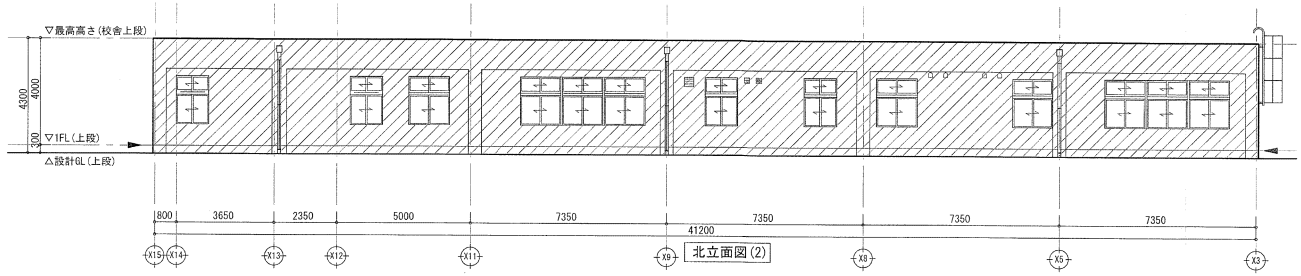
一級建築士事務所登録 (長野) (第27313号)			
管理建築士 一級建築士登録 第208750号 開口 浩男			
〒381-0012 長野市柳原2360番地4 TEL 026(295)8300			
設計体制及び担当			
極責員	設計担当責任者	担当者	担当者
湯本	村田	兼岩	

設計責任者	山梨大学（武田１（附特））校舎（小・中学部）改修設計業務
設計者氏名	一級建築士登録 第279740号 村田

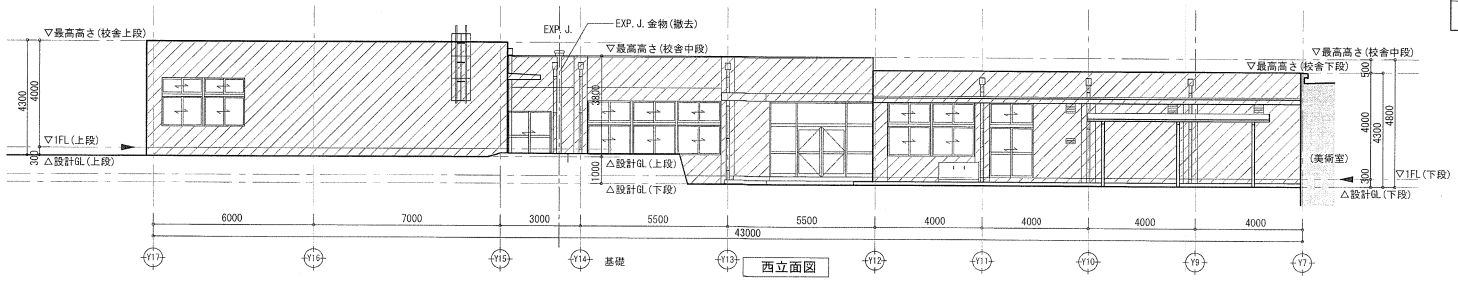
工事名	山梨大学(武田１(附特))校舎(小学部)改修工事
図面名	屋根伏図
縮尺	A1 : 1/100 A3 : 1/200
図面番号	A- 07



北立面図(1)

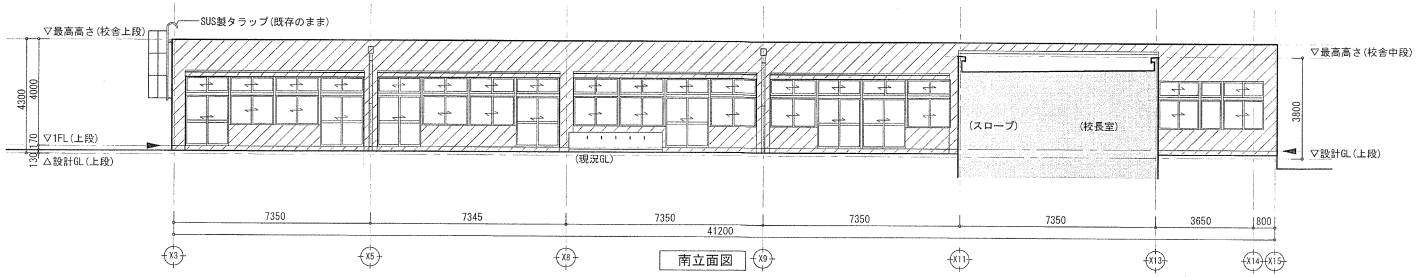


北立面図(2)

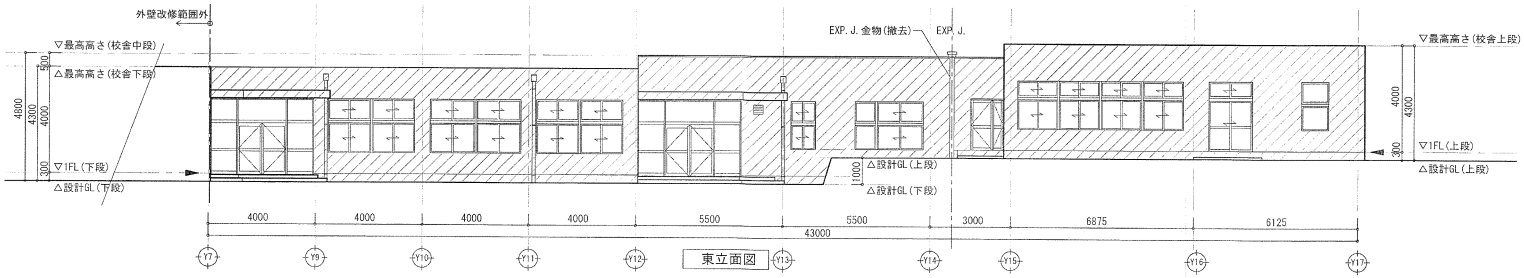


基礎

西立面図



南立面図



東立面図

外壁改修 施工数量表

部 位	改修適用箇所	状 態	改修工法	数量	単位
外壁面	ひび割れ部	幅0.2mm以上～0.5mm未満	自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	110	m
	ひび割れ部	幅1.0mm以上	Uカットシール材充填工法	50	m
	欠損部	100mm×100mm t=30mm程度	充填工法（ポリマーセメントモルタル）	15	箇所
	欠損部（鉄筋露出部）	100mm×100mm t=30mm程度	鉄筋露出部錆止め塗装の上 充填工法（エポキシ樹脂モルタル）	10	箇所
各部庇部	ひび割れ部	幅0.2mm以上～1.0mm未満	自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	12	m

※施工数量調査の上 数量確認、協議とする

シーリング改修 施工数量表

部 位	種 類、寸 法	工 程	備 考	数量	単位
打継ぎ目地	PS-2 20×15	撤去・新設		190	m
外部建具廻り	MS-2 15×10	新設	建具新設部分（かぶせ工法部を含む）	250	m
外部建具AWD廻り	MS-2 20×15	新設	建具新設部分	45	m
設備様気口廻り	MS-2 10×10	撤去・新設	既存部分改修部を示す（※新設部は新規）	2.5	m
樋（外壁取合い）部	PU-2 15×15	撤去・新設		6.5	m
EXP. J. 金物 部	MS-2 10×10	撤去・新設	EXP. J. 金物 取外し、再取付け のため	15	m

外壁塗装変え改修工程（外壁、根回り部共）

1. 外壁 高圧洗浄
2. 外壁調査（クラック、浮き、欠損部）
3. 上記による補修
4. 下地調整（補修部 模様合わせ等）
5. 仕上塗装（可とう形改修塗材RE（シリコン系））
   ※根回り部塗装（シリコン系仕上（2液ｴﾎﾟｷｼ樹脂下塗り））

凡例

- 外壁改修範囲 （既存塗装：防水系複層塗材E）
- 打継ぎ目地（2-02-8） シーリング撤去

担当：山梨大学施設・環境部

AEA 株式会社 エー・ア・ル
一級建築士事務所登録（長野） L第27312号
管理建築士 一級建築士登録 第208750号 関口 浪男
〒381-0012 長野市柳原2360番地4 TEL 026(296)8300

設計体制及び検査	検査員	設計監理責任者	配当者	担当者
	湯本	村田	兼岩	

設計業務名：山梨大学（武田１（附特））校舎（小・中学部）改修設計業務

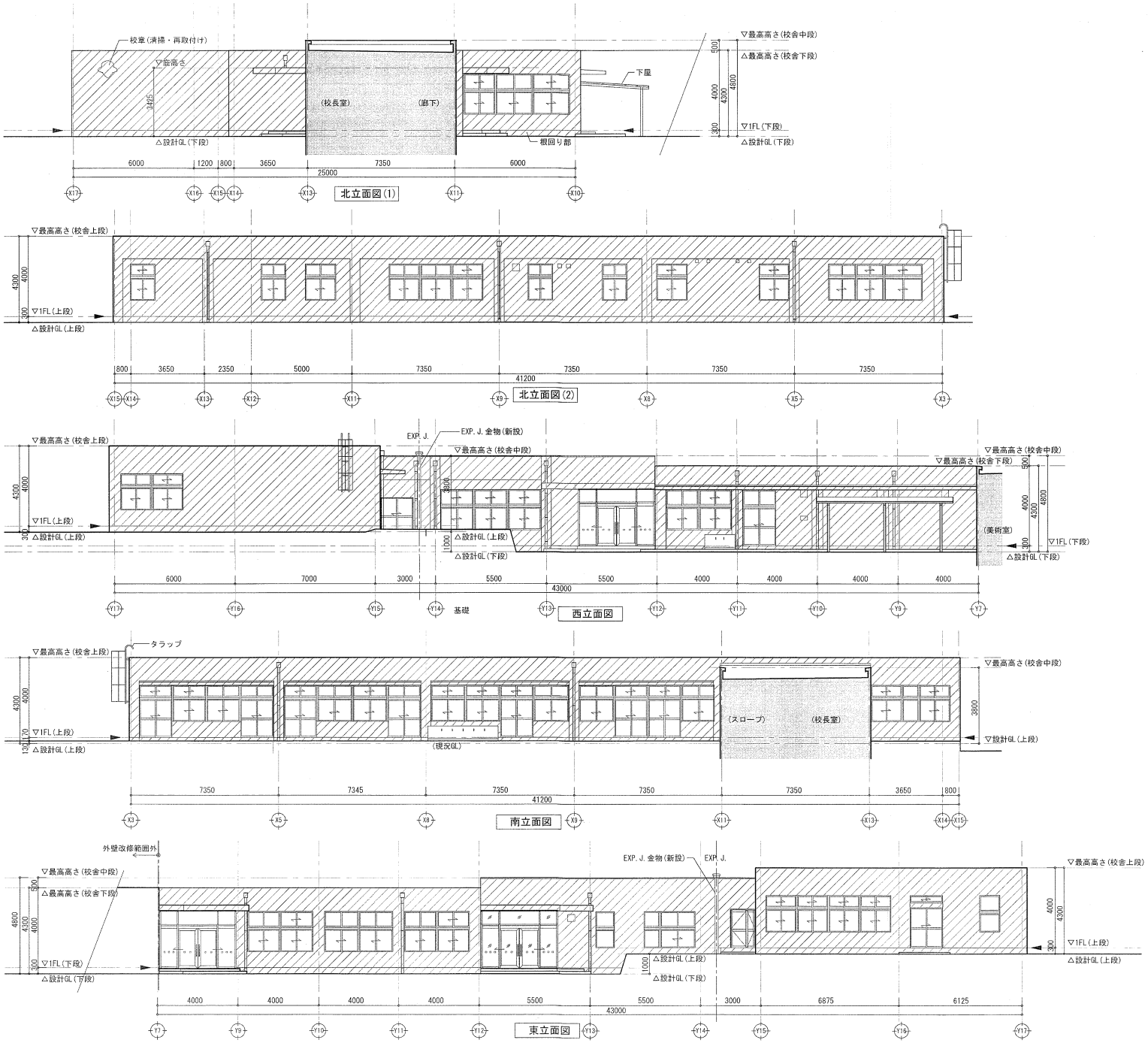
設計者：一級建築士登録 第279740号 村田

工事名：山梨大学（武田１（附特））校舎（小学部）改修工事

図面名：立面図（改修前）

縮尺：A1：1/100 A3：1/200

図面番号：A- 08



凡例	外壁改修範囲 (改修仕上 外壁部：可とう形改修塗材RE、根回り：シリコン仕上)	山梨大学施設・環境部	担当
	打継ぎ目地 (2-02-8) シーリング新設		

AEA 株式会社 エー・ピー・エー設計
一級建築士事務所登録（長野） 1第27312号
管理建築士 一級建築士登録 第208750号 関口 浪男
〒381-0012 長野市柳原2360番地4 TEL 026(295)8300
設計体制及び検査
検査者 湯本 設計担当責任者 村田 担当者 兼岩 担当者
設計者氏名 一級建築士登録 第279740号 村田

設計業務名：山梨大学（武田１（附特））校舎（小・中学部）改修設計業務

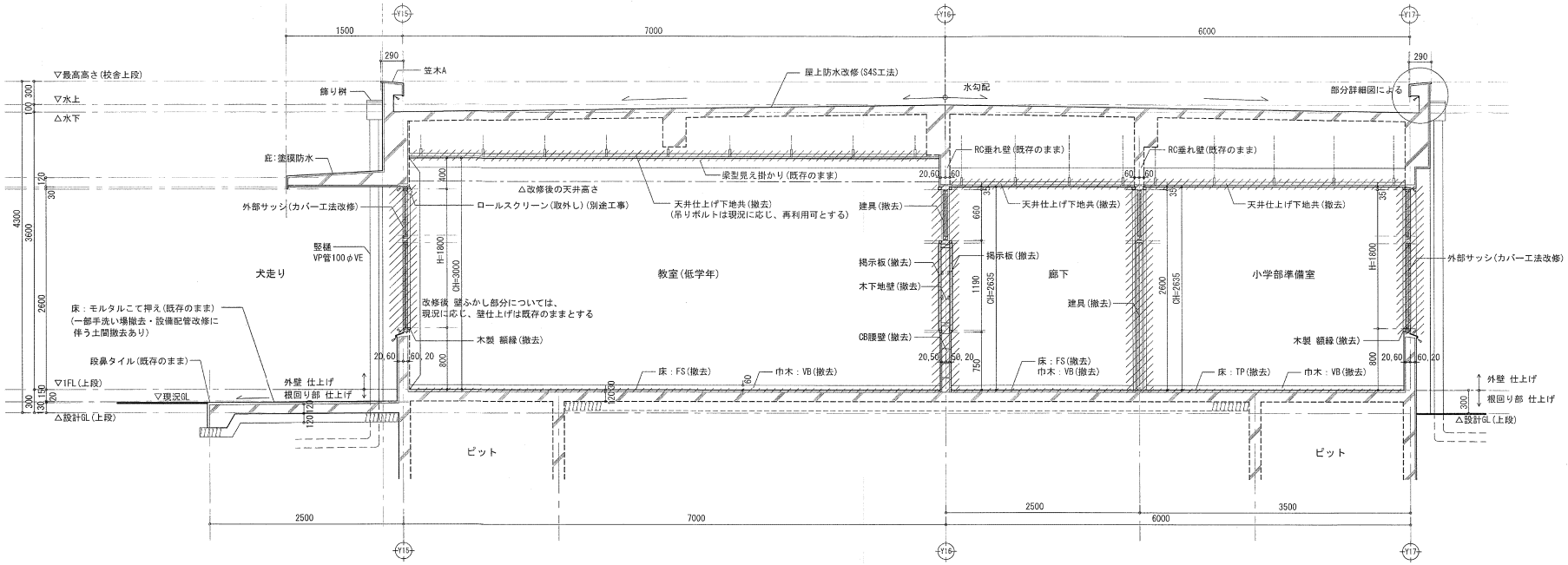
工事名：山梨大学(武田１(附特))校舎(小学部)改修工事

図面名：立面図(改修後)

縮尺：A1 : 1/100　A3 : 1/200

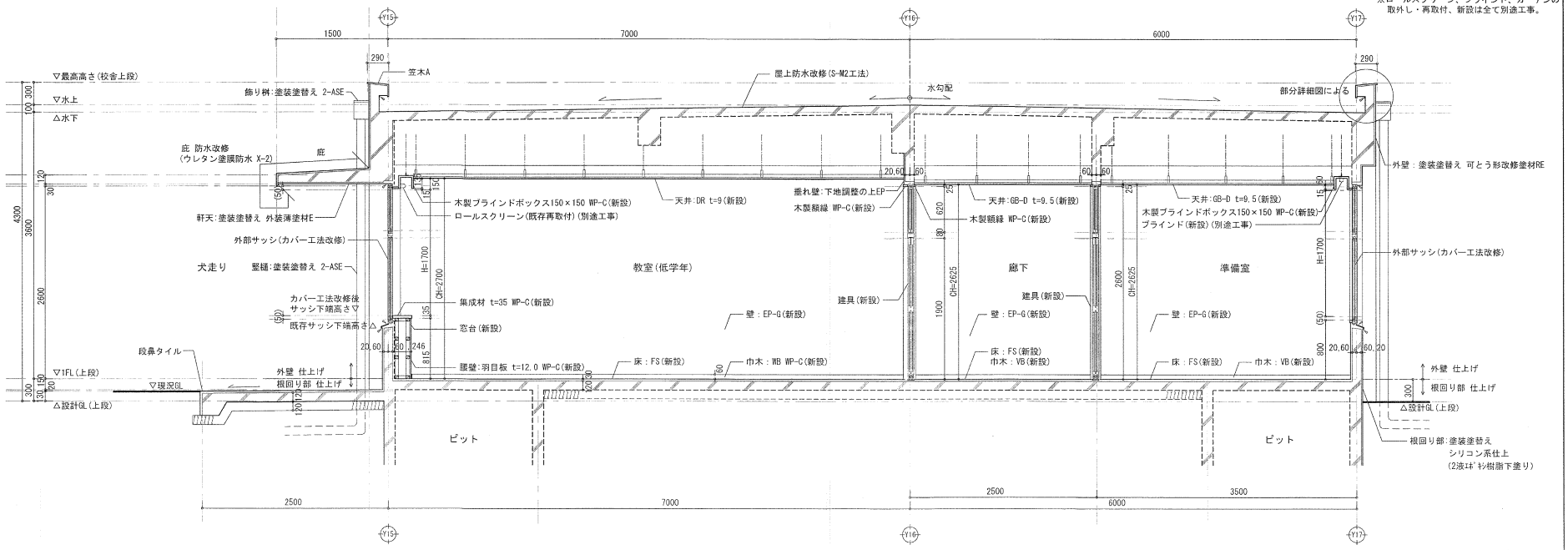
図面番号：A- 09

断面詳細図(改修前)



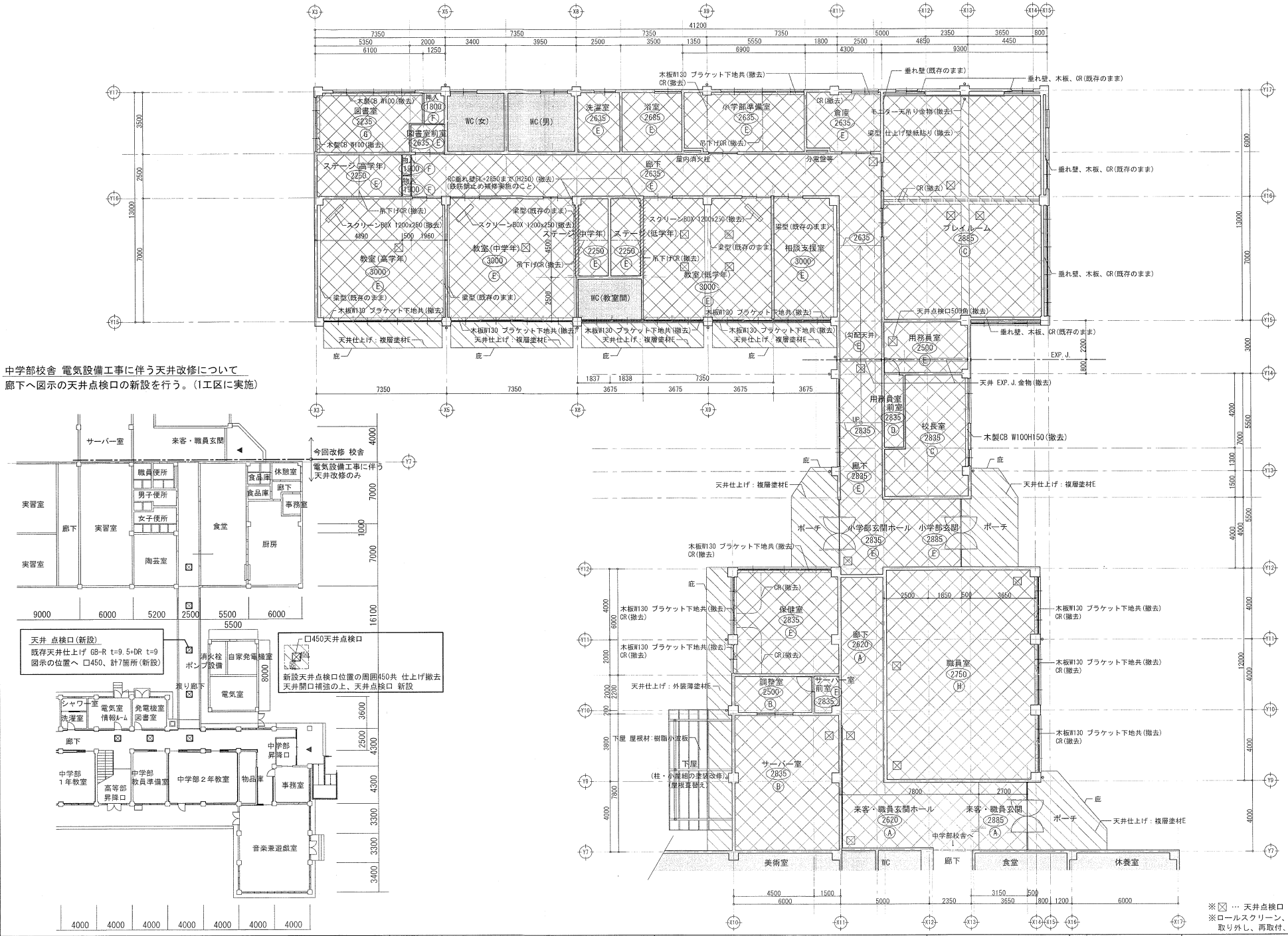
断面詳細図(改修後)

※ロールスクリーン、ブラインド、カーテンの
取外し・再取付、新設は全て別途工事。



	山梨大学施設・環境部	担当	朝倉	株式会社 エヒーエ設計 一級建築士事務所登録(長野) 第27312号 管理建築士 一級建築士登録 第208750号 関口 浩男 〒381-0012 長野市柳原2360番地4 TEL 026(296)8300	設計業務名 山梨大学(武田1(附特))校舎(小・中学部)改修設計業務	工事名 山梨大学(武田1(附特))校舎(小学部)改修工事
				設計体制及び検査 検査員 湯本 / 設計担当 村田 / 担当者 兼岩 / 担当者	設計者氏名 一級建築士登録 第279740号 村田	図面名 断面詳細図
						縮尺 A1 : 1/30 A3 : 1/60
						図面番号 A- 10

中学部校舎 電気設備工事に伴う天井改修について
廊下へ図示の天井点検口の新設を行う。(1工区に実施)

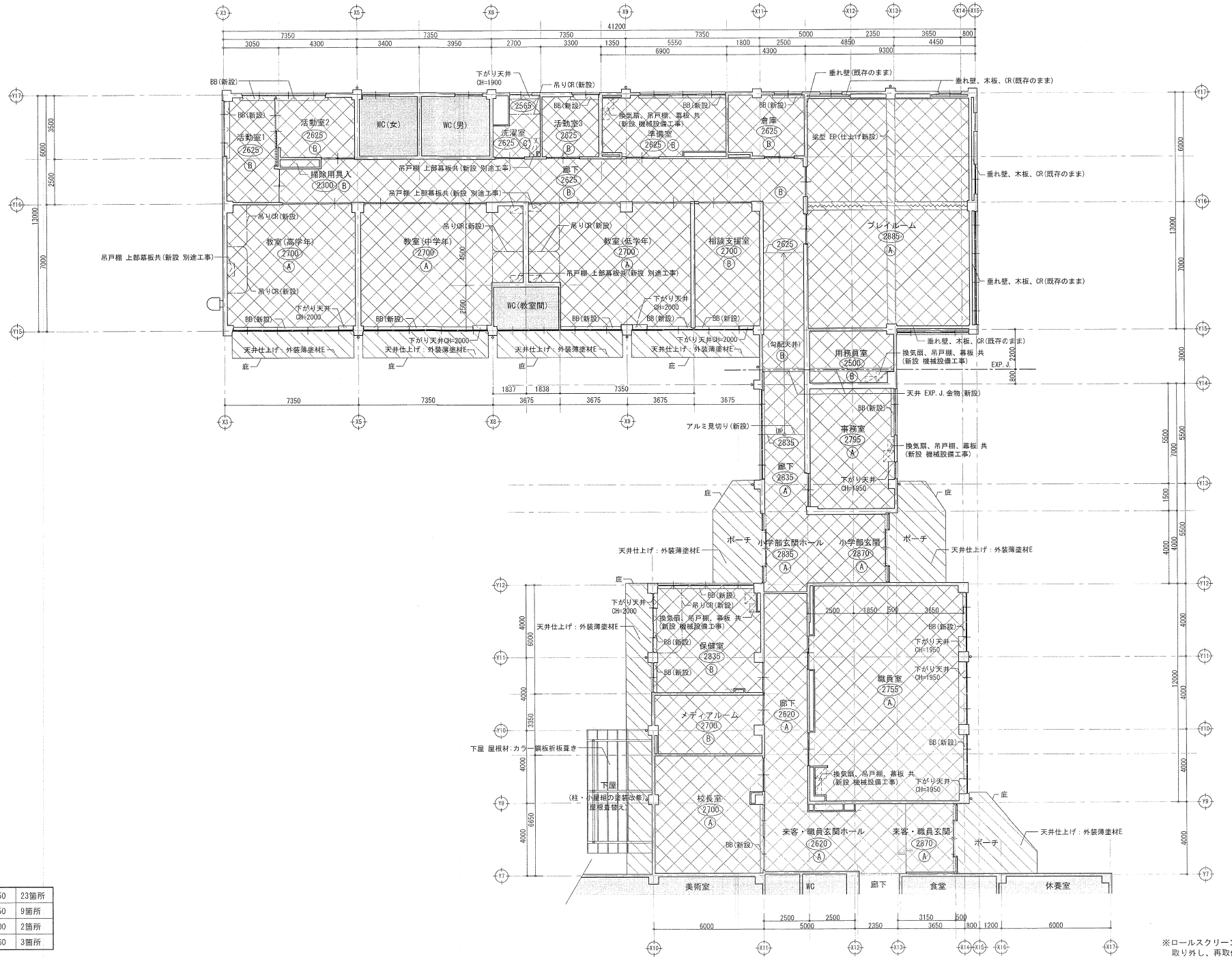


※☒ … 天井点検口 アルミ枠 □450(撤去) 18箇所
※ロールスクリーン、カーテン、ブラインドの
取り外し、再取付、新設は全て別途工事

凡例							
	改修範囲外を示す	Ⓐ	GB-S t=9.5 + DR t=12	Ⓔ	ケイカル板t=6 EP		
	仕上げ撤去の範囲を示す	Ⓑ	DR t=12	Ⓕ	合板		
	仕上げ下地共 撤去の範囲を示す	Ⓒ	GB-R t=9 + 壁紙貼り	Ⓖ	GB-D t=9		
(3000)	天井高さを示す	Ⓓ	GB-R t=9 EP	Ⓗ	GB-R t=9.5 + DR t=9		

担当	山梨大学施設・環境部	工事名	山梨大学(武田1(附特))校舎(小学部)改修工事
		図面名	天井伏図(改修前)
設計業務名	山梨大学(武田1(附特))校舎(小・中学部)改修設計業務	縮尺	A1 : 1/100 A3 : 1/200
設計者氏名	一級建築士金袋 第279740号 村田	図面番号	A- 11

AEA 株式会社 エー・ア・イ設計
一級建築士事務所登録(長野) 1第27312号
管理建築士 一級建築士登録 第208750号 関口 浪男
〒381-0012 長野市稲荷2360南地4 TEL.026(296)8300
設計担当 検査員 湯本 設計担当責任者 村田 担当者 兼岩 担当者



天井点検口	450×450	23箇所
天井補強	450×450	9箇所
	625×700	2箇所
	860×860	3箇所

※ロールスクリーン、カーテン、ブラインドの取り外し、再取付、新設は全て別途工事

凡例					
	改修範囲外を示す	Ⓐ	GB-R t=9.5 + DR t=9	BB(新設)	木製ブラインドボックス150×150 WP-C(新設)
	仕上げ新設の範囲を示す	Ⓑ	GB-D t=9.5		
	仕上げ下地共 新設の範囲を示す	Ⓒ	ケイカル板t=6 EP		
(3000)	天井高さを示す				

山梨大学施設・環境部

担当

ACA 株式会社 エーシーエー設計
一級建築士事務所登録（長野）1級27312号
管理建築士 一級建築士登録 第208750号 関口 法男
〒381-0012 長野市柳原2260番地4 TEL 026(296)8300

検査員	設計体制及び検査 設計監督 責任者	監督員	監督者
湯本	村田 兼岩		

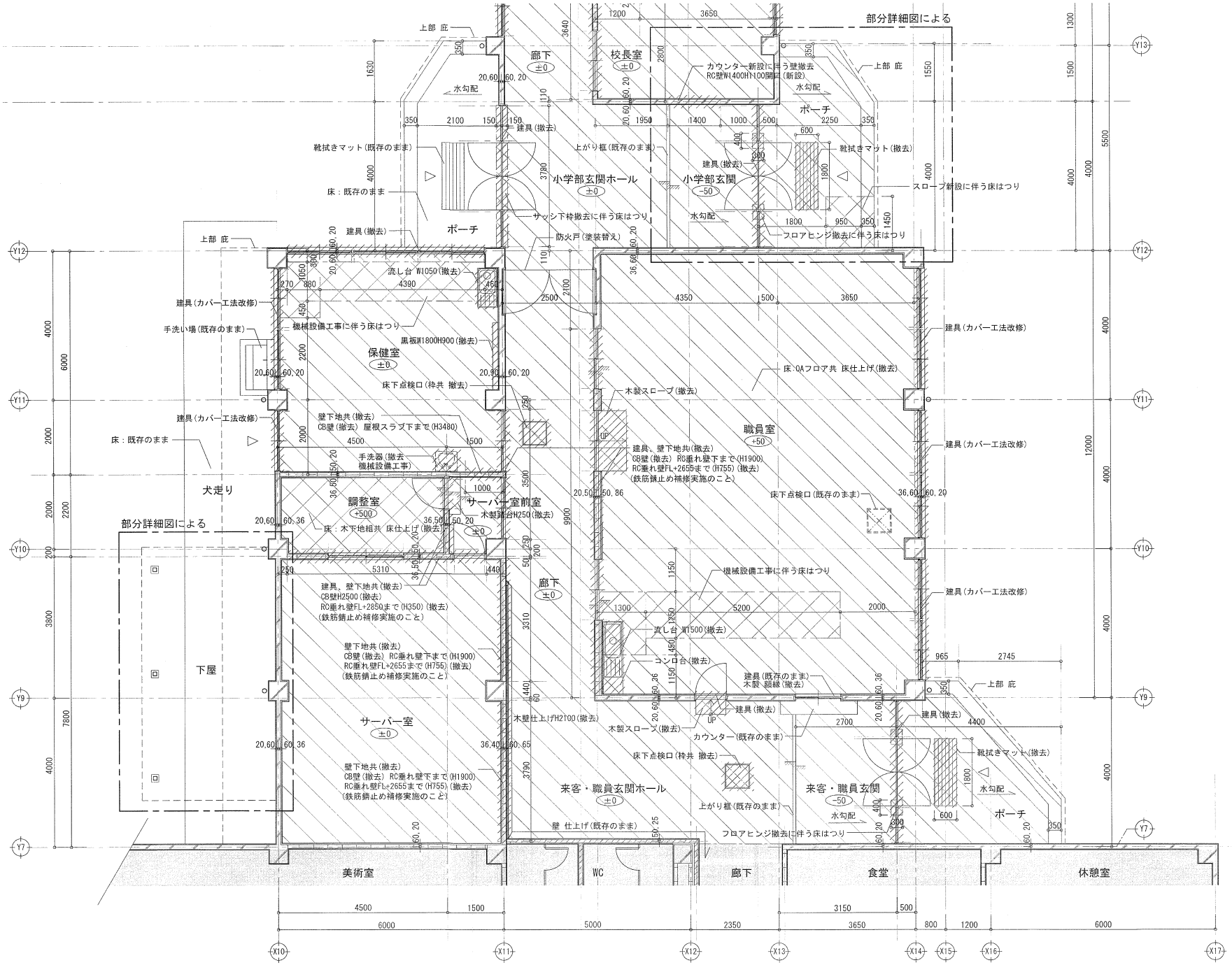
設計者氏名：一級建築士登録 第279740号 村田

設計業務名：山梨大学（武田１（附特））校舎（小・中学部）改修設計業務

工事名：山梨大学(武田１(附特))校舎(小学部)改修工事
図面名：天井伏図(改修後)

縮尺：A1：1/100 A3：1/200

図面番号：A－12



凡例					
	コンクリート壁を示す	***	下段FLから仕上面までのレベル差を示す		床 仕上げ 撤去範囲を示す
	コンクリートブロック壁を示す	***	上段FLから仕上面までのレベル差を示す（下段FL～上段FL レベル差1m）		床 仕上げ下地共 撤去範囲を示す
LGS	軽量鋼製下地壁を示す	△	外部への出入口を示す		撤去部分を示す（その他は詳細図による）
W	木下地壁を示す		改修範囲外を示す		床下点検口の位置を示す

山梨大学施設・環境部

担当

株式会社 エー・シー・アイ設計
一級建築士事務所登録（長野） 1級27312号
管理建築士 一級建築士登録 第208750号 関口 浩男
〒381-0012 長野市綿屋2300番地4 TEL 026(296)8300

検査員	設計担当 管理者	担当者	担当者
湯本	村田	兼岩	

設計者 氏名 一級建築士登録 第279740号 村田

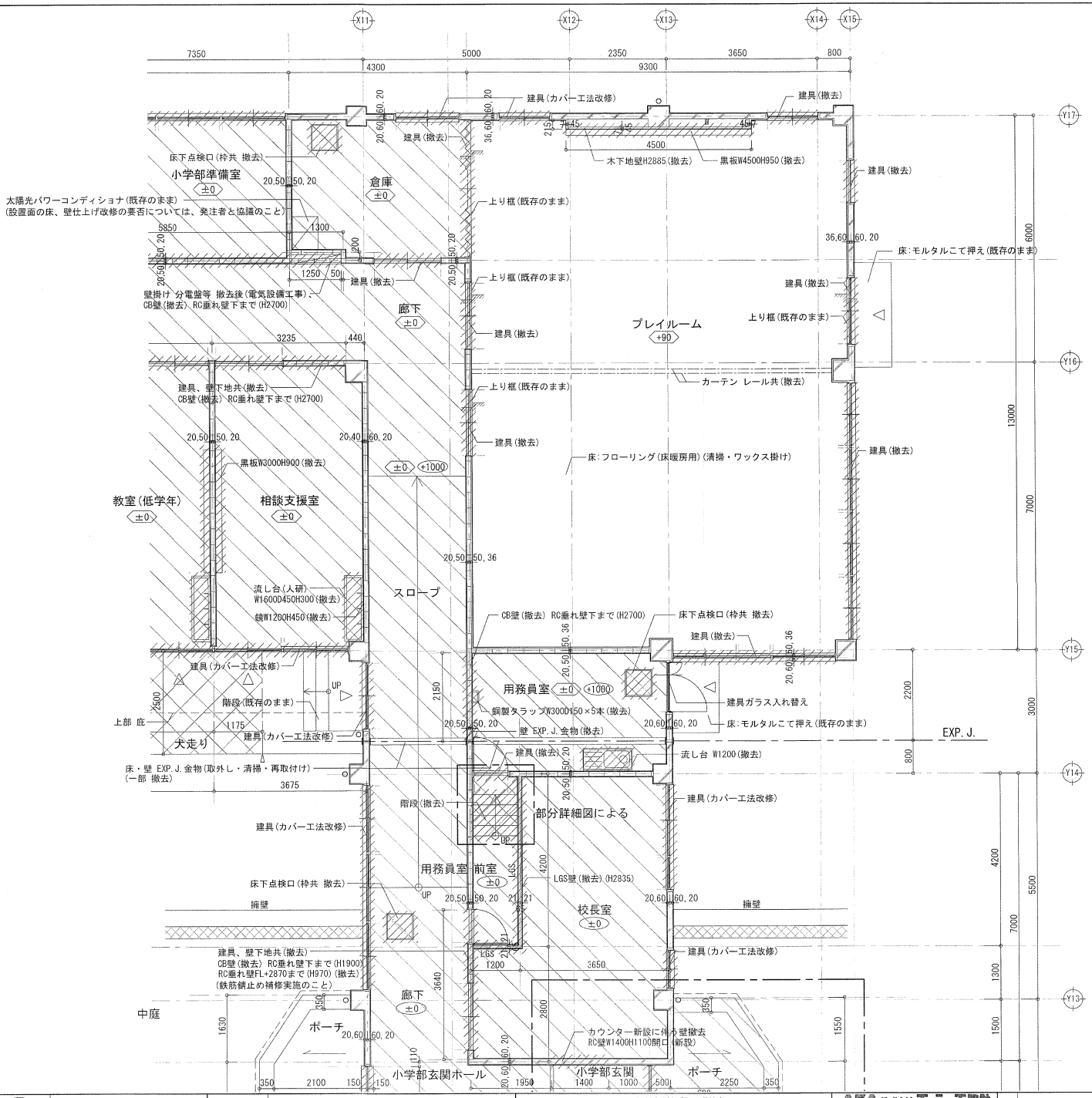
設計業務名：山梨大学（武田１（附特））校舎（小・中学部）改修設計業務

工事名：山梨大学（武田１（附特））校舎（小学部）改修工事

図面名：平面詳細図(1)（改修前）

縮尺：A1：1/50　A3：1/100

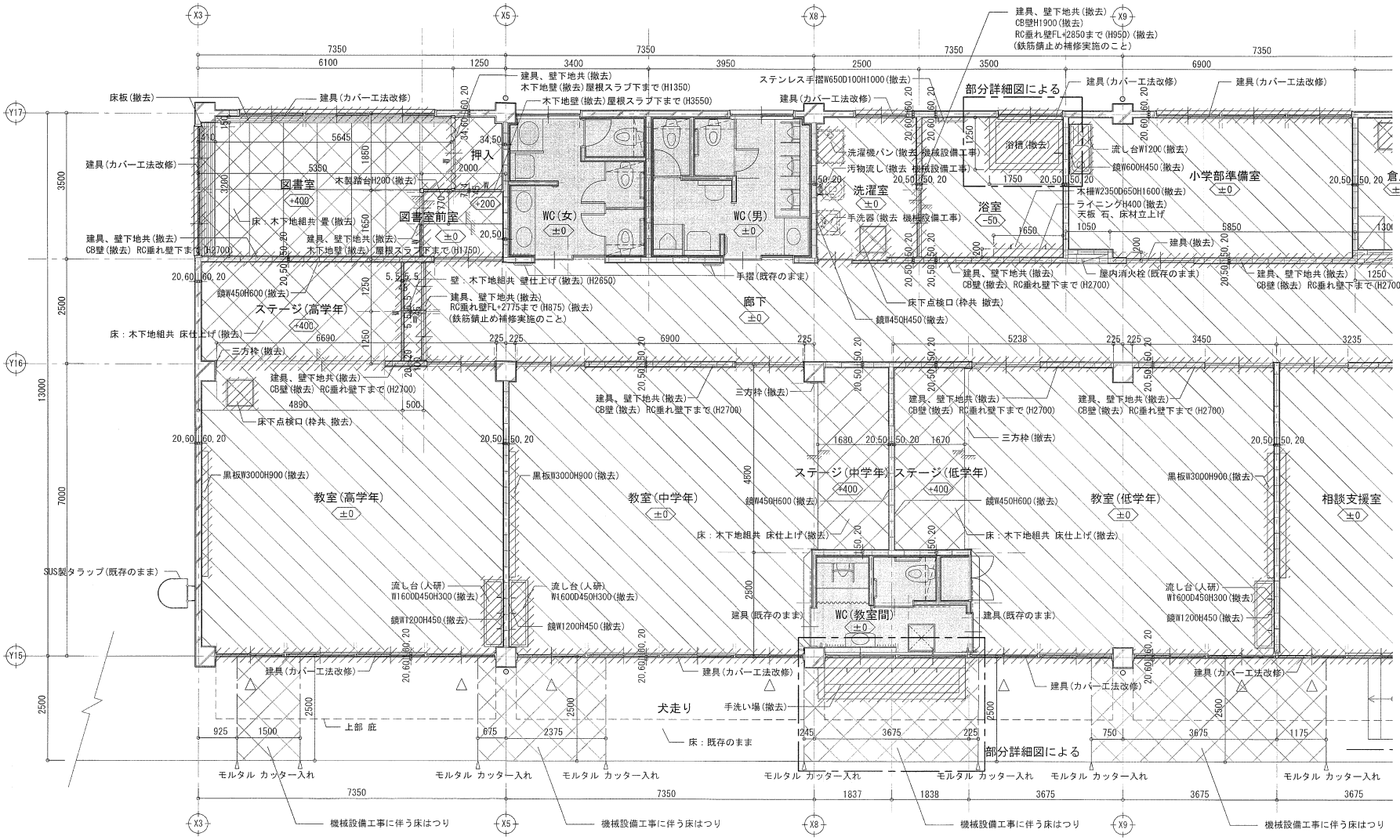
図面番号：A－13



凡例					
	コンクリート壁を示す	***	下段FLから仕上面までのレベル差を示す		床 仕上げ 撤去範囲を示す
	コンクリートブロック壁を示す	***	上段FLから仕上面までのレベル差を示す(下段FL～上段FL レベル差1m)		床 仕上げ下地共 撤去範囲を示す
LGS	軽量鋼製下地壁を示す	△	外部への出入口を示す		撤去部分を示す (その他は詳細図による)
W	木下地壁を示す		改修範囲外を示す		床下点検口の位置を示す

担当	山梨大学施設・環境部	株式会社 エー・シー・エー設計 一級建築士事務所登録(長野) 第27312号 管理建築士 一級建築士登録 第208750号 關口 浪男 〒381-0012 長野市緑町2350番地4 TEL. 026(296)8300	設計業務名: 山梨大学(武田1(附特))校舎(小・中学部)改修設計業務
		検査者 湯本 / 設計担当責任者 村田 / 担当者 兼岩 / 担当者	設計者氏名: 一級建築士登録 第279740号 村田

工事名: 山梨大学(武田1(附特))校舎(小学部)改修工事
図面名: 平面詳細図(2) (改修前)
縮尺: A1 : 1/50 / A3 : 1/100
図面番号: A- 14



凡例					
	コンクリート壁を示す	***	下段FLから仕上面までのレベル差を示す		床 仕上げ 撤去範囲を示す
	コンクリートブロック壁を示す	***	上段FLから仕上面までのレベル差を示す (下段FL～上段FL レベル差1m)		床 仕上げ下地共 撤去範囲を示す
LGS	軽量鋼製下地壁を示す	△	外部への出入口を示す		撤去部分を示す (その他は詳細図による)
W	木下地壁を示す		改修範囲外を示す		床下点検口の位置を示す

山梨大学施設・環境部

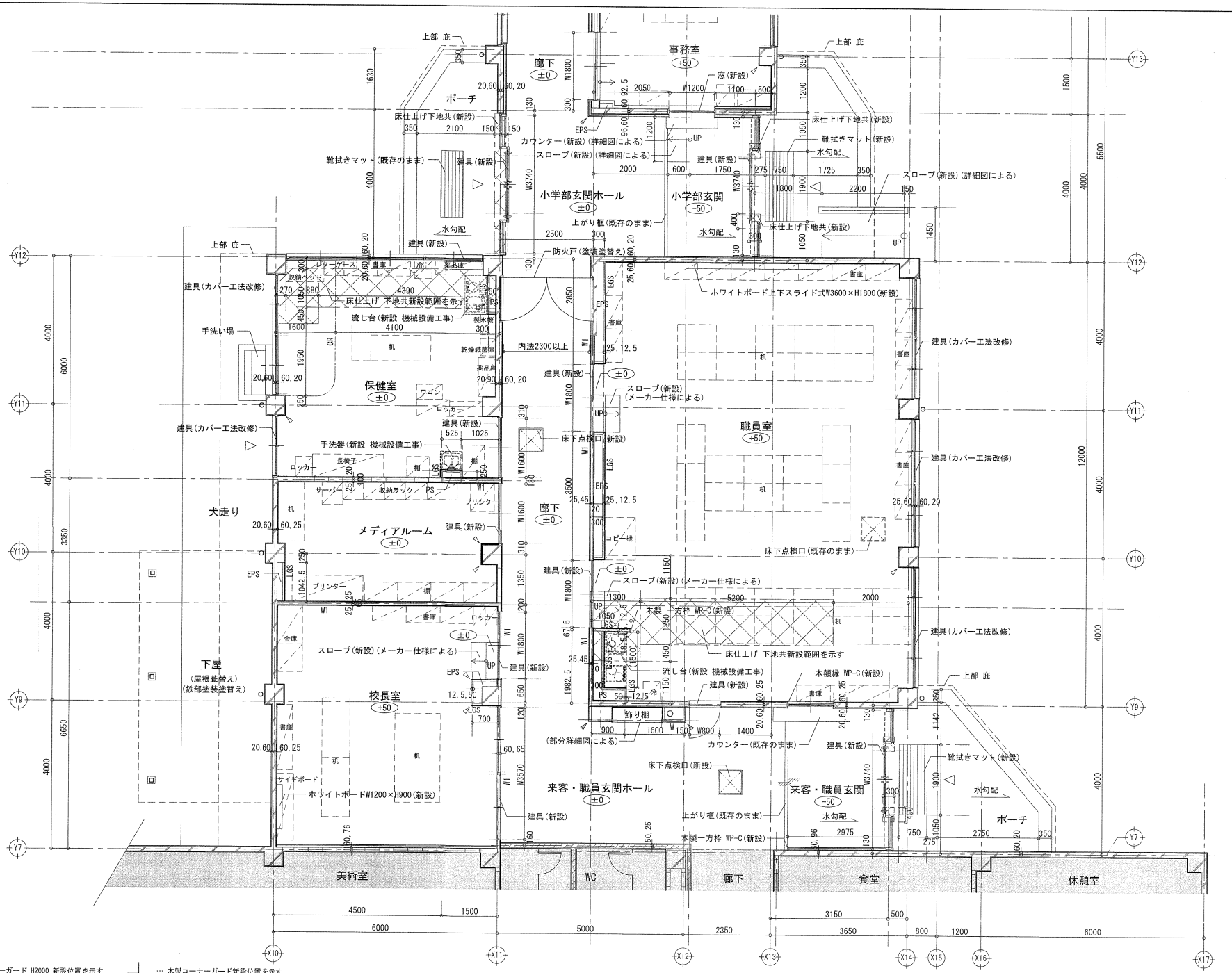
担当

AEA 株式会社 エーシー工設計
一級建築士事務所登録 (長野) 第27312号
管理建築士 一級建築士登録 第269750号 関口 浩男
〒381-0012 長野市柳原2360番地4 TEL 026(290)8300

設計体制及び検査

検査員	設計担当 資格者	管理者	総括者
湯本	村田 兼岩		

業務名	山梨大学（武田１（附特））校舎（小・中学部）改修設計業務
工事名	山梨大学(武田１(附特))校舎(小学部)改修工事
図面名	平面詳細図(3) (改修前)
設計者 氏名	一級建築士登録 第279740号 村田
縮尺	A1 : 1/50 A3 : 1/100
図面番号	A- 15



… 樹脂製コーナーガード H2000 新設位置を示す

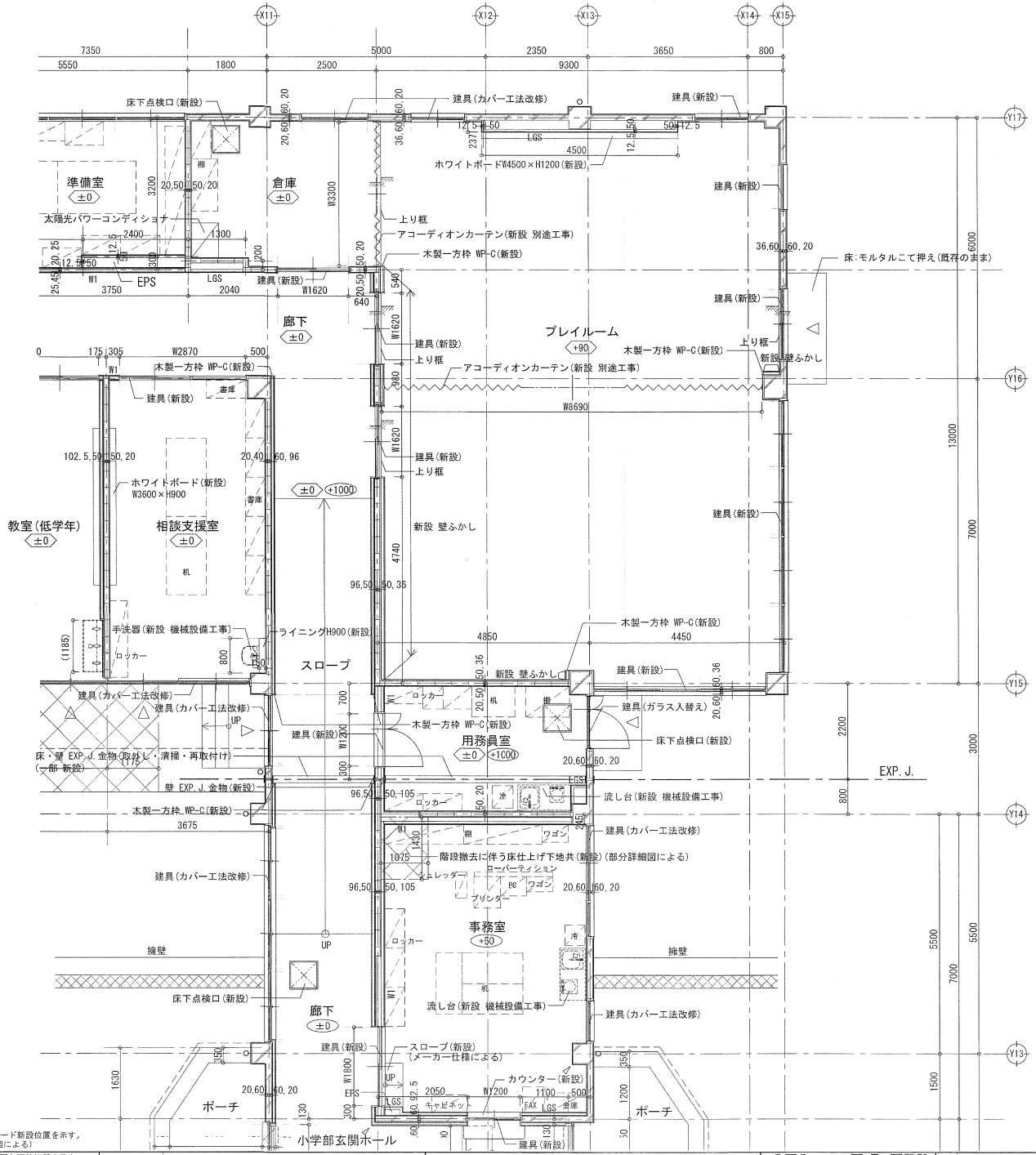
… 木製コーナーガード新設位置を示す。(高さ等は詳細図による)

凡例					
	コンクリート壁を示す(躯体は既存のままとし、表面の仕上げを改修)	W1	新設の防火上主要な間仕切壁を示す(建具部分は上部天井内の壁を示す)		改修範囲外を示す
	コンクリートブロック壁を示す(躯体は既存のままとし、表面の仕上げを改修)	***	下段FLから仕上面までのレベル差を示す	QR	カーテンレール新設位置を示す(カーテン 備品)
LGS	新設の軽量鋼製下地壁を示す	***	上段FLから仕上面までのレベル差を示す(下段FL～上段FL レベル差1m)		床下点検口の位置を示す
W	新設の木下地壁を示す	△	外部への出入口を示す		什器・備品等を示す ※図示の室内什器は計画予定位置を示す

山梨大学施設・環境部

担当

ACA 株式会社 エーシーエ設計	設計業務名	山梨大学(武田1(附特))校舎(小・中学部)改修設計業務	工事名 / 図面名 山梨大学(武田1(附特))校舎(小学部)改修工事 平面詳細図(1)(改修後)
一級建築士事務所登録 (長野) L第27312号 / 管理建築士 一級建築士登録 第209750号 関口 浪男 / 〒381-0012 長野市柳原2360番地4 TEL. 026(296)8300	設計者氏名	一級建築士登録 第270740号 村田	縮尺 A1 : 1/50 A3 : 1/100
設計体制及び検査 / 検査員 湯本 / 設計担当責任者 村田 / 担当者 兼岩 / 監査者			図面番号 A- 16



… 樹脂製コーナーガード H2000 新設位置を示す

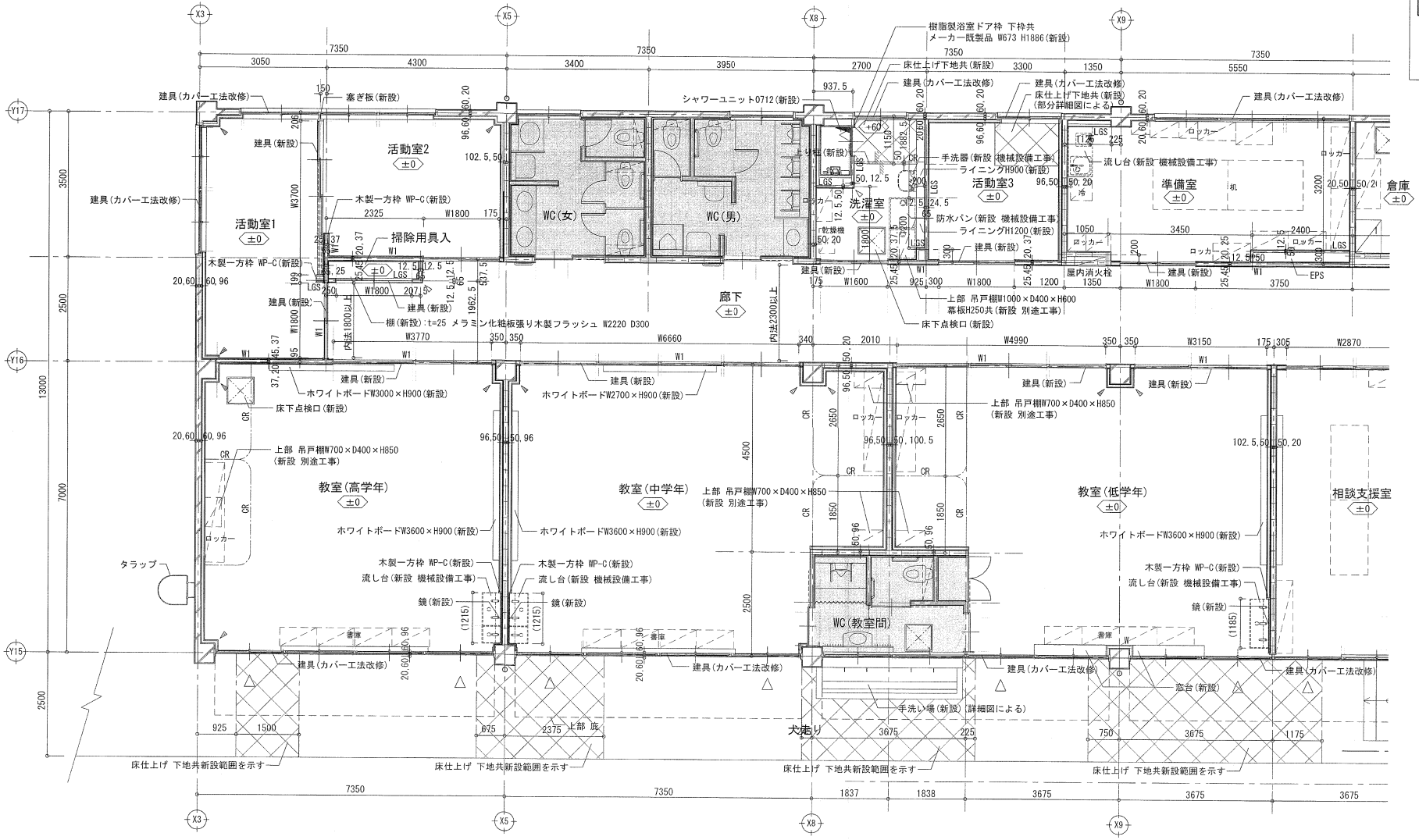
… 木製コーナーガード新設位置を示す。(高さ等は詳細図による)

凡例					
	コンクリート壁を示す(躯体は既存のままとし、表面の仕上げを改修)	W1	新設の防火上主要な間仕切壁を示す(建具部分は上部天井内の壁を示す)		改修範囲外を示す
	コンクリートブロック壁を示す(躯体は既存のままとし、表面の仕上げを改修)	***	下段FLから仕上面までのレベル差を示す	CR	カーテンレール新設位置を示す(カーテン 備品)
LGS	新設の軽量鋼製下地壁を示す	***	上段FLから仕上面までのレベル差を示す(下段FL～上段FL レベル差1m)		床下点検口の位置を示す
W	新設の木下地壁を示す	△	外部への出入口を示す		什器・備品等を示す ※図示の室内什器は計画予定位置を示す

担当	山梨大学施設・環境部	検査員	設計監督 兼任者
		湯本	村田 兼岩

株式会社 エー・シー・エー設計
一級建築士事務所登録(長野) 1第27312号
管理建築士 一級建築士登録 第208750号 關口 浩男
〒381-0012 長野市柳原2360番地4 TEL.026(296)8300
設計者 氏名 一級建築士登録 第279740号 村田

設計業務名	山梨大学(武田1(附特))校舎(小・中学部)改修設計業務	工事名	山梨大学(武田1(附特))校舎(小学部)改修工事
		図面名	平面詳細図(2) (改修後)
		縮尺	A1 : 1/50 A3 : 1/100
		図面番号	A- 17



… 樹脂製コーナーガード H2000 新設位置を示す

… 木製コーナーガード新設位置を示す。(高さ等は詳細図による)

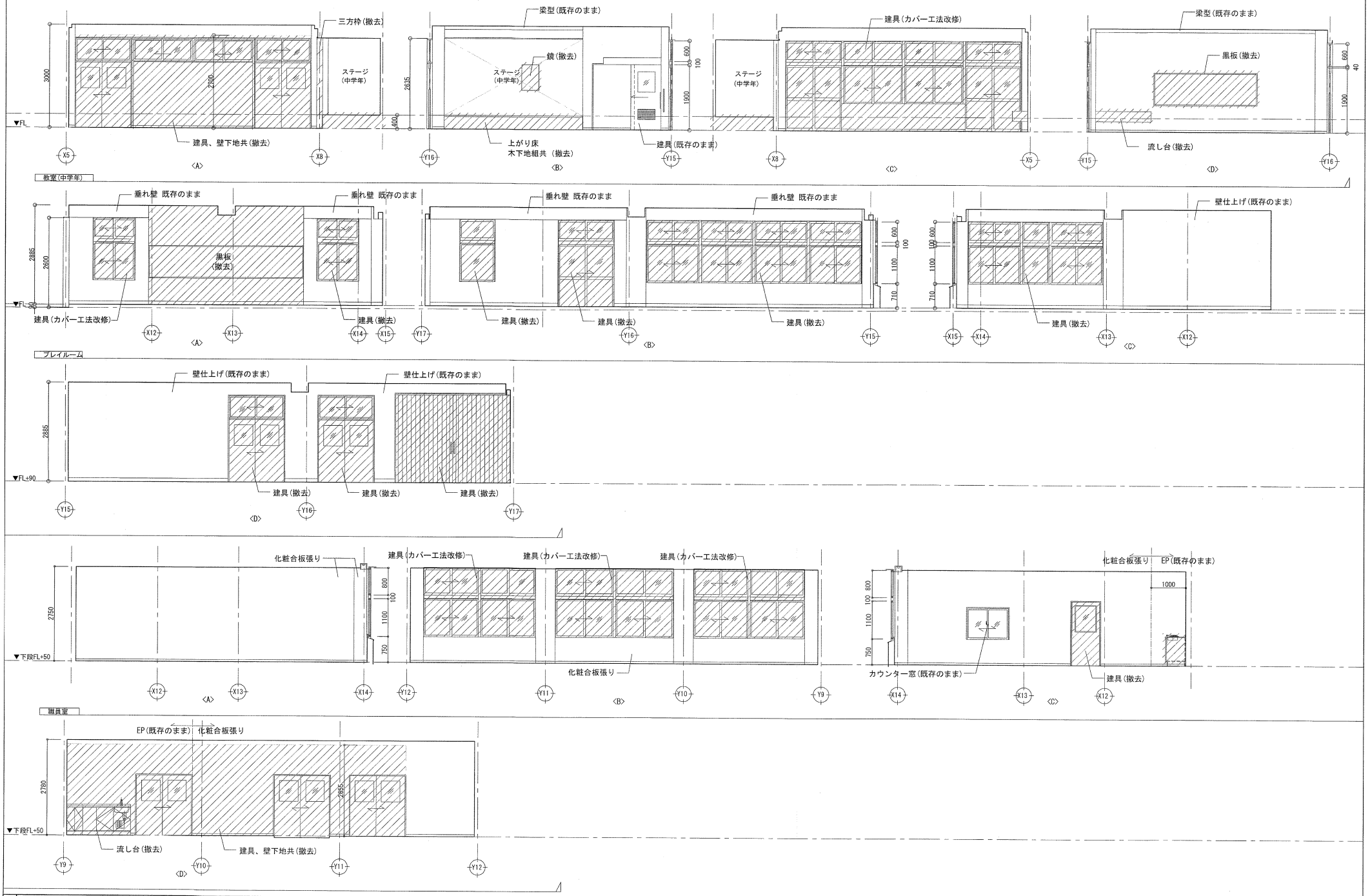
※吊戸棚設置位置は合板t=12下地とする

凡例

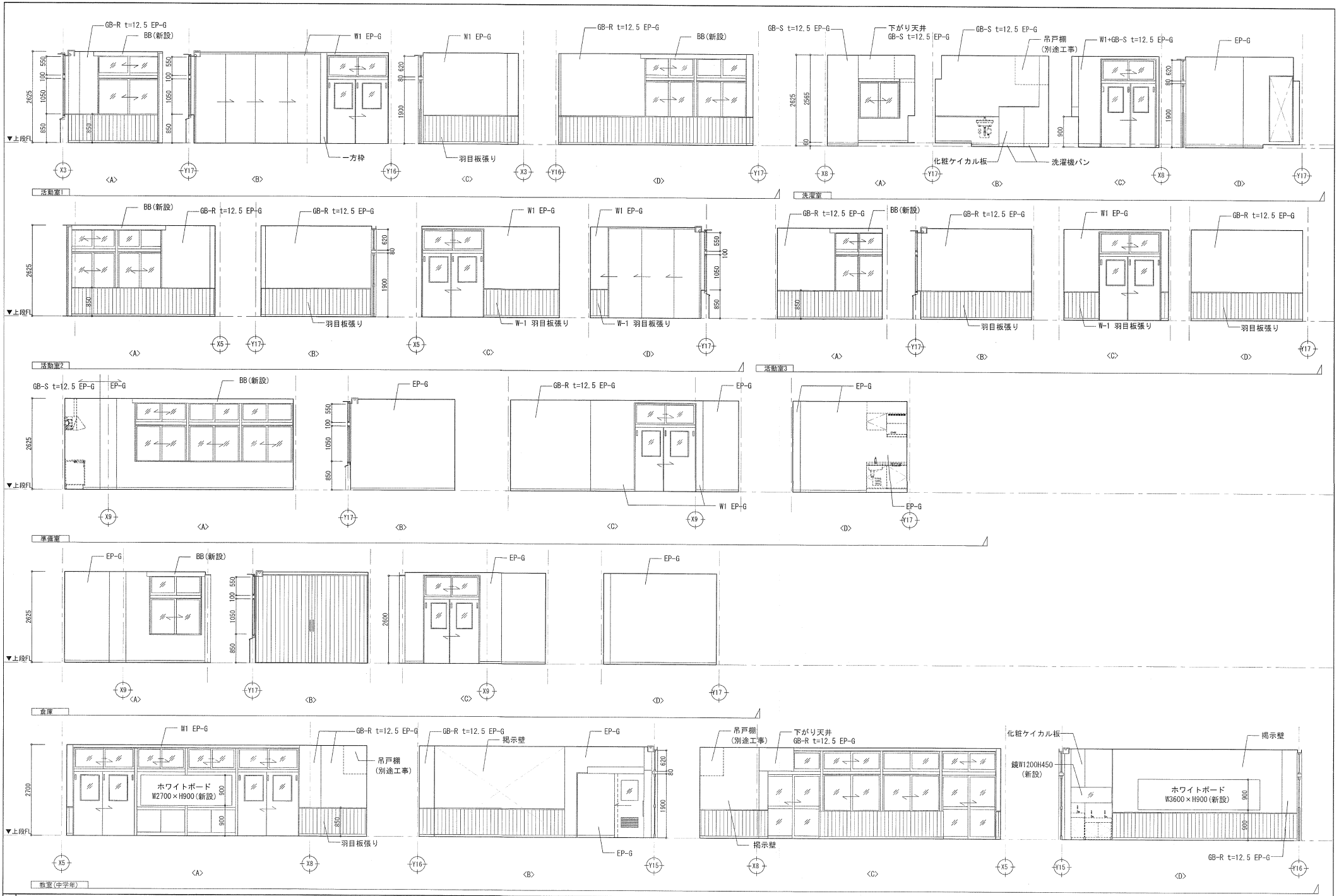
	コンクリート壁を示す(躯体は既存のままとし、表面の仕上げを改修)	W1	新設の防火上主要な間仕切壁を示す(建具部分は上部天井内の壁を示す)		改修範囲外を示す
	コンクリートブロック壁を示す(躯体は既存のままとし、表面の仕上げを改修)	***	下段FLから仕上面までのレベル差を示す	CR	カーテンレール新設位置を示す(カーテン 備品)
LGS	新設の軽量鋼製下地壁を示す	***	上段FLから仕上面までのレベル差を示す(下段FL～上段FL レベル差1m)		床下点検口の位置を示す
W	新設の木下地壁を示す	△	外部への出入口を示す		什器・備品等を示す ※図示の室内什器は計画予定位置を示す

担当	山梨大学施設・環境部	株式会社 エーシー工設計 一級建築士事務所登録(長野) L第27312号 管理建築士 一級建築士登録 第208752号 關口 浪男 〒381-0012 長野市緑町2360番地4 TEL 026(296)8300	設計業務名: 山梨大学(武田1(附特))校舎(小・中学部)改修設計業務
		設計体制及び検査: 検査者 湯本 / 設計責任者 村田 / 監督者 兼岩 / 担当者	設計者氏名: 一級建築士登録 第279740号 村田

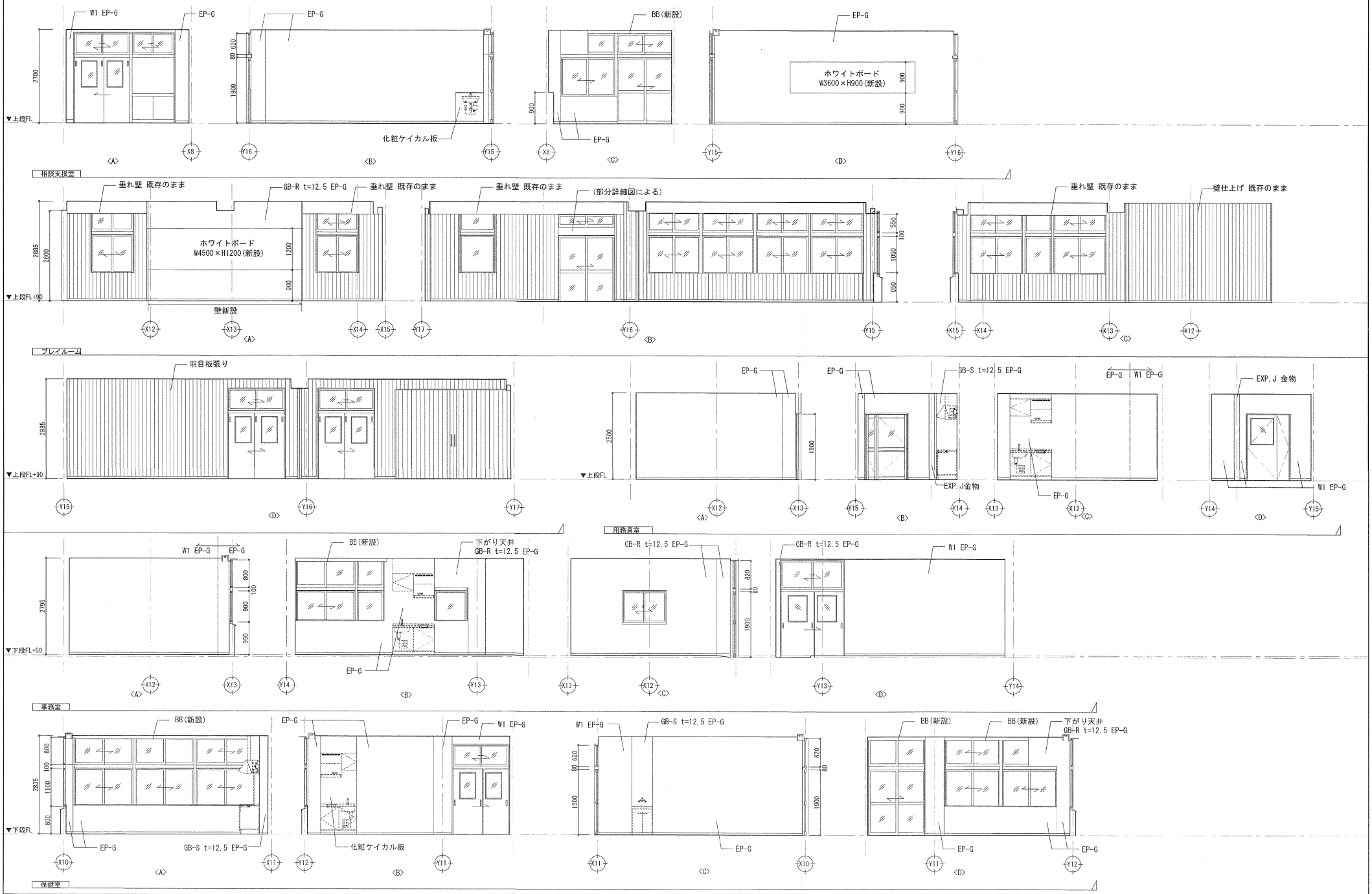
工事名	山梨大学(武田1(附特))校舎(小学部)改修工事	
図面名	平面詳細図(3) (改修後)	
縮尺	A1 : 1/50 A3 : 1/100	図面番号 A- 18



山梨大学施設・環境部	株式会社 エーシーエ設計 一級建築士事務所登録（長野） L第27312号 管理建築士 一級建築士登録 第209750号 関口 浩美 〒381-0012 長野市柳原2360番地4 TEL 026(296)8300 設計体制及び担当者 検査員 湯本 / 設計担当責任者 村田 / 担当者 兼岩 / 協力者	設計業務名：山梨大学（武田１（附特））校舎（小・中学部）改修設計業務 設計者氏名：一級建築士登録 第279740号 村田	工事名：山梨大学(武田１(附特))校舎(小学部)改修工事 図面名：展開図(改修前) 縮尺：A1 : 1/50 A3 : 1/100 図面番号：A- 19



山梨大学施設・環境部	担当	株式会社 エー・シー・エー設計 一級建築士事務所登録（長野） L第27312号 管理建築士 一級建築士登録 第208750号 関口 浚男 〒381-0012 長野市柳原2360番地4 TEL 026(296)8300	設計業務名：山梨大学（武田１（附特））校舎（小・中学部）改修設計業務
		設計体制及び検査：検査員 湯本 / 設計者兼責任者 村田 / 担当者 兼岩 / 担当者	設計者氏名：一級建築士登録 第279740号 村田
			工事名：山梨大学(武田１(附特))校舎(小学部)改修工事
			図面名：展開図(改修後)(1)
			縮尺：A1 : 1/50 A3 : 1/100
			図面番号：A- 20



山梨大学施設・環境部

担当

AEA 株式会社 エーシーエー設計
一級建築士事務所登録(長野) し第27312号
管理建築士 一級建築士登録 第208750号 間口 浩男
〒381-0012 長野市稲荷山2360番地4 TEL 026(296)8300
設計体制及び検査

検査員	設計担当者 管理者	担当者	担当者
湯本	村田 兼岩		

設計業務名: 山梨大学(武田1(附特))校舎(小・中学部)改修設計業務

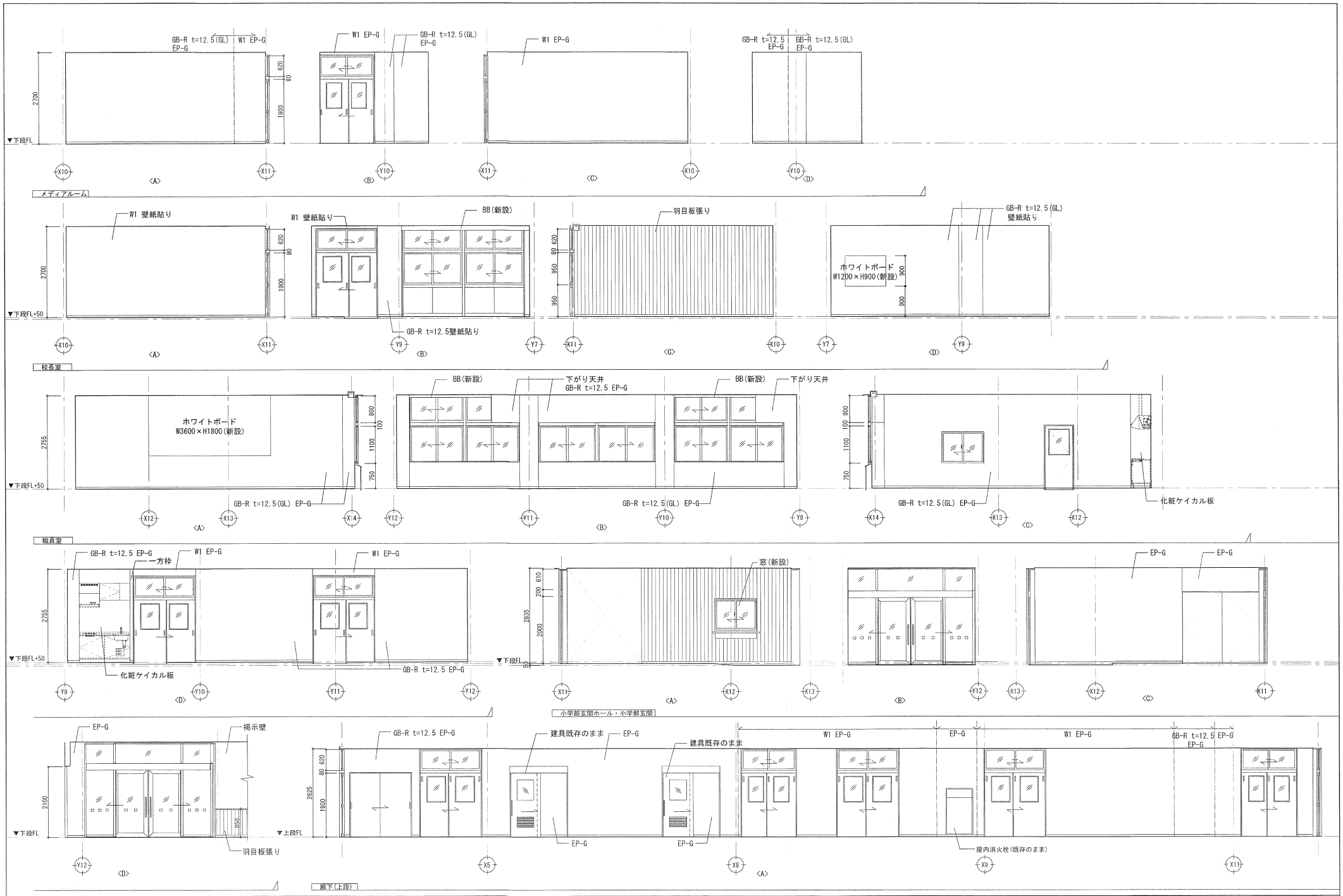
設計者氏名: 一級建築士登録 第279740号 村田

工事名: 山梨大学(武田1(附特))校舎(小学部)改修工事

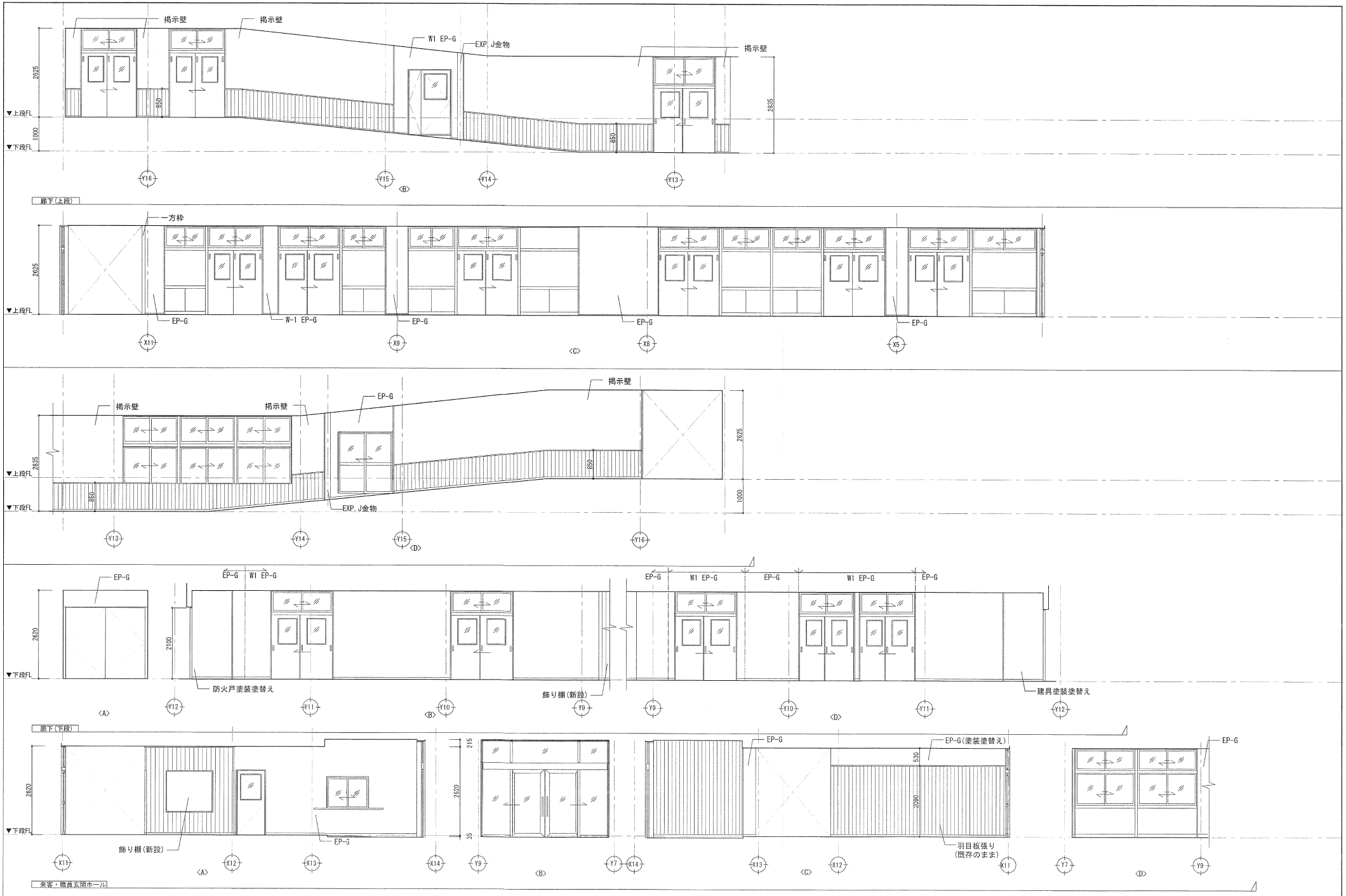
図面名: 展開図(改修後)(2)

縮尺: A1 : 1/50 A3 : 1/100

図面番号: A- 21



担当	山梨大学施設・環境部	ACA 株式会社 エーシー工設計 一級建築士事務所登録（長野） L第27312号 管理建築士 一級建築士登録 第208750号 関口 浩男 〒381-0012 長野市柳原2360番地4 TEL 026(296)6300 設計体制及び検査 検査員 湯本 / 設計担当 責任者 村田 / 担当者 兼岩 / 担当者	設計業務名 山梨大学（武田１（附特））校舎（小・中学部）改修設計業務 設計者氏名 一級建築士登録 第279740号 村出	工事名 山梨大学(武田１(附特))校舎(小学部)改修工事 図面名 展開図(改修後)(3)	縮尺 A1 : 1/50 A3 : 1/100 図面番号 A- 22



山梨大学施設・環境部	株式会社 エー・シー・エー設計 一級建築士事務所(長野) 1第271312号 管理建築士 一級建築士登録 第206750号 關口 浪男 〒381-0012 長野市南長野2360番地4 TEL. 026(296)8300	設計業務名: 山梨大学(武田1(附特))校舎(小・中学部)改修設計業務	工事名: 山梨大学(武田1(附特))校舎(小学部)改修工事 図面名: 展開図(改修後)(4)
担当	検査員 湯本 / 設計体制及び検査 設計監督 吉住 / 担当者 村田 / 担当者 兼岩	設計者氏名: 一級建築士登録 第279740号 村田	縮尺: A1 : 1/50 A3 : 1/100
			図面番号: A- 23

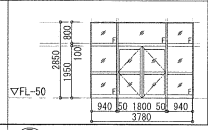
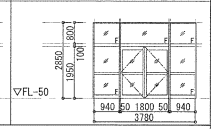
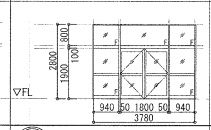
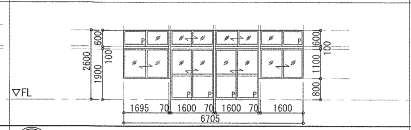
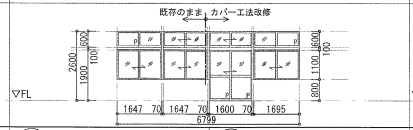
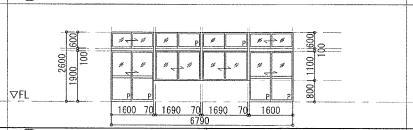
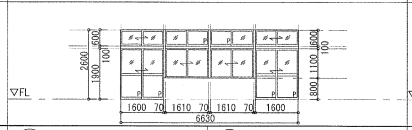
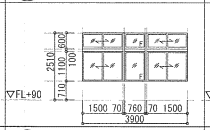
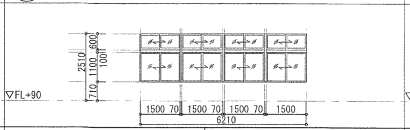
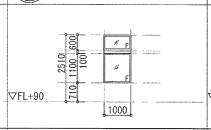
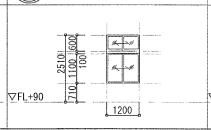
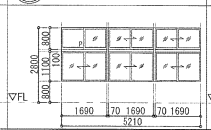
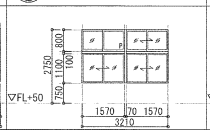
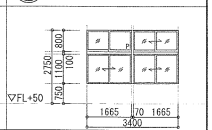
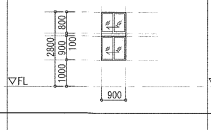
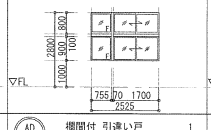
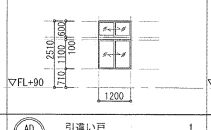
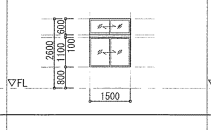
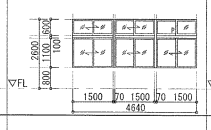
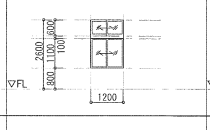
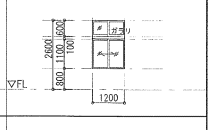
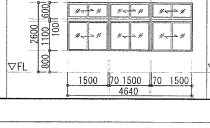
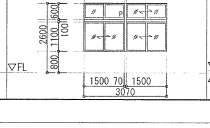
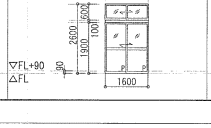
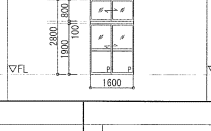
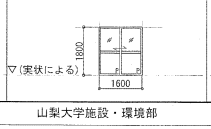
外部建具

建具番号	形式・大きさ	個数	網戸の有無	ガラス
AWD101	図示による	1	無	フロートガラス3mm
AWD102	〃	1	無	フロートガラス3mm
AWD103	〃	1	無	網入り透明ガラス6.8mm
AWDC1	〃	1	有	網入り透明ガラス6.8mm
AWDC2	〃	1	有	網入り透明ガラス6.8mm
AWDC3	〃	1	有	網入り透明ガラス6.8mm
AWDC4	〃	1	有	網入り透明ガラス6.8mm
AD C1	〃	1	有	フロートガラス3mm
AD C2	〃	1	無	網入り透明ガラス6.8mm
AD101	〃	1	無	網入り透明ガラス6.8mm
AW C1	〃	1	有	フロートガラス3mm
AW C2	〃	1	有	フロートガラス3mm
AW C3	〃	1	有	フロートガラス3mm
AW C4	〃	1	有	フロートガラス3mm
AW C5	〃	1	有	網入り透明ガラス6.8mm
AW C6	〃	1	有	フロートガラス3mm
AW C7	〃	1	有	フロートガラス3mm
AW C8	〃	1	無	網入り透明ガラス6.8mm
AW C9	〃	1	無	網入り透明ガラス6.8mm
AW C10	〃	1	有	フロートガラス3mm
AW C11	〃	1	無	フロートガラス3mm
AW C12	〃	1	有	フロートガラス3mm
AW C13	〃	1	有	網入り透明ガラス6.8mm
AW C14	〃	1	無	網入り透明ガラス6.8mm
AW101	〃	1	有	網入り透明ガラス6.8mm
AW102	〃	1	有	網入り透明ガラス6.8mm
AW103	〃	1	無	網入り透明ガラス6.8mm
AW104	〃	1	有	網入り透明ガラス6.8mm
AW105	〃	1	無	網入り透明ガラス6.8mm

内部建具

建具番号	形式	個数	幅(mm)	×	高さ(mm)	ガラス	欄間の有無	備考
WD101	片開き戸	1	800	×	1900	フロートガラス2mm	無	
WD102	引違い戸	1	1600	×	1900	フロートガラス2mm	無	
WD103	引違い戸	1	1600	×	1900	フロートガラス2mm	無	
WD104	引違い戸	1	1600	×	1900	フロートガラス2mm	無	
WD105	引違い戸	1	1600	×	1900	フロートガラス2mm	無	
WD106	片開き戸	1	800	×	1900	—	無	防音扉 グラスウール入
WD107	片開き戸	1	800	×	1900	—	無	防音扉 グラスウール入
WD108	引違い戸	1	1600	×	1900	フロートガラス2mm	無	
WD109	引違い戸	1	1600	×	1900	フロートガラス2mm	無	
WD110	片開き戸	1	800	×	1900	フロートガラス2mm	無	
WD111	片開き戸	1	800	×	1900	フロートガラス2mm	無	
WD112	引違い戸	1	1600	×	2600	フロートガラス2mm	有	
WD113	引違い戸	1	1600	×	2600	フロートガラス2mm	有	
WD114	引違い戸	1	1600	×	2600	フロートガラス2mm	有	
WD115	引違い戸	1	1600	×	2600	フロートガラス2mm	有	
WD116	引違い戸	1	1600	×	2600	フロートガラス2mm	有	
WD117	引違い戸	1	1600	×	2600	フロートガラス2mm	有	
WD118	引違い戸	1	1600	×	2600	フロートガラス2mm	有	
WD119	引違い戸	1	1600	×	2600	フロートガラス2mm	有	
WD120	片引き戸	1	1650	×	1900	フロートガラス2mm	無	
WD121	引違い戸	1	1600	×	1900	型板ガラス4mm	無	框戸
WD122	引違い戸	1	1600	×	2600	フロートガラス2mm	有	
WD123	引違い戸	1	1600	×	2600	フロートガラス2mm	有	
WD124	引違い戸	1	1105	×	1900	—	無	フラッシュ戸
WD125	引違い戸	1	1105	×	1900	—	無	フラッシュ戸
WD126	引違い戸	1	1600	×	2600	フロートガラス2mm	有	
WD127	片引き戸	1	1510	×	1800	—	無	フラッシュ戸
AC101	アコーディオンカーテン	1	3300	×	2700	—	無	
AC102	アコーディオンカーテン	1	1700	×	1800	—	無	
W101	三方枠	1	4300	×	2600	—	無	
W102	三方枠	1	3950	×	2600	—	無	
W103	三方枠	1	4000	×	2600	—	無	
WW101	カウンター窓	1	2000	×	1000	フロートガラス2mm	無	
WW102	欄間窓	2	1650	×	660	フロートガラス2mm	—	
WW103	欄間窓	2	1725	×	660	フロートガラス2mm	—	

※木製額縁 共 撤去

記号	形式・数量 使用箇所	形状
AWD 101	引分け戸 1 来客・職員玄関	
AWD 102	引分け戸 1 小学部玄関	
AWD 103	引分け戸 1 小学部玄関ホール	
AWD C1	欄間付 引違い窓+引違い戸 1 相談支援室	
AWD C2	欄間付 引違い窓+引違い戸 1 教室(低学年)	
AWD C3	欄間付 引違い窓+引違い戸 1 教室(中学年)	
AWD C4	欄間付 引違い窓+引違い戸 1 教室(高学年)	
AW 101	欄間付 引違い窓+FIX窓 1 プレイルーム	
AW 102	欄間付 引違い窓 1 プレイルーム	
AW 103	段窓 1 プレイルーム	
AW 104	欄間付 引違い窓 1 プレイルーム	
AW 105	欄間付 引違い窓 1 保健室	
AW C1	欄間付 引違い窓 1 職員室	
AW C2	欄間付 引違い窓 1 職員室	
AW C3	欄間付 引違い窓 1 職員室	
AW C4	欄間付 引違い窓 1 保健室	
AW C5	欄間付 引違い窓 1 廊下	
AW C6	FIX窓 1 校長室	
AW C7	欄間付 引違い窓+FIX窓 1 校長室	
AW C8	欄間付 引違い窓 1 プレイルーム	
AW C9	欄間付 引違い窓 1 倉庫	
AW C10	欄間付 引違い窓 1 準備室	
AW C11	欄間付 引違い窓 1 活動室3	
AW C12	欄間付 引違い窓 1 洗濯室	
AW C13	欄間付 引違い窓 1 図書室	
AW C14	欄間付 引違い窓 1 図書室	
AD 101	欄間付 引違い戸 1 プレイルーム	
AD C1	欄間付 引違い戸 1 保健室	
AD C2	引違い戸 1 廊下	

P…アルミパネル部分を示す
F…ＦＩＸガラスを示す

山梨大学施設・環境部

担当

ACA 株式会社 エーシーエー設計
一級建築士事務所登録（広野） 1級27312号
管理建築士 一級建築士登録 第208750号 関口 浩昇
〒381-0012 長野市稲荷山2360番地4 TEL 026(296)8300
設計体制及び検査

検査員	設計担当 責任者	担当者	担当者
湯本	村田 兼岩		

設計者 氏名 一級建築士登録 第279740号 村田

設計業務名 山梨大学（武田１（附特））校舎（小・中学部）改修設計業務

工事名 山梨大学(武田１(附特))校舎(小学部)改修工事
図面名 建具表(改修前)

縮尺 A1 : 1/100 A3 : 1/200

図面番号 A－24

凡例

- AWD 1 新設の建具を示す
- AWD C1 既存建具 改修(カバー工法、塗装替え)の建具を示す

1.建具の種類と符号

WD 木製戸	SP スチール製パーティション	FSS 防火重量シャッター	TS 耐火スクリーン(特定防火設備認定品)
WW 木製窓	SSD ステンレス製戸	AD アルミ製戸	
SD 鋼製戸	SSW ステンレス製窓	AW アルミ製窓	SM 防煙垂壁
LD 鋼製軽量戸	SSG ステンレス製ガラリ	AG アルミ製ガラリ	MSH 可動式防煙垂壁
LHD 鋼製軽量吊戸(自閉式)	SS 重量シャッター	ACW アルミ製カーテンウォール	SLW 移動間仕切(スライディングウォール)
SW 鋼製窓	LS 軽量シャッター		GW サスペンション ガラス窓
SG 鋼製ガラリ		AP アルミ製パーティション	
SCW 鋼製カーテンウォール		TB トイレブース	

2.ガラスの種類と符号

FL フロートガラス	D 複層ガラス	LE Low-Eガラス	
F 型板ガラス	GB ガラスブロック	FT 型板強化ガラス	
R 熱線反射ガラス	FWL 網入透明ガラス	PWC 網入透明ガラス	
AR 熱線吸収反射板ガラス	FML 網入型板ガラス	FR フロストガラス	
HR 高性能熱線反射ガラス	AWL 熱線吸収網入磨き板ガラス	ST 学校用強化ガラス	
T 強化ガラス	PB ポリカーボネート系合成樹脂板		
HS 倍強度ガラス	B 防音合わせガラス		
L 合わせガラス	DSHA倍強度熱線吸収ガラス		

※複層ガラス(A:空気層)
※LEは室内側とする

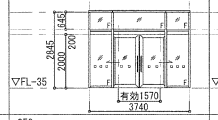
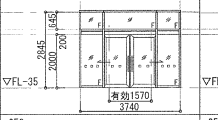
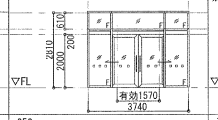
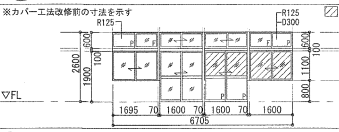
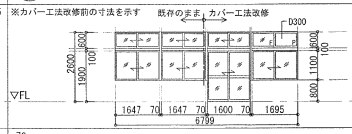
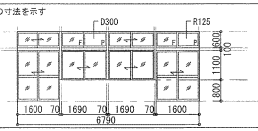
3.仕上

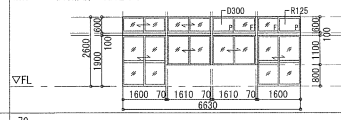
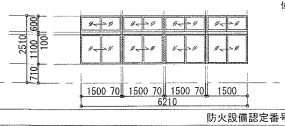
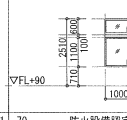
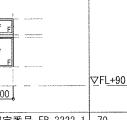
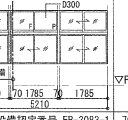
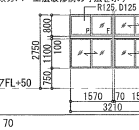
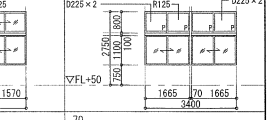
A アルミ酸化皮膜処理(シルバー)	V バイブレーション	
AC アルミ電解着色処理(カラー)	P アルミ複合パネル t=4	
EP-G 艶有合成樹脂エマルジョン	WP 木調鋼板塗装(化粧鋼板)	
E-DE フッ素樹脂焼付塗装	CL クリアラッカー	
DP(I級) 耐候性塗料塗り	MP メラミン化粧板	
C ビニルクロス貼り	PP ポリエステル化粧板	
HL ヘアライン	NW 天然木練付合板	
M 鏡面	PU ポリウレタン塗装	

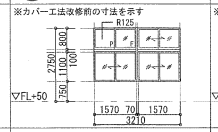
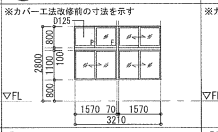
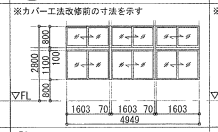
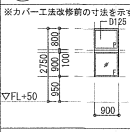
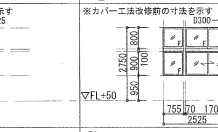
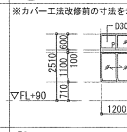
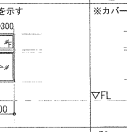
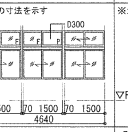
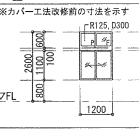
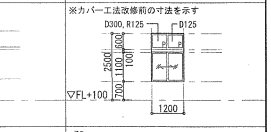
特記事項

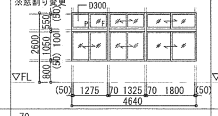
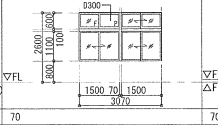
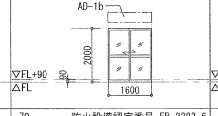
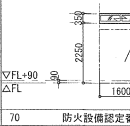
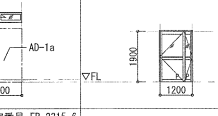
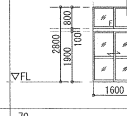
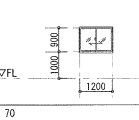
- ※ FはＦＩＸガラスを示す。
- ※ ガラス押えはシール押えとする。
- ※ パネル部表記Rはドレン管・冷媒管開口を示す。数字は径を示す
- ※ パネル部表記Dはダクト開口を示す。数字は径を示す
  (なお、開口寸法は機械設備と打ち合わせの上 計画のこと。)
- ※ カバー工法改修により、狭まる開口幅・高さについては10cm程度を目安とすること。
  カバー工法改修のサッシについては特記なき限り改修前の窓割りと同様とする。
- ※ 外部サッシに設置するガラリ部は表面高耐食重防メッキ鋼板t=1.6、現場発泡ウレタンt=15吹付、フランジ付の事。
  また、設備ダクト接続以外のガラリ部裏面はアルミパネルt=2.0、現場発泡ウレタンt=15吹付とする。

※ ST、FT、LEを室内側とする
※ 欄間パネル部分下部へロールスクリーン設置予定。
設置予定位置へ取付け用の補強材を計画のこと。

記号 / 形式・数量 / 使用箇所	AWD 1 引分け戸 1 来客・職員玄関	AWD 2 引分け戸 1 小学部玄関	AWD 3 引分け戸 1 小学部玄関ホール	AWD C1 欄間付 引違い窓+引違い戸 1 相談支援室	AWD C2 欄間付 引違い窓+引違い戸 1 教室(低学年)	AWD C3 欄間付 引違い窓+引違い戸 1 教室(中学年)
形状				※カバー工法改修前の寸法を示す 	※カバー工法改修前の寸法を示す 既存のまま カバー工法改修 	※カバー工法改修前の寸法を示す 
材料及見込	250	250	250	70	70	70
仕上	アルミ(シルバー)+集成材(ウレタンクリア塗装)	アルミ(シルバー)+集成材(ウレタンクリア塗装)	アルミ(シルバー)+集成材(ウレタンクリア塗装)	アルミ(シルバー)	アルミ(シルバー)	アルミ(シルバー)
硝子	ST5+A6+FL5	ST5+A6+FL5	ST5+A6+FL5	ST4+A6+FL5 一部 FT4+A6+FL5	ST4+A6+FL5	ST4+A6+FL5
金物	本締錠、ハンガーレール、引手、	本締錠、ハンガーレール、引手、	本締錠、ハンガーレール、引手、	クレセント、付属金物一式	クレセント、付属金物一式	クレセント、付属金物一式
付属品	ガイドローラー、付属金物一式	ガイドローラー、付属金物一式	ガイドローラー、付属金物一式	網戸	網戸	網戸
備考	衝突防止マーカー	衝突防止マーカー	衝突防止マーカー	アルミ断熱パネルt=18	アルミ断熱パネルt=18	アルミ断熱パネルt=18

記号 / 形式・数量 / 使用箇所	AWD C4 欄間付 引違い窓+引違い戸 1 教室(高学年)	AW 1 欄間付 引違い窓+FIX窓 1 プレイルーム	AW 2 欄間付 引違い窓 1 プレイルーム	AW 3 段窓 1 プレイルーム	AW 4 欄間付 引違い窓 1 プレイルーム	AW 5 欄間付 引違い窓 1 保健室	AW C1 欄間付 引違い窓 1 職員室	AW C2 欄間付 引違い窓 1 職員室
形状	※カバー工法改修前の寸法を示す 	▨…防火設備連結材位置を示す	▨…防火設備連結材位置を示す 			※窓割り変更 ▨…防火設備連結材 位置を示す 	※カバー工法改修前の寸法を示す 	※カバー工法改修前の寸法を示す 
材料及見込	70	70 防火設備認定番号 EB-3083-1	70 防火設備認定番号 EB-3083-1	70 防火設備認定番号 EB-3322-1	70 防火設備認定番号 EB-3083-1	70 防火設備認定番号 EB-3083-1	70	70
仕上	アルミ(シルバー)	アルミ(シルバー)	アルミ(シルバー)	アルミ(シルバー)	アルミ(シルバー)	アルミ(シルバー)	アルミ(シルバー)	アルミ(シルバー)
硝子	ST4+A6+FL5	LE5+A12+PWC6.8	LE5+A12+PWC6.8	LE5+A12+PWC6.8	LE5+A12+PWC6.8	LE5+A12+PWC6.8	ST4+A6+FL5	ST4+A6+FL5
金物	クレセント、付属金物一式	クレセント、付属金物一式	クレセント、付属金物一式	付属金物一式	クレセント、付属金物一式	クレセント、付属金物一式	クレセント、付属金物一式	クレセント、付属金物一式
付属品	網戸	網戸	網戸	—	網戸	網戸	網戸	網戸
備考	アルミ断熱パネルt=18	アルミ断熱パネルt=18、防火設備	防火設備	防火設備	防火設備	アルミ断熱パネルt=18、防火設備	アルミ断熱パネルt=18	アルミ断熱パネルt=18

記号 / 形式・数量 / 使用箇所	AW C3 欄間付 引違い窓 1 職員室	AW C4 欄間付 引違い窓 1 保健室	AW C5 欄間付 引違い窓 1 廊下	AW C6 FIX窓 1 事務室	AW C7 欄間付 引違い窓+FIX窓 1 事務室	AW C8 欄間付 引違い窓 1 プレイルーム	AW C9 欄間付 引違い窓 1 倉庫	AW C10 欄間付 引違い窓 1 準備室	AW C11 欄間付 引違い窓 1 活動室3	AW C12 欄間付 引違い窓 1 洗濯室
形状	※カバー工法改修前の寸法を示す 	※カバー工法改修前の寸法を示す 	※カバー工法改修前の寸法を示す 	※カバー工法改修前の寸法を示す 	※カバー工法改修前の寸法を示す 	※カバー工法改修前の寸法を示す 	※カバー工法改修前の寸法を示す 	※カバー工法改修前の寸法を示す 	※カバー工法改修前の寸法を示す 	※カバー工法改修前の寸法を示す 
材料及見込	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70
仕上	アルミ(シルバー)	アルミ(シルバー)	アルミ(シルバー)	アルミ(シルバー)	アルミ(シルバー)	アルミ(シルバー)	アルミ(シルバー)	アルミ(シルバー)	アルミ(シルバー)	アルミ(シルバー)
硝子	ST4+A6+FL5	ST4+A6+FL5	ST4+A6+FL5	ST4+A6+FL5	ST4+A6+FL5	ST4+A6+FL5	FT4+A6+FL5、欄間：ST4+A6+FL5	FT4+A6+FL5、欄間：ST4+A6+FL5	FT4+A6+FL5、欄間：ST4+A6+FL5	FT4+A6+FL5
金物	クレセント、付属金物一式	クレセント、付属金物一式	クレセント、付属金物一式	付属金物一式	クレセント、付属金物一式	クレセント、付属金物一式	クレセント、付属金物一式	クレセント、付属金物一式	クレセント、付属金物一式	クレセント、付属金物一式
付属品	網戸	網戸	網戸	—	網戸	網戸	網戸	網戸	網戸	網戸
備考	アルミ断熱パネルt=18	アルミ断熱パネルt=18	—	アルミ断熱パネルt=18	アルミ断熱パネルt=18	アルミ断熱パネルt=18	アルミ断熱パネルt=18	アルミ断熱パネルt=18	アルミ断熱パネルt=18	アルミ断熱パネルt=18

記号 / 形式・数量 / 使用箇所	AW C13 欄間付 引違い窓 1 活動室1、2	AW C14 欄間付 引違い窓 1 活動室1	AD 1a 欄間付 引違い戸 1 プレイルーム	AD 1b 欄間付 引違い戸 1 プレイルーム	AD 2 親子扉 1 用務員室	AD C1 欄間付 引違い戸 1 保健室	AD C2 引違い戸 1 廊下		AW 6 カウンター窓 1 事務室	
形状	※カバー工法改修前の寸法を示す ※窓割り変更 	※カバー工法改修前の寸法を示す 	AD-1b 							
材料及見込	70	70	70 防火設備認定番号 EB-2393-6	70 防火設備認定番号 EB-2315-6	—	70	70		70	
仕上	アルミ(シルバー)	アルミ(シルバー)	アルミ(シルバー)	アルミ(シルバー)	—	アルミ(シルバー)	アルミ(シルバー)		アルミ(シルバー)	
硝子	FT4+A6+FL5、欄間：ST4+A6+FL5	FT4+A6+FL5、欄間：ST4+A6+FL5	LE5+A12+PWC6.8	LE5+A12+PWC6.8	ST4	ST4+A6+FL5	ST4+A6+FL5		FL3	
金物	クレセント、付属金物一式	クレセント、付属金物一式	クレセント、付属金物一式	クレセント、付属金物一式	—	クレセント、付属金物一式	クレセント、付属金物一式		クレセント、アルミフラット下枠、戸車、	
付属品	網戸、塞ぎ板(スチール)SOP塗装 1箇所	網戸	網戸	—	—	網戸	—		付属金物一式	
備考	アルミ断熱パネルt=18	アルミ断熱パネルt=18	防火設備	防火設備	ガラス入替え	アルミ断熱パネルt=18	アルミ断熱パネルt=18		—	

記号 / 形式・数量 / 使用箇所	
形状	
材料及見込	
仕上	
硝子	
金物	
付属品	
備考	

担当	山梨大学施設・環境部	ACA株式会社 エー・シー・エー設計 一級建築士事務所(長野) 登録第7312号 管理建築士 一級建築士登録 第208750号 開口 浩男 〒381-0012 長野市穂保2360番地4 TEL 026(295)8300	設計 業務名 山梨大学（武田１（附特））校舎（小・中学部）改修設計業務
		設計体制及び検査 検定員 湯本 / 設計担当 責任者 村田 / 担当者 兼岩 / 担当者	設計者 氏名 一級建築士登録 第279740号 村田

工事名	山梨大学(武田１(附特))校舎(小学部)改修工事	
図面名	建具表(1)(改修後)	
縮尺	A1 : 1/100 A3 : 1/200	図面番号 A- 25

凡例

AWD 1	新設の建具を示す
AWD C1	既存建具 改修(カバー工法、塗装替え)の建具を示す

1.建具の種類と符号

WD	木製戸	SP	ｽﾁｰﾙ製ﾊﾟｰﾃｨｼｮﾝ	FSS	防火重量シャッター	TS	耐火スクリーン(特定防火設備認定品)
WW	木製窓	SSD	ステンレス製戸	AD	アルミ製戸		
SD	鋼製戸	SSW	ステンレス製窓	AW	アルミ製窓	SM	防煙垂壁
LD	鋼製軽量戸	SSG	ステンレス製ガラリ	AG	アルミ製ガラリ	MSH	可動式防煙垂壁
LHD	鋼製軽量吊戸(自閉式)	SS	重量シャッター	ACW	アルミ製カーテンウォール	SLH	移動間仕切(ｽﾗｲﾃﾞｨﾝｸﾞ ｳｫｰﾙ)
SW	鋼製窓	LS	軽量シャッター	AP	アルミ製ﾊﾟｰﾃｨｼｮﾝ	GW	サスペンションガラス窓
SG	鋼製ガラリ			TB	トイレブース		
SCW	鋼製カーテンウォール						

2.ガラスの種類と符号

FL	フロートガラス	D	複層ガラス	LE	Low-Eガラス
F	型板ガラス	GB	ガラスブロック	FT	型板強化ガラス
R	熱線反射ガラス	FWL	線入透明ガラス	PWC	網入透明ガラス
AR	熱線吸収反射板ガラス	FML	線入型板ガラス	FR	フロストガラス
HR	高性能熱線反射ガラス	AWL	熱線吸収線入焼き板ガラス	ST	学校用強化ガラス
T	強化ガラス	PB	ﾎﾟﾘﾏｰﾎﾞｰﾄﾞ系合成樹脂板		
HS	倍強度ガラス	B	防音合わせガラス		
L	合わせガラス	DSHA	倍強度熱線吸収ｶﾞﾗｽ		

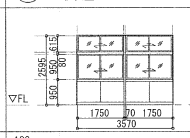
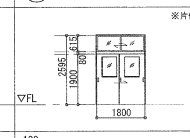
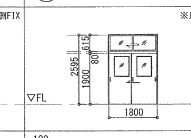
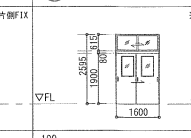
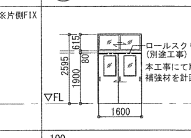
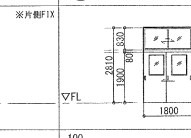
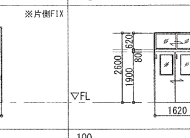
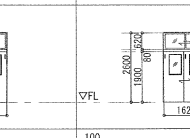
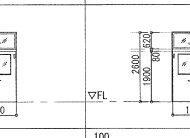
※複層ガラス(A:空気層)
※LEは室内側とする

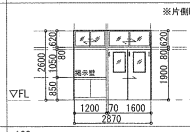
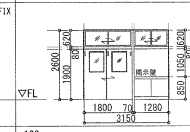
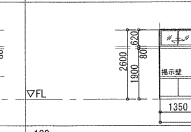
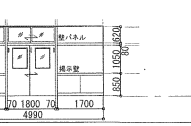
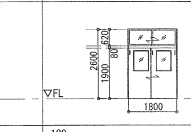
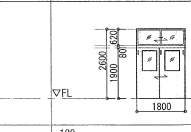
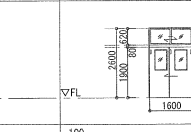
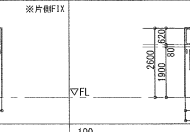
3.仕上

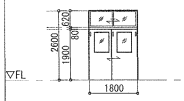
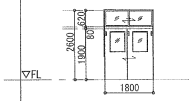
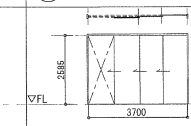
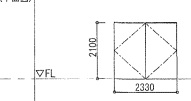
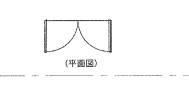
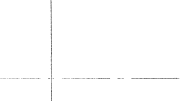
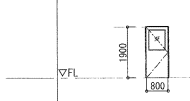
A	アルミ酸化皮膜処理(ｼﾙﾊﾞｰ)	V	バイブレーション
AC	アルミ電解着色処理(ｶﾗｰ)	P	アルミ複合パネル t=4
EP-G	艶有合成樹脂エマルション	WP	木調鋼板塗装(化粧鋼板)
F-BE	フッ素樹脂焼付塗装	CL	クリアラッカー
DP(1級)	耐候性塗料塗り	MP	メラミン化粧板
C	ビニルクロス貼り	PP	ポリエステル化粧板
HL	ヘアライン	NW	天然木練付合板
M	鏡面	PU	ポリウレタン塗装

特記事項

※ FはＦＩＸガラスを示す。
※ 学校押えはシール押えとする。

記号	形式・数量 使用箇所	SP 1 学校用間仕切 1 校長室	SP 2 学校用間仕切 1 校長室	SP 3 学校用間仕切 1 職員室	SP 4 学校用間仕切 1 メディアルーム	SP 5 学校用間仕切 1 保健室	SP 6 学校用間仕切 1 職員室	SP 7 学校用間仕切 1 事務室	SP 8 学校用間仕切 1 プレイルーム	SP 9 学校用間仕切 1 プレイルーム	SP 10 学校用間仕切 1 倉庫
形状			※片側FIX 	※片側FIX 	※片側FIX 	※片側FIX  ロールスクリーン取付け(別途工事) 本工事にて取付け用の補強材を計画のこと。	※片側FIX	※片側FIX 			
材料及見込		100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
仕上		枠：焼付塗装鋼板	枠：焼付塗装鋼板 引戸：木製建具	枠：焼付塗装鋼板 引戸：木製建具	枠：焼付塗装鋼板 引戸：木製建具	枠：焼付塗装鋼板 引戸：木製建具	枠：焼付塗装鋼板 引戸：木製建具	枠：焼付塗装鋼板 引戸：木製建具	枠：焼付塗装鋼板 引戸：木製建具	枠：焼付塗装鋼板 引戸：木製建具	枠：焼付塗装鋼板 引戸：木製建具
硝子		FT4、欄間：FL3	FT4、欄間：FL3	ST4、欄間：FL3	ST4、欄間：FL3	FT4、欄間：FL3	ST4、欄間：FL3	ST4、欄間：FL3	ST4、欄間：FL3	ST4、欄間：FL3	FT4、欄間：FL3
金物		クレセント、付属金物一式	引手、錠A、クレセント、付属金物一式	引手、錠A、クレセント、付属金物一式	引手、錠A、クレセント、付属金物一式	引手、錠A、クレセント、付属金物一式	引手、錠A、クレセント、付属金物一式	引手、錠A、クレセント、付属金物一式	引手、錠B、クレセント、付属金物一式	引手、錠B、クレセント、付属金物一式	引手、錠B、クレセント、付属金物一式
付属品		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
備考		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

記号	形式・数量 使用箇所	SP 11 学校用間仕切 1 相談支援室	SP 12 学校用間仕切 1 教室(低学年)	SP 13 学校用間仕切 1 教室(低学年)	SP 14 学校用間仕切 1 準備室	SP 15 学校用間仕切 1 活動室3	SP 16 学校用間仕切 1 洗濯室	SP 17 学校用間仕切 1 教室(中学年)	SP 18 学校用間仕切 1 教室(高学年)
形状		※片側FIX 					※片側FIX 		
材料及見込		100	100	100	100	100	100	100	100
仕上		枠：焼付塗装鋼板 引戸：木製建具	枠：焼付塗装鋼板 引戸：木製建具	枠：焼付塗装鋼板 引戸：木製建具	枠：焼付塗装鋼板 引戸：木製建具	枠：焼付塗装鋼板 引戸：木製建具	枠：焼付塗装鋼板 引戸：木製建具	枠：焼付塗装鋼板 引戸：木製建具	枠：焼付塗装鋼板 引戸：木製建具
硝子		FT4、欄間：FL3	ST4、欄間：FL3	ST4、欄間：FL3	FT4、欄間：FL3	ST4、欄間：FL3	FT4、欄間：FL3	ST4、欄間：FL3	ST4、欄間：FL3
金物		引手、錠B、クレセント、付属金物一式	引手、錠C、クレセント、付属金物一式	引手、錠C、クレセント、付属金物一式	引手、錠B、クレセント、付属金物一式	引手、錠B、クレセント、付属金物一式	引手、錠B、クレセント、付属金物一式	引手、錠C、クレセント、付属金物一式	引手、錠C、クレセント、付属金物一式
付属品		—	—	—	—	—	—	—	—
備考		—	—	欄間部 壁パネルは吊戸棚固定用の合板下地入り	—	—	—	—	—

記号	形式・数量 使用箇所	SP 19 学校用間仕切 1 活動室2	SP 20 学校用間仕切 1 活動室1	SP 21 学校用 多連引戸 1 活動室1	SD 1 防火戸 1 廊下		WD 1 片開き戸 1 職員室	WD 2 親子戸 1 用務員室	WD 3 引違い戸 1 掃除用具入	
形状				(平面図) 	 (平面図)					
材料及見込		100	100	枠：150	—		36	36	36	
仕上		枠：焼付塗装鋼板 引戸：木製建具	枠：焼付塗装鋼板 引戸：木製建具	枠：焼付塗装鋼板 引戸：木製建具	スチール扉		枠：木製 WP-C、戸：PP	枠：木製 WP-C、戸：PP	枠：木製 WP-C、戸：PP	
硝子		ST4、欄間：FL3	ST4、欄間：FL3	—	—		ST4	FT4	—	
金物		引手、錠B、クレセント、付属金物一式	引手、錠B、クレセント、付属金物一式	引手、付属金物一式	—		丁番、シリンダー錠、DC、SUSフラットレール、	丁番、シリンダー錠、DC、SUS下枠、	引手、SUSフラットレール、戸車、	
付属品		—	—	SUSフラットレール	—		レバーハンドル、付属金物一式	レバーハンドル、フランス落とし、付属金物一式	付属金物一式	
備考		—	—	—	塗装塗替えSOP(枠共)		—	—	—	

記号	形式・数量 使用箇所	
形状		SPについて 掲示壁 … 木製フラッシュ 合板下地 掲示クロス(マグネット式) 地窓 … 木製フラッシュパネル 戸 … 木製フラッシュ戸 欄間 … 木製建具 木はヒノキ化粧合板とする SPの鍵について 鍵A … 鍵取り付け位置：通常仕様の高さへ取り付け　鍵の仕様：廊下側シリンダー・室内側サムターン 鍵B … 鍵取り付け位置：FL+1800程度の高さへ取り付け　鍵の仕様：廊下側サムターン・室内側サムターン 鍵C … 鍵取り付け位置：FL+1800程度の高さへ取り付け　鍵の仕様：廊下側シリンダー・室内側サムターン
材料及見込		
仕上		
硝子		
金物		
付属品		
備考		

記号	形式・数量 使用箇所									
形状										
材料及見込										
仕上										
硝子										
金物										
付属品										
備考										

山梨大学施設・環境部

担当

AEA 株式会社 エー・ヨー・エー設計
一級建築士事務所(長野)(い)第27312号
管理建築士 一級建築士登録 第208750号 関口 浪男
〒381-0012 長野市稲荷山2360番地4 TEL 026(296)8300

検査員	設計担当 責任者	担当者	担当者
湯本	村田	兼岩	

設計体制及び検査

設計者 氏名 一級建築士登録 第279740号 村田

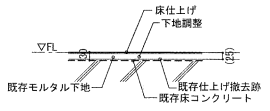
設計業務名 山梨大学(武田1(附特))校舎(小・中学部)改修設計業務

工事名 山梨大学(武田1(附特))校舎(小学部)改修工事
図面名 建具表(2)(改修後)

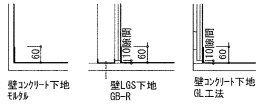
縮尺 A1：1/100 A3：1/200

図面番号 A-26

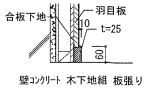
床 仕上げ改修部分 S=1/10



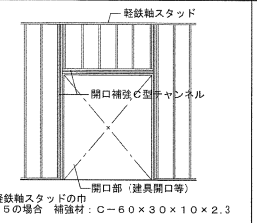
ビニル幅木（ビニル床シート） S=1/10



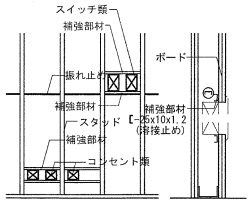
木製幅木（ビニル床シート） S=1/10



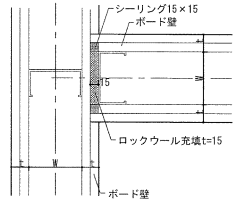
軽鉄間仕切・開口補強 S=1/10



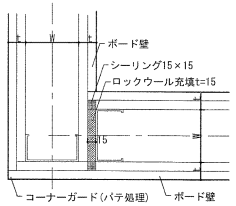
設備埋込ボックス類（スイッチ・コンセント他）開口補強要領 S=1/10



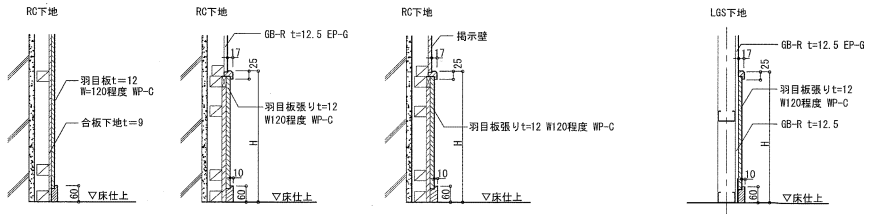
構成材・耐火 耐火間仕切壁交差部分 S=1/5



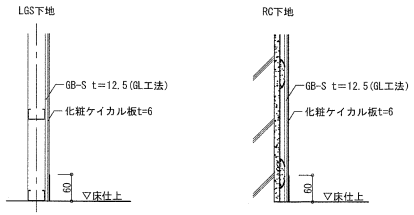
構成材・耐火 耐火間仕切壁コーナー部分 S=1/5



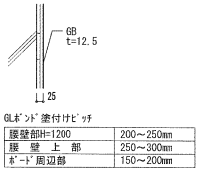
壁 羽目板張り S=1/10



壁 化粧ケイカル板張り S=1/10



GB（GL工法） S=1/10

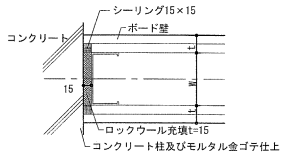


GLボンド塗付けピッチ

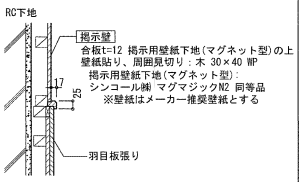
腰壁部H=1200	200～250mm
腰 壁 上 部	250～300mm
ボード周辺部	150～200mm

＊ GBはテーパーボード、ジョイント工法

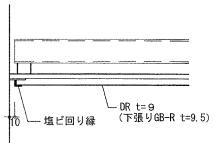
構成材・耐火 耐火間仕切壁 S=1/5



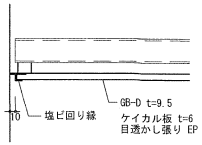
壁 掲示壁



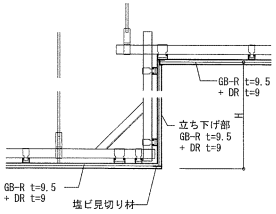
天井 岩綿吸音板 S=1/5



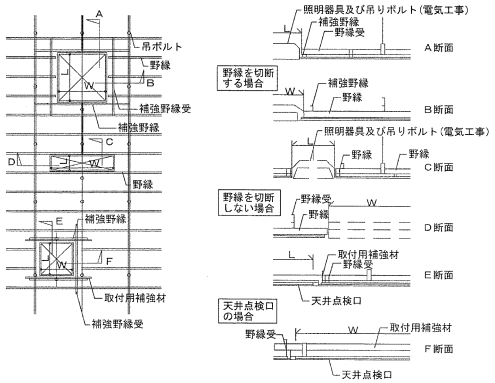
天井 石膏ボード、ケイカル板 S=1/5



天井納まり S=1/10

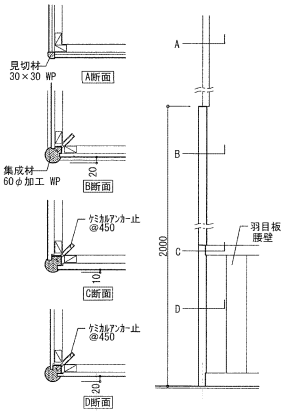


天井開口補強 S=1/20 S=1/50

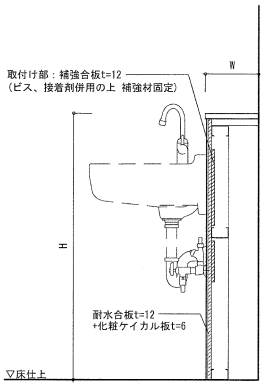


・開口補強は建築工事とする。
・器具の取付は各電気設備工事、機械設備工事とする。但し、天井点検口は建築工事とする。
・補強野縁は野縁と同材とする。
・その他の補強野縁受、取付用補強材は野縁受と同材とする。
・野縁受のはね出しが300以上の場合は横吊りをする。

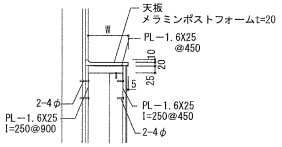
木製 コーナーガード S=1/10



ライニングの補強 S=1/10

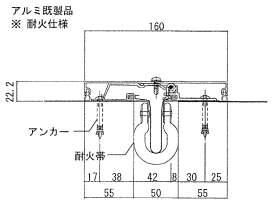


ライニング化粧棚 S=1/10

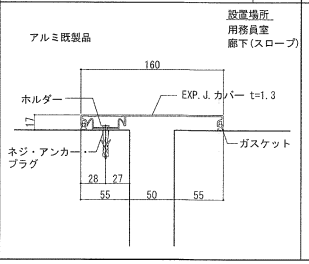


吊下げ カーテンレール S=1/10

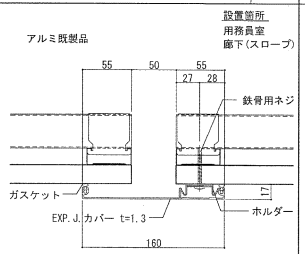
EXP. J. 金物 外壁+外壁 S=1/3



EXP. J. 金物 内壁+内壁 S=1/3



EXP. J. 金物 天井+天井 S=1/3



山梨大学施設・環境部

担当

A.E.A 株式会社 エー・シー・イー設計
一級建築士事務所登録（名古屋）し第27312号
管理建築士 一級建築士登録 第208750号 関口 浩男
〒381-0012 長野市柳原2350番地4 TEL 026(296)8300

検査員	設計体制及び検査 設計責任者	担当者	担当者
湯本	村田	兼岩	

設計者氏名：一級建築士登録 第279740号 村田

設計業務名：山梨大学（武田１（附属））校舎（小・中学部）改修設計業務

工事名：山梨大学(武田１(附属))校舎(小学部)改修工事

図面名：共通詳細図

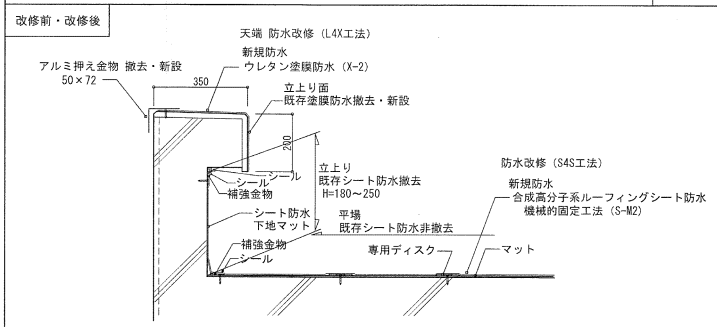
縮尺：A1 : 1/10 A3 : 1/20

図面番号：A－ 27

屋上パラペットA 詳細

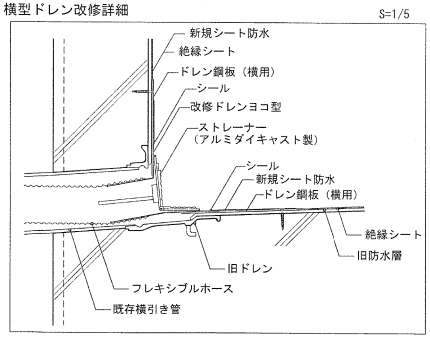
S=1/10

改修前・改修後



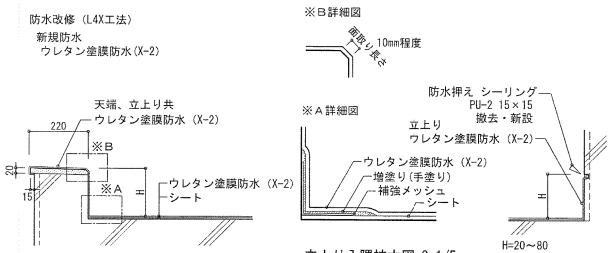
横型ドレン改修詳細

S=1/5



昇降口庇 防水改修詳細図

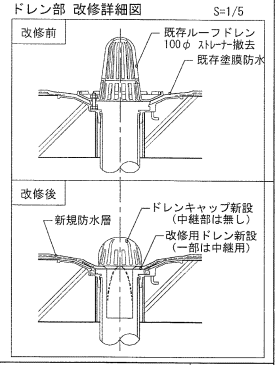
S=1/10



パラペット詳細図　立上り入隅拡大図 S=1/5　壁際詳細

ドレン部 改修詳細図

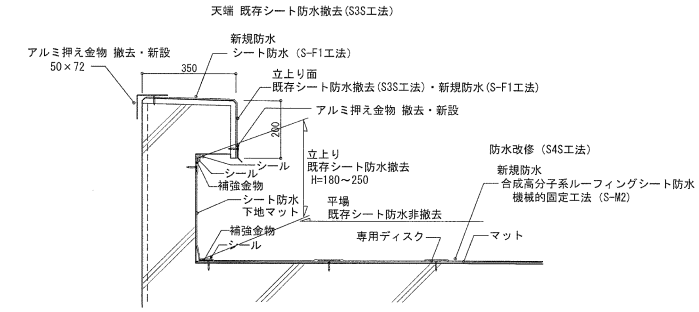
S=1/5



屋上パラペットB 詳細

S=1/10

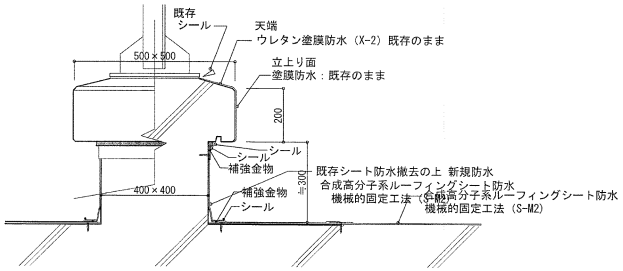
改修前・改修後



太陽光パネル基礎部 詳細

S=1/10

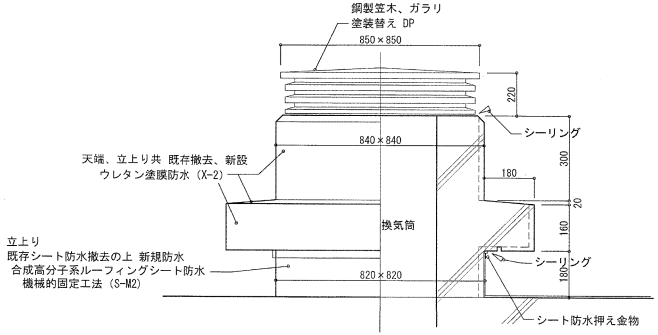
※ 16ヶ所



換気筒部分 改修詳細

S=1/10

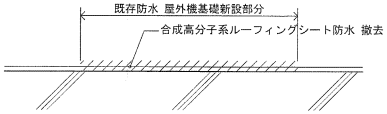
※ 1ヶ所



屋上 屋外機基礎新設部 詳細図

S=1/10

改修前

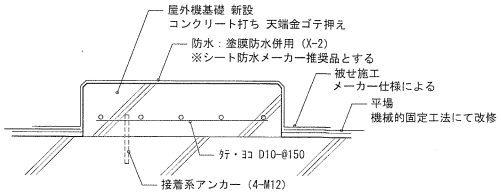


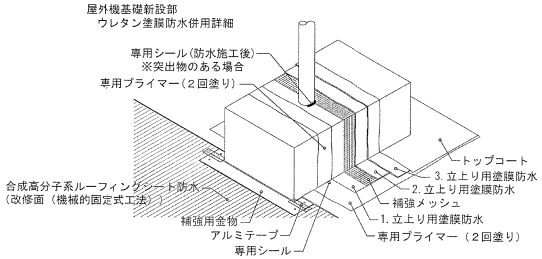
屋外機基礎 新設

設備基礎A	W 1250 D 670 H 150	4ヶ所
設備基礎B	W 1160 D 620 H 150	2ヶ所

コンクリート Fc=21N S-18
鉄筋 SD295A

改修後



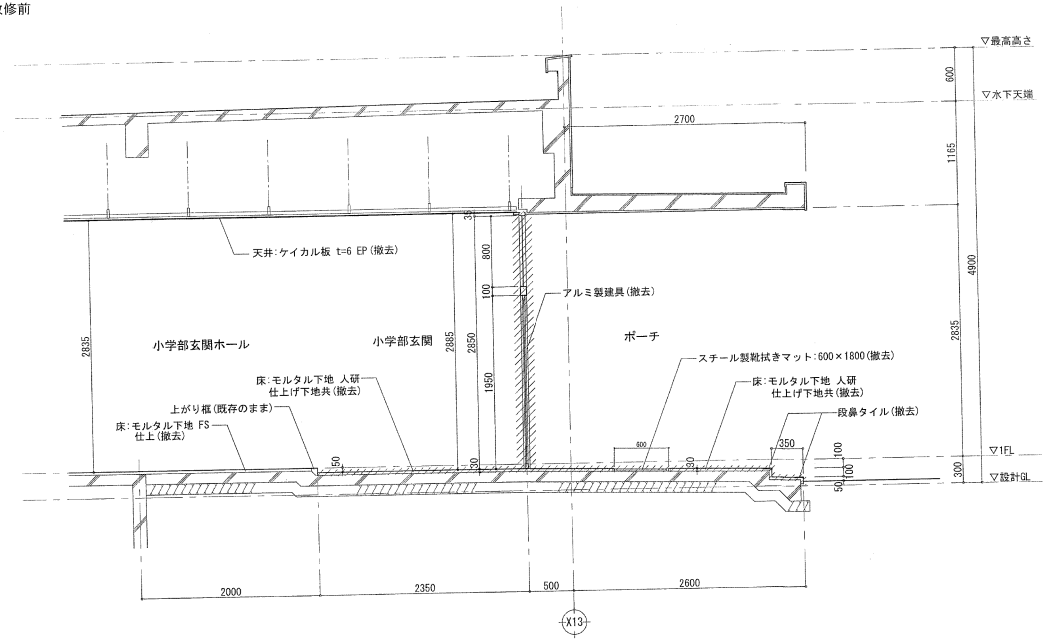


凡例	山梨大学施設・環境部	担当	ACA株式会社 エーシーエー設計 一級建築士事務所登録（長野） L第27312号 管理建築士 一級建築士登録 第206750号 関口 清男 〒381-0012 長野市稲田2360番地4 TEL 026(296)8300	設計業務名	山梨大学（武田1（附特））校舎（小・中学部）改修設計業務	工事名	山梨大学(武田1(附特))校舎(小学部)改修工事 部分詳細図 (1)
			設計体制及び検査 検査員 湯本 / 設計担当責任者 村田 / 担当者 兼岩 / 相当者	設計者氏名	一級建築士登録 第278740号 村田	縮尺	A1 : 1/100 A3 : 1/200
						図面番号	A- 28

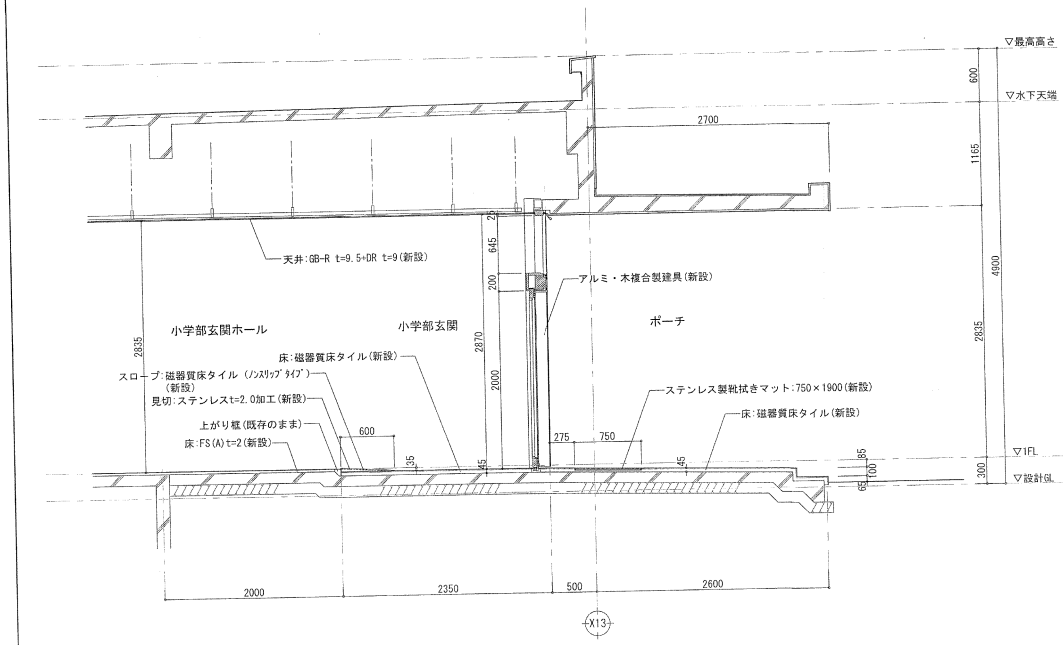
小学部玄関・ポーチ廻り改修詳細図

S=1/30

改修前



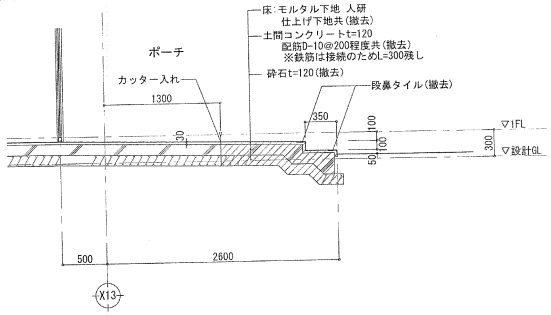
改修後



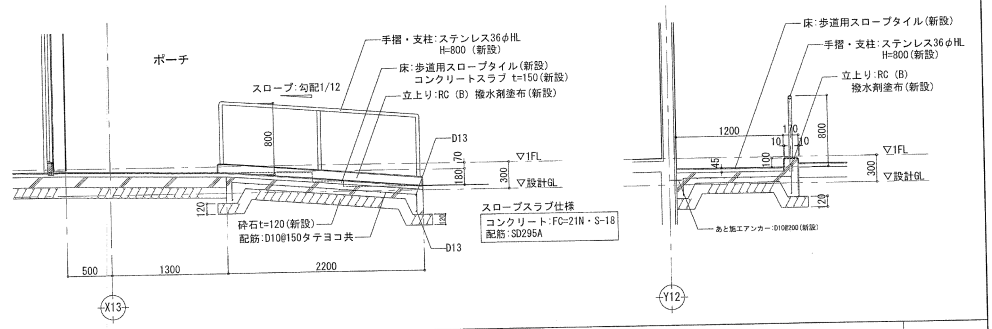
小学部ポーチ部スロープ詳細図

S=1/30

改修前



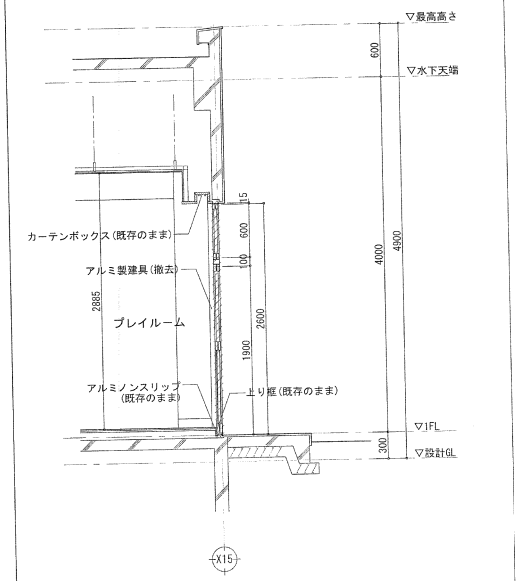
改修後



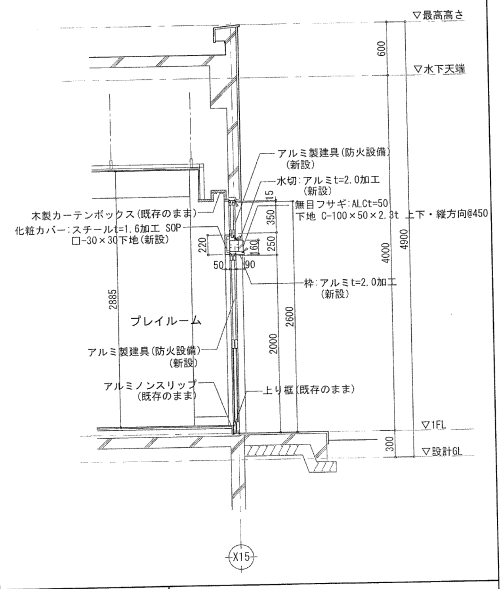
プレイルーム外部アルミ製建具改修詳細図

S=1/30

改修前



改修後



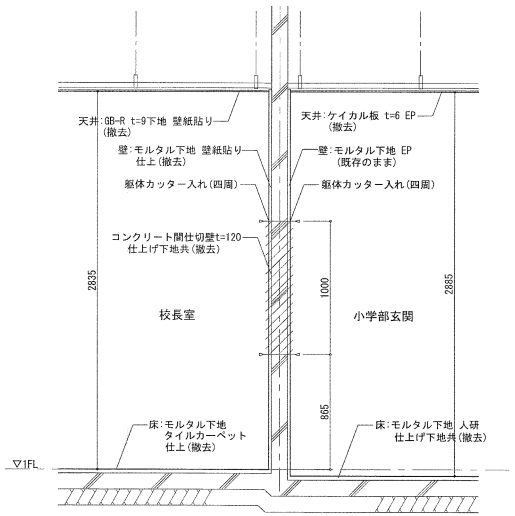
山梨大学施設・環境部	担当	ACA 株式会社 エーシーエ設計 一級建築士事務所登録(長野) 1第27312号 管理建築士 一級建築士登録 第206750号 鍋口 浪男 〒381-0012 長野市柳原2360番地4 TEL.026(296)8300 設計体制及び検査 検査員 湯本 / 設計担当責任者 村田 / 担当者 / 担当者 兼岩	設計業務名: 山梨大学(武田1(附特))校舎(小・中学部)改修設計業務 設計者氏名: 一級建築士登録 第278740号 村田

工事名: 山梨大学(武田1(附特))校舎(小学部)改修工事
図面名: 部分詳細図(2)
縮尺: A1 : 1/30 / A3 : 1/60
図面番号: A- 29

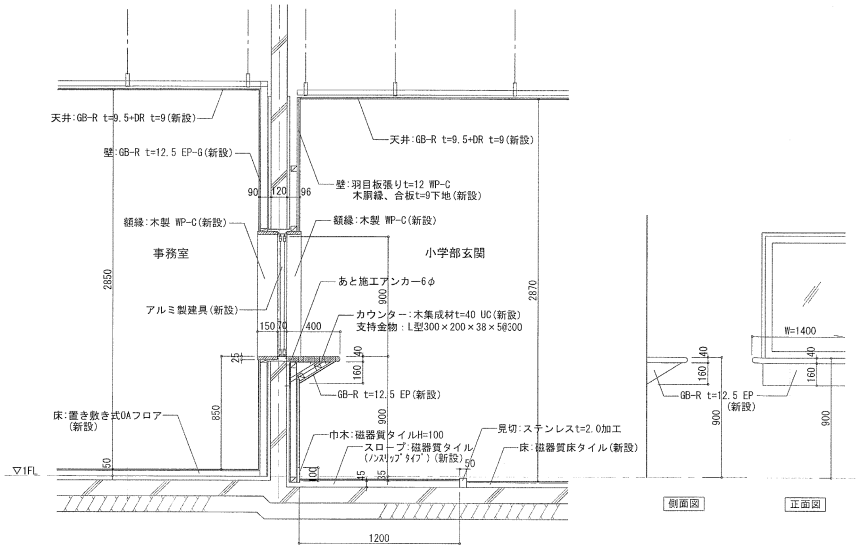
小学部玄関受付カウンター詳細図

S=1/20

改修前



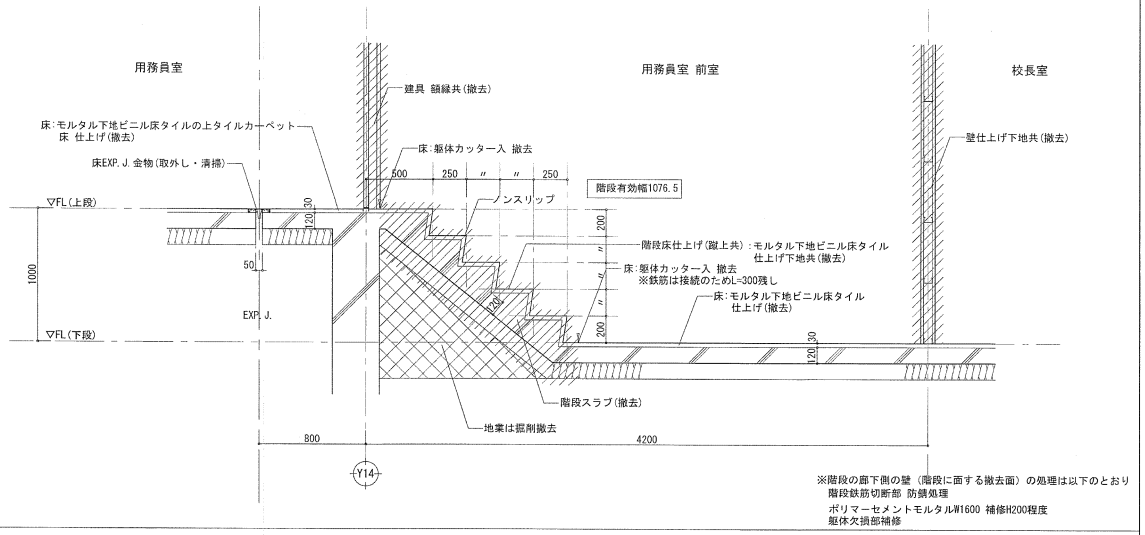
改修後



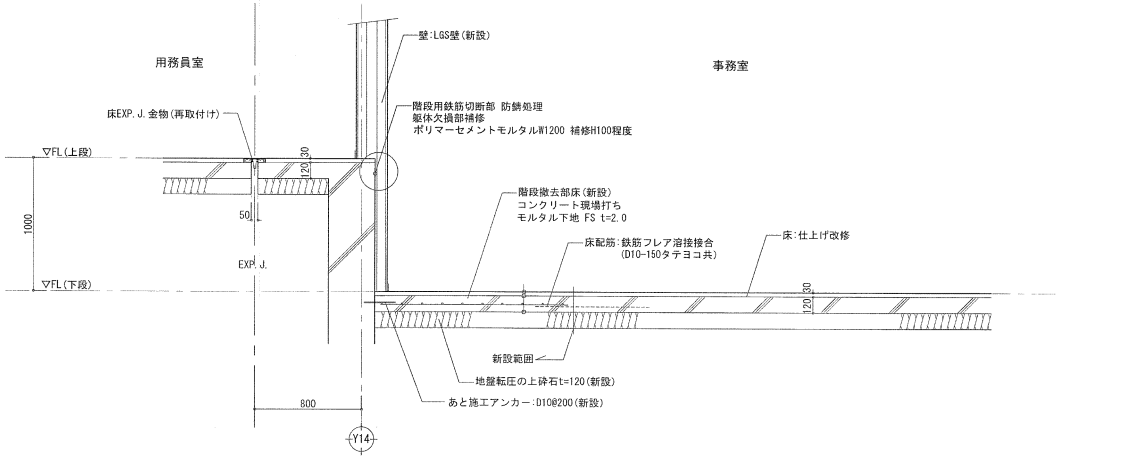
階段撤去 詳細図

S=1/20

改修前

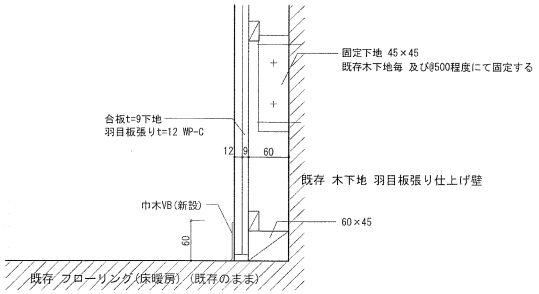


改修後



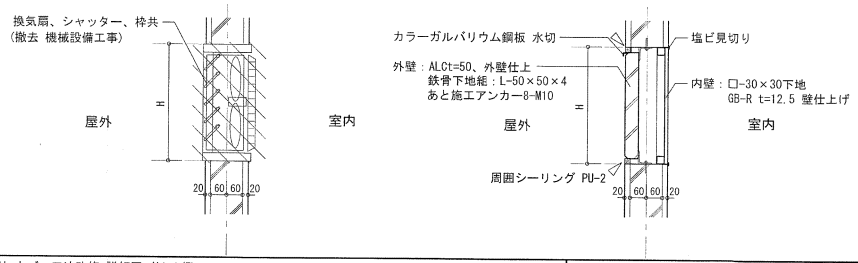
プレイルーム壁ふかし 詳細図

S=1/4



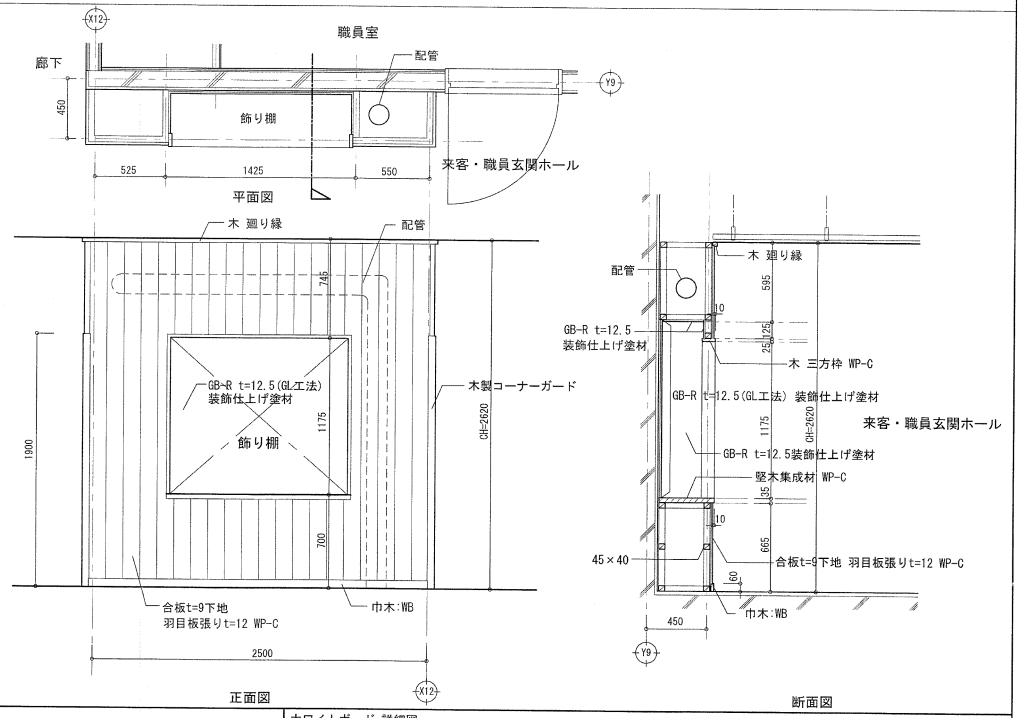
山梨大学施設・環境部	ACA 株式会社 エー・シー・エー設計 一級建築士事務所(表示) L第2312号 管理建築士 一級建築士登録 第208750号 関口 浦男 〒381-0012 長野市柳原2360番地4 TEL 026(296)8300	設計業務名: 山梨大学(武田1(附特))校舎(小・中学部)改修設計業務	工事名: 山梨大学(武田1(附特))校舎(小学部)改修工事 図面名: 部分詳細図(3)
担当	設計体制及び検査 検査員: 湯本 / 設計担当 責任者: 村田 / 担当者: 兼岩 / 担当者:	設計者 氏名: 一級建築士登録 第279740号 村田	縮尺: A1 : 1/20 A3 : 1/40
			図面番号: A- 30

外壁開口閉塞部 詳細図 (A1:1/10)

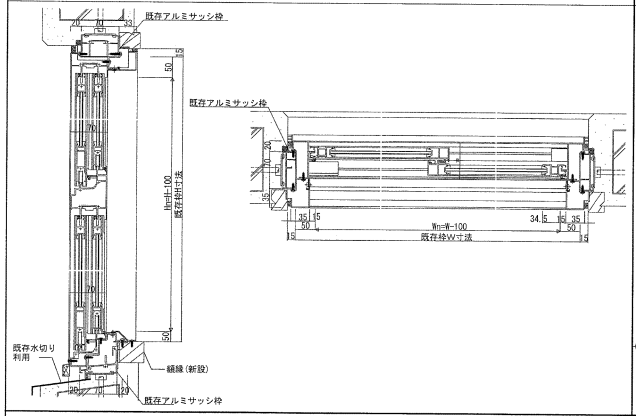


大きさ・箇所数
300×300 5箇所
200×200 2箇所
300×200 1箇所

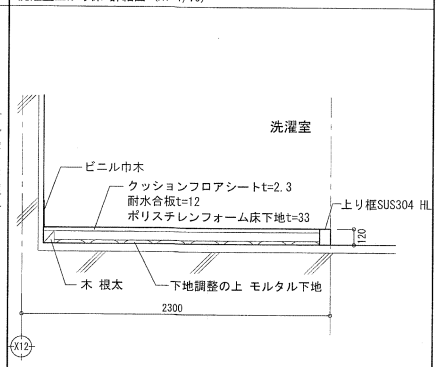
飾り棚 詳細図 (A1:1/20)



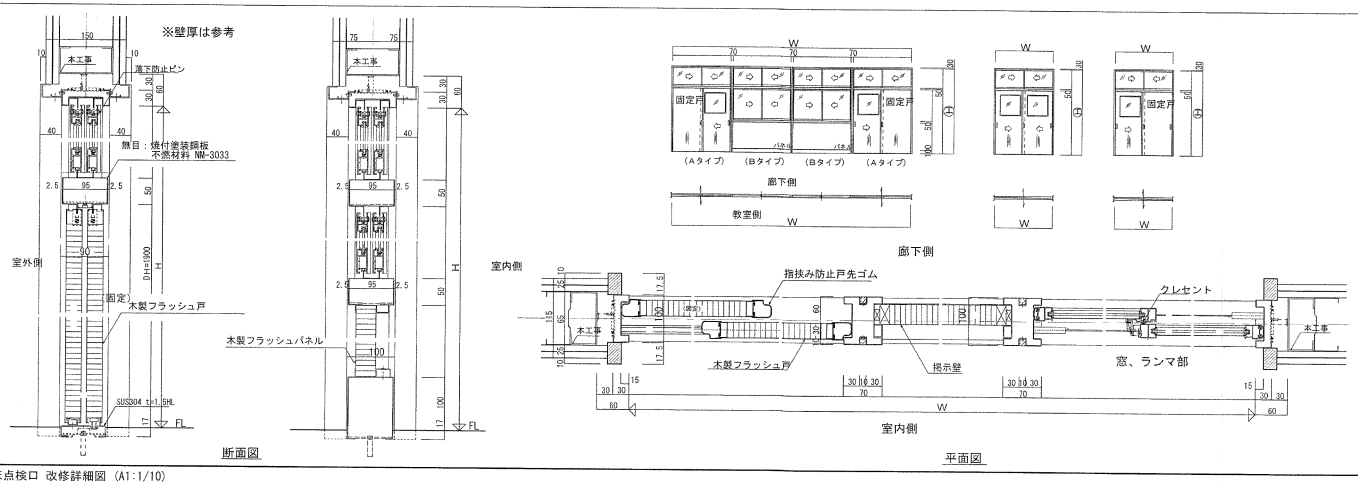
サッシ廻り カバー工法改修 詳細図 (A1:1/5)



洗濯室上がり床 詳細図 (A1:1/10)



学校用間仕切建具 詳細図(参考図) (A1:1/5)



ホワイトボード 詳細図

下記のホワイトボードを設置。

設置場所	幅(mm)×高さ(mm)	数量	仕様
教室(高学年)	3000×900	1	A
	3600×900	1	A
教室(中学年)	2700×900	1	A
	3600×900	1	A
教室(低学年)	3600×900	1	A

設置場所	幅(mm)×高さ(mm)	数量	仕様
相談支援室	3600×900	1	A
プレイルーム	4500×1200	1	A
校長室	1200×900	1	A
職員室	3600×1800	1	B

仕様A：壁掛け白板、ホーロー白板、アルミ枠

仕様B：壁掛け上下スライド式、ホーロー白板、アルミ枠。板面罫引は下記図示の内容とすること。

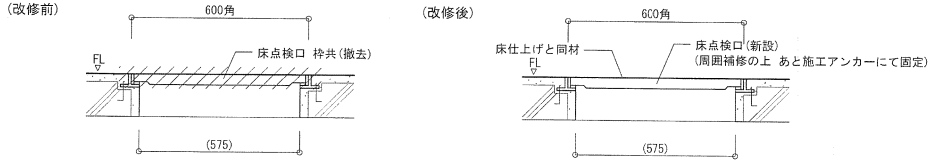
日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
曜																															
月行事予定表																															

床点検口 改修詳細図 (A1:1/10)

※既存床点検口を撤去し、新たに新設する改修を行う。
ただし、既存躯体の損傷は最小限とした改修とする。

※7箇所 撤去・新設

新設 床点検口
既製品 600角 アルミ枠 モルタル充填型



連絡事項	月 日(　)日直	月 日(　)日直

学部	学年	人数	欠席・遅刻・早退 男	欠席・遅刻・早退 女	出張・連絡関係等 氏名(出張先)
小学部	低				
	中				
	高				
中学部	1				
	2				
	3				年休等
高等部	1				
	2				
	3				
合計					

山梨大学施設・環境部

担当

ACA 株式会社 エーシーエ設計
一級建築士事務所登録（長野）（級27312号
管理建築士 一級建築士登録 第208750号 関口 浩男
〒381-0012 長野市柳原2380番地4 TEL 026(296)8300

検査員	設計責任者	担当者	担当者
湯本	村田	兼岩	

設計体制及び検査

設計業務名：山梨大学（武田1（附特））校舎（小・中学部）改修設計業務

設計者 氏名：一級建築士登録 第279740号 村田

工事名：山梨大学(武田1(附特))校舎(小学部)改修工事

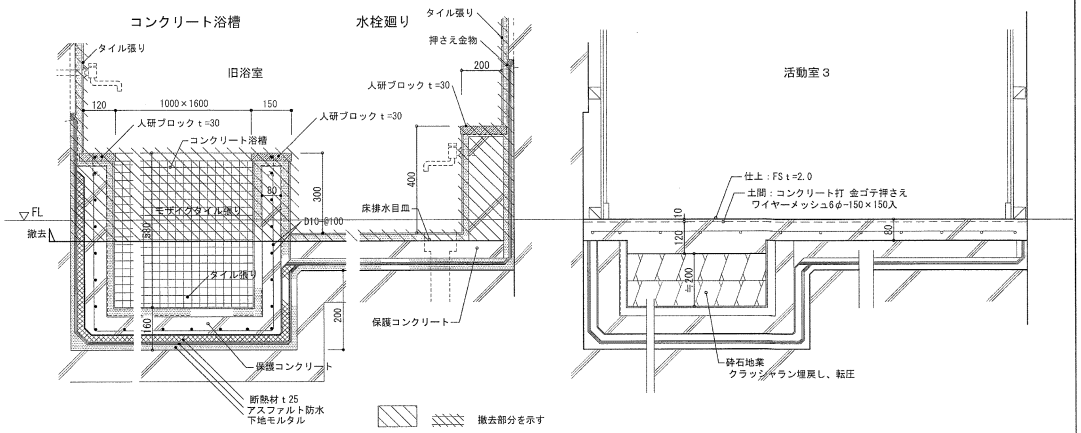
図面名：部分詳細図(4)

縮尺：A1：1/20 A3：1/40

図面番号：A-31

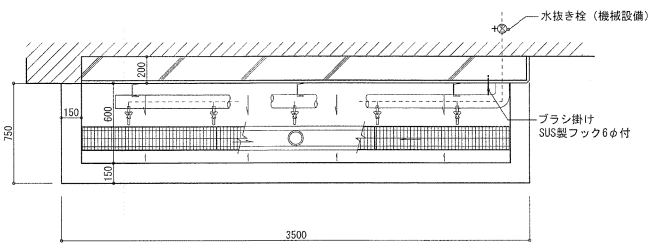
浴槽撤去詳細図　S=1/10

改修前　　改修後

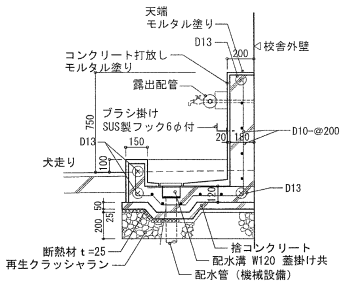


手洗い場詳細図（撤去・新設）　S=1/20

教室南側の屋外 手洗い場は既存の撤去・同様の洗い場の新設を行う



平面図

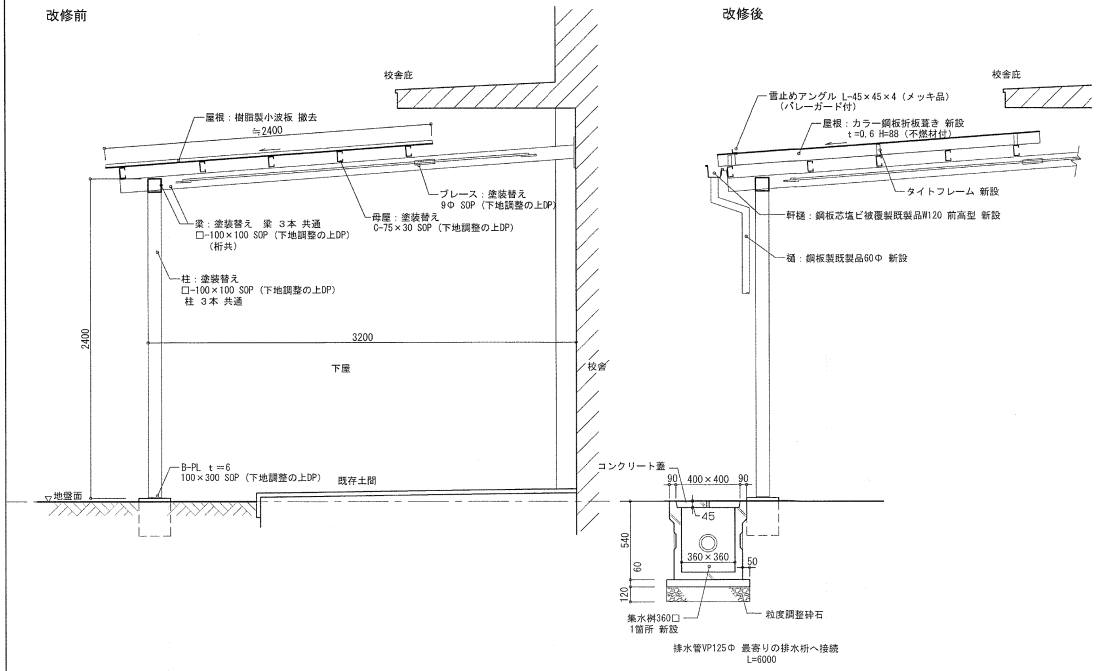


蓋掛け：既存は鋳鉄製格子蓋
撤去新設の溝蓋はグレーチング蓋（受枠付）

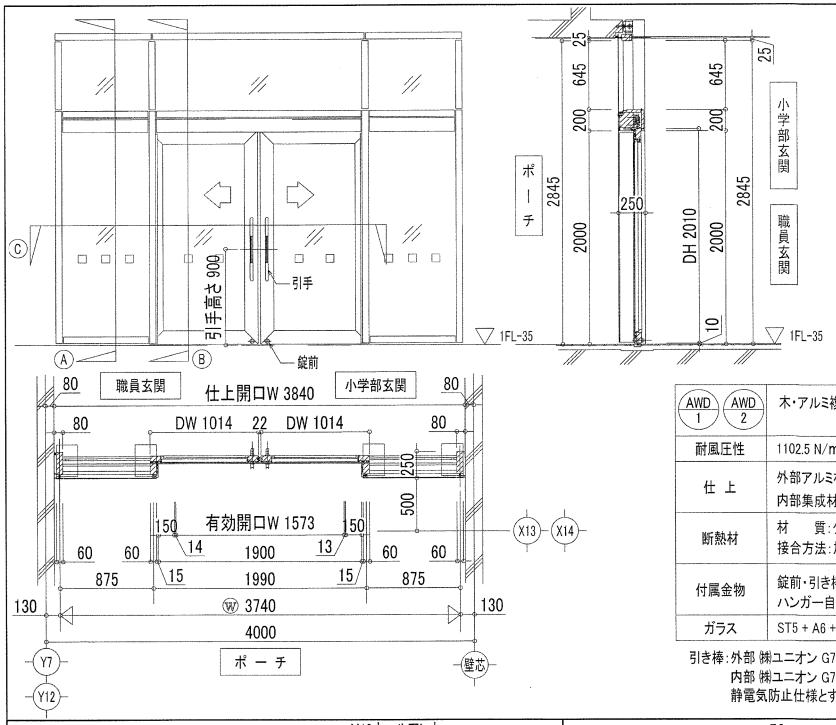
断面図

下屋 改修詳細図（塗装替え、屋根材撤去・新設）　S=1/20

改修前　　改修後

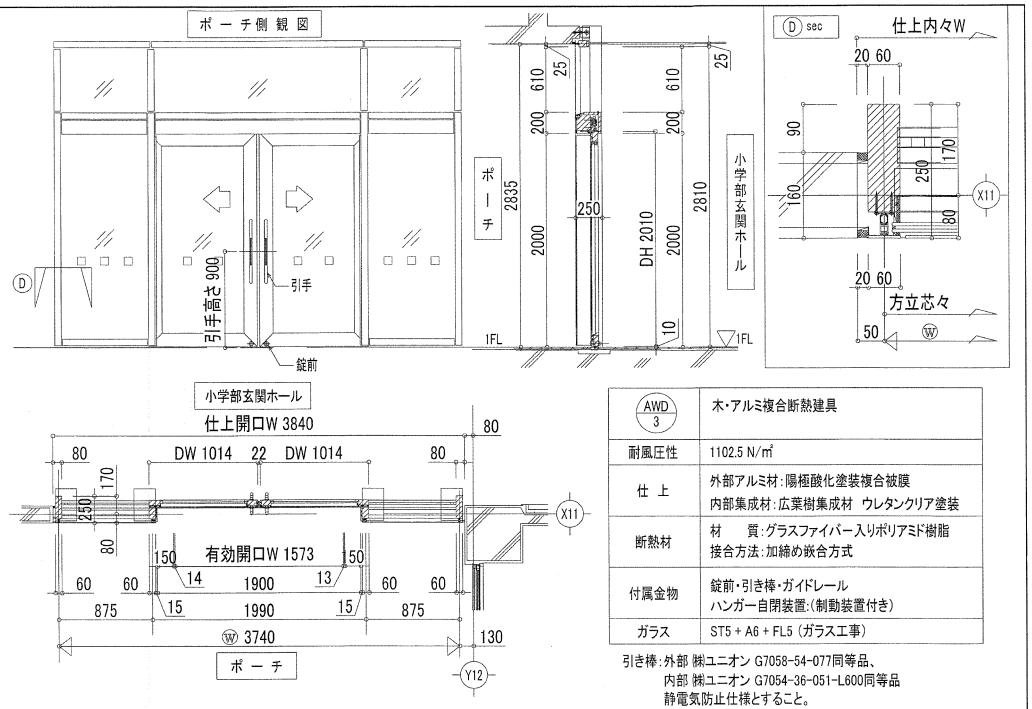


凡例	山梨大学施設・環境部	担当	株式会社 エー・ユー・エー設計 一級建築士事務所登録（長野）（L第27312号） 管理建築士 一級建築士登録 第208750号 関口 浪男 〒381-0012 長野市穂保2360番地4 TEL. 026(296)8300	設計業務名 山梨大学（武田１（附特））校舎（小・中学部）改修設計業務	工事名 / 図面名 山梨大学(武田１(附特))校舎(小学部)改修工事 部分詳細図(5)
			検査員 湯本 / 設計担当 村田 / 総括者 兼岩 / 設計体制及び保証 / 設計者 氏名 一級建築士登録 第279740号 村田	縮尺 A1：1/10 A3：1/20	図面番号 A－32



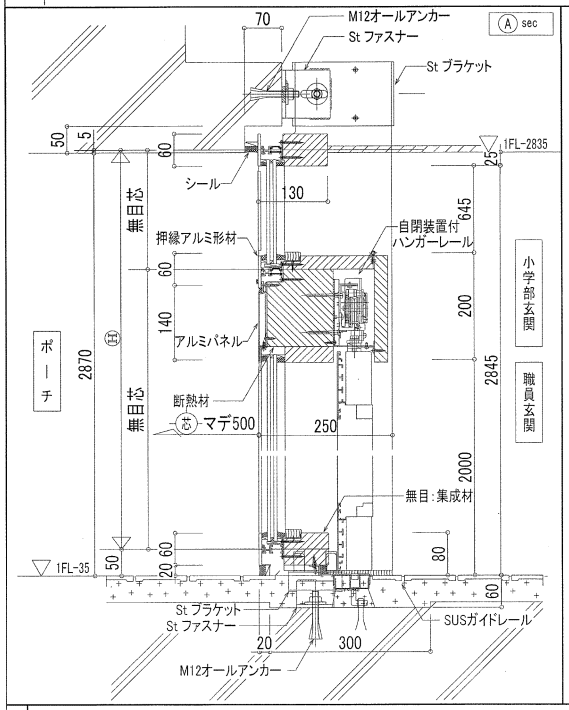
AWD 1 / AWD 2	木・アルミ複合断熱建具
耐風圧性	1102.5 N/㎡
仕上	外部アルミ材:陽極酸化塗装複合被膜 内部集成材:広葉樹集成材 ウレタンクリア塗装
断熱材	材　質:グラスファイバー入りポリアミド樹脂 接合方法:加締め嵌合方式
付属金物	錠前・引き棒・ガイドレール ハンガー自閉装置:(制動装置付き)
ガラス	ST5 + A6 + FL5 (ガラス工事)

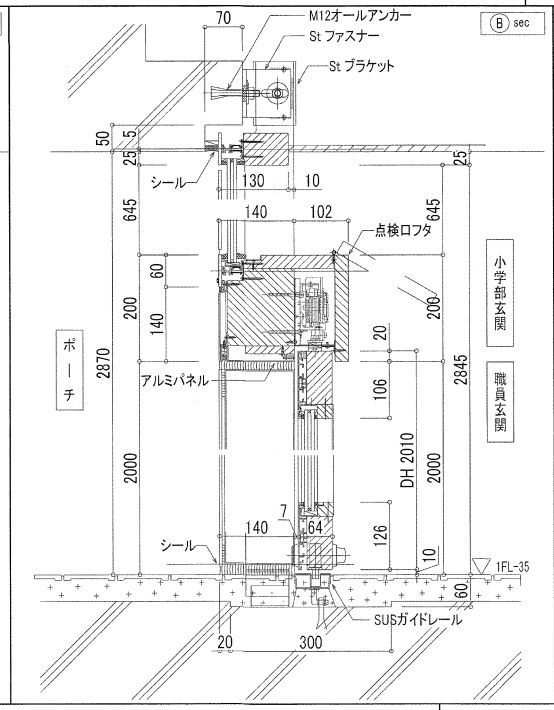
引き棒:外部 ㈱ユニオン G7058-54-077同等品、
内部 ㈱ユニオン G7054-36-051-L600同等品
静電気防止仕様とすること。

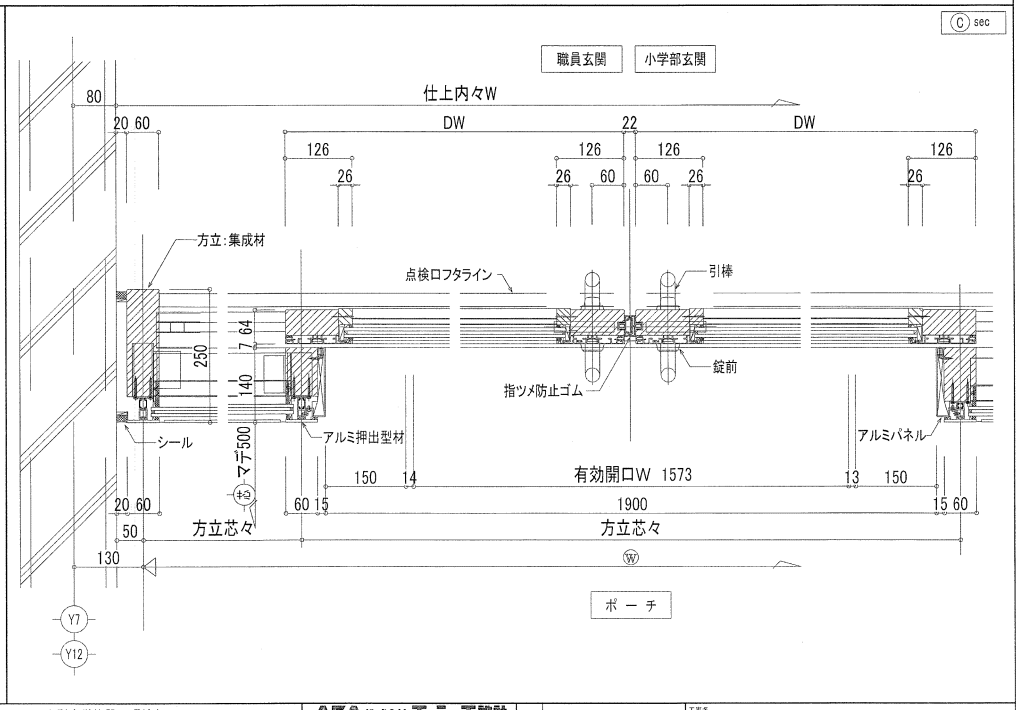


AWD 3	木・アルミ複合断熱建具
耐風圧性	1102.5 N/㎡
仕上	外部アルミ材:陽極酸化塗装複合被膜 内部集成材:広葉樹集成材 ウレタンクリア塗装
断熱材	材　質:グラスファイバー入りポリアミド樹脂 接合方法:加締め嵌合方式
付属金物	錠前・引き棒・ガイドレール ハンガー自閉装置:(制動装置付き)
ガラス	ST5 + A6 + FL5 (ガラス工事)

引き棒:外部 ㈱ユニオン G7058-54-077同等品、
内部 ㈱ユニオン G7054-36-051-L600同等品
静電気防止仕様とすること。

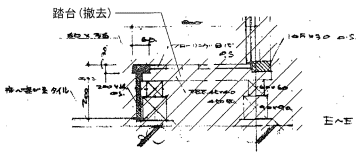




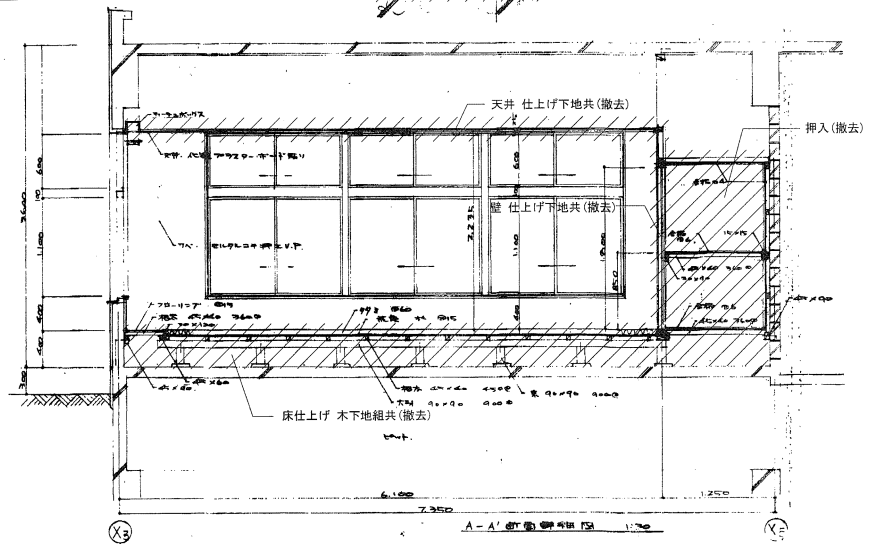


山梨大学施設・環境部	株式会社 エーシーエー設計 一級建築士事務所登録(長野) 1第27312号 管理建築士 一級建築士登録 第208750号 関口 浪男 〒381-0012 長野市柳原2360番地4 TEL 026(296)8300	設計業務名: 山梨大学(武田1(附特))校舎(小・中学部)改修設計業務	工事名: 山梨大学(武田1(附特))校舎(小学部)改修工事 図面名: 部分詳細図(6)
担当	検査員: 湯本 / 設計担当者 管理者: 村田 / 担当者: 兼岩 / 設計体制及び検査	設計者氏名: 一級建築士登録 第279740号 村田	縮尺: A1 : 1/5, A3 : 1/10 / 図面番号: A- 33

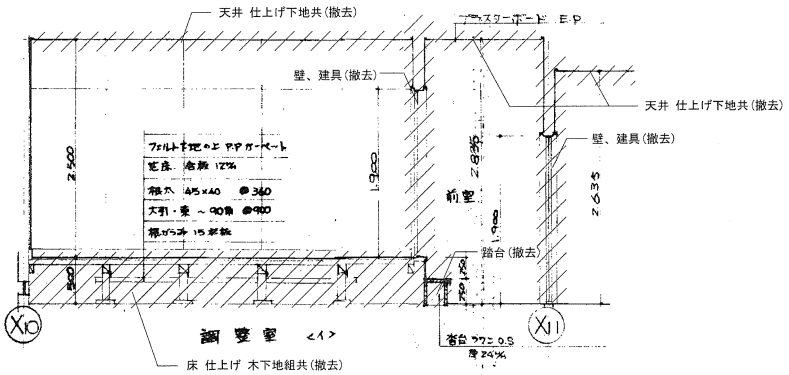
図書室 前室 踏台 詳細図 (A1: 1/4)



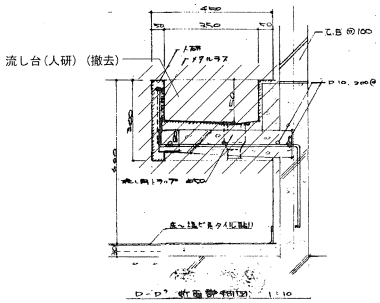
図書室 断面詳細図 (A1: 1/30)



調整室 断面詳細図 (A1: 1/30)



教室 流し台(人研) 詳細図 (A1: 1/10)

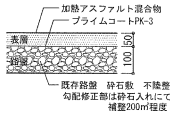


山梨大学施設・環境部	ACA 株式会社 エーシーエー設計 一級建築士事務所金森(長野) 1.第27312号 管理建築士 一級建築士登録 第208750号 関口 浩昌 〒381-0012 長野市柳原2360番地4 TEL 026(296)8300	設計業務名: 山梨大学(武田1(附特))校舎(小・中学部)改修設計業務	工事名: 山梨大学(武田1(附特))校舎(小学部)改修工事
担当	検査員 / 設計仕様及び検査 / 設計担当 / 担当者 / 担当者: 湯本 村田 兼岩	設計者氏名: 一級建築士金銀 第279740号 村田	図名: 部分詳細図(7)(参考図)
		縮尺: A1 : 1/30 A3 : 1/60	図面番号: A－ 34

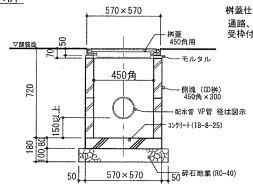
外構工事 改修概要

・図示の範囲の既存アスファルト舗装の撤去、新設を行う。
・別途 機械設備工事にて給排水管、雨水管、桝の改修を行うため舗装工事は、調整して行うこと。
（改修後の桝の位置は既存に準ずる他、機械設備図による。（機械設備工事））
・図示のライン(白線引き)を行うこと。 77.3m

アスファルト舗装

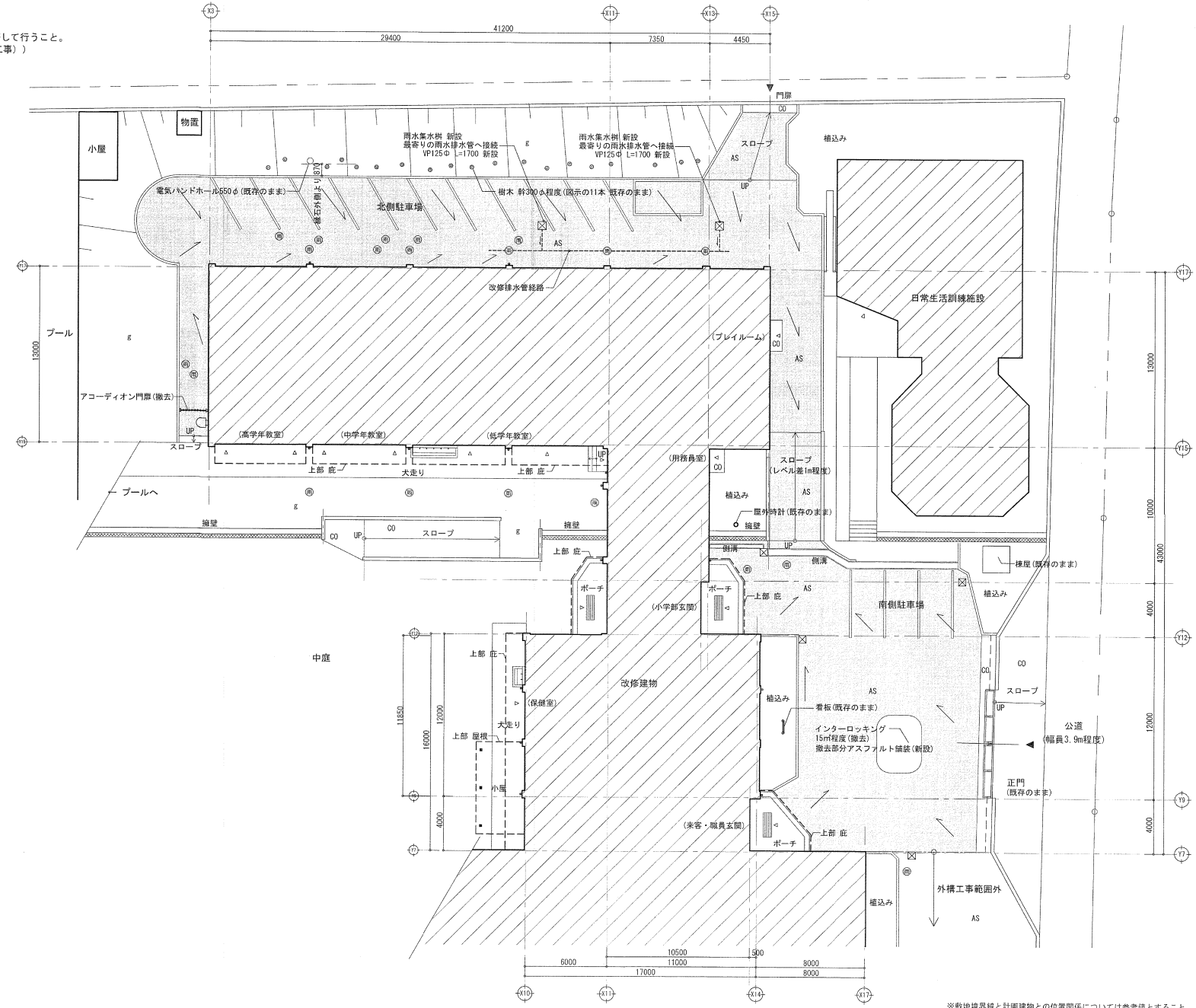


雨水桝



桝蓋仕様
通路、駐車場部分 クレーチング蓋
受枠付（桝450角用）（普通目） T-6

集水桝詳細図 S=1:20



※敷地境界線と計画建物との位置関係については参考値とすること。

凡例					
	アスファルト舗装 表層の撤去・新設範囲を示す(800m/m程度) ※機械設備工事による配管工事に伴う舗装撤去あり	▲	敷地からの出入口を示す	山梨大学施設・環境部	
		△	改修建物の外部への出入口を示す	担当	
雨	雨水桝(既存のまま)を示す				
⊠	集水桝(既存のまま)を示す				

ACA 株式会社 エーシーエー設計
一級建築士事務所登録（長野） L第27312号
管理建築士 一級建築士登録 第208750号 関口 浩男
〒381-0012 長野市都原2380番地4 TEL 026(286)8300

設計体制及び検査				
検査員	設計担当責任者	担当者	照査者	
湯本	村田	兼岩		

設計業務名	山梨大学（武田１（附特））校舎（小・中学部）改修設計業務	工事名	山梨大学（武田１（附特））校舎（小学部）改修工事 外構図
設計者氏名	一級建築士登録 第279740号 村田	縮尺	A1 : 1/150 A3 : 1/300
		図面番号	A- 35